

第五十二回
帝國議會
衆議院

登錄稅法中改正法律案外三件委員會會議錄(速)第十二回

會議

昭和二年二月二十四日(木曜日)午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武藤 金吉君

理事 奧村 千藏君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 長郷君

飯塚春太郎君

森田 茂君

斯波 貞吉君

永田善三郎君

堀切善兵衛君

長田 桃藏君

岩切 重雄君

丹下茂十郎君

増田 義一君

同日委員小西和君、淺川浩君、吉良元夫君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日飯塚春太郎君、森田茂君、三善清之君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 藤澤幾之輔君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主税局長 黒田 英雄君

農林政務次官 小山 松壽君

商工政務次官 柵瀬軍之佐君

商工參與官 野村 嘉六君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工省工務局長 宮内國太郎君

商工技師 大山清一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

登錄稅法中改正法律案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)

不在地主稅法案(清瀬一郎君外一名提出)

登錄稅法中改正法律案(猪野毛利榮君外三名提出)

關稅定率法中改正法律案(小池仁郎君外十八名提出)

關稅定率法中改正法律案(東武君外十二名提出)

果物罐詰原料砂糖戻稅法案(中村嘉壽君提出)

明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租稅ニ關スル件)(政府提出)

○武藤委員 會議ヲ開キマス

○永田委員長 綿絲ノ關稅ニ付キマシテ先ヅ外務當局ニ御伺致シタイと思ヒマス、近頃支那トノ間ニ新シキ條約ヲ締結シヤウトシテ、政府ハ色々努力ヲサレテ居ル、ソレニ付テ今日デ色々ハ意見ガ發表サレテ居リマスクレドモ、一

向吾ミトシマシテハ、具體的ノコトヲ承ツタコトガナイ、本日承リタイと思ヒマス、ハ此條約中ニ於テハ、關稅ニ對シテドウ云フ御意見ヲ持ツテ居ルカ、殊ニ支那ニ對シマシテ日本カラ輸出サレテ居ル最モ重大ナル綿絲ノ關稅ニ對シテハ、特ニ詳細ナル御説明ヲ先ヅ承リタイと思ヒマス

○矢吹政府委員 只今進行シテ居リマス日支間ノ通商條約改訂問題ノ詳細ニ付テ申上ケルコトハ、現在差控エルヨリ外ナイノデアリマス、唯併シ永田サンノ御懸念ノ點ハ、此度ノ通商條約改訂ニ依テ、關稅率ノ改正ノ審議ノ際日本ノ綿絲布ヲ支那ニ輸出スル場合ニ於テ現在ヨリ不利益ナ狀態ガ起ル虞ガアルデハナイカト云フ御懸念デアラウト思ヒマス、此點ニ付テハ吾々外務省ノ當局ト致シマシテモ、十分日本ノ紡績業者ノ利益ヲ尊重シ現在ヨリモ不利益ニナラヌ關稅率ノ問題等ヲ協議致ス際ニハ考ヘマス積リデ居リマス、只今其問題ハ審

付託議案

登錄稅法中改正法律案(政府提出)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)
營業收益稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)
清涼飲料稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)
不在地主稅法案(清瀬一郎君外一名提出)
登錄稅法中改正法律案(猪野毛利榮君外三名提出)
關稅定率法中改正法律案(小池仁郎君外十八名提出)
關稅定率法中改正法律案(東武君外十二名提出)
果物罐詰原料砂糖戻稅法案(中村嘉壽君提出)
明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租稅ニ關スル件)(政府提出)

議ニ入ル程度マデ進行ハ致シテ居リマセヌ、併シ豫メ吾々ノ腹ト致シマシテハ左様デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○永田委員 過日一月二十六日ニ發表サレタ新聞ニ依リマスト、綿絲、綿布、石鹼其他ノ物ニ付テハ、其他十五品目ヲ選擇シテ互惠稅率ヲ適用シタト云フ意見ヲ持ッテ居ルト云フコトガ發表サレテ居リマスコ、是ハ公式デハアリマセヌカラ必ズシモ吾々ハ信用シナイ、此互惠稅率ヲ以テ若シ綿絲布ニ臨ムト云フコトニナルト、吾々ハ從來綿絲ノ關稅ヲ撤廢ヲシタイト云フ意見ヲ持ッテ居ルノデアアルカラ、若シ此條約改訂ノ際ニ當ツテ、協定稅率ヲ設ケテ支那ノ輸入稅ヲモ認メル代リ、日本ニ於テモ矢張輸入稅ヲ存スル、斯ウ云フ方針デ進マレルコトニナリマスト、吾々ガ長ク主張シテ居ル綿絲關稅ノ撤廢ト云フコトガ實際上ニ行ハレナイコトニナリマシテ、殆ド一ツノ暫定的ノ現在セル條約ヲ認メナケレバナラヌト云フコトニナル、久シキ吾吾ノ希望ト云フモノガ蹉跌ヲ來スヤウニナリハセヌカト思フテ此點ヲ恐レテ居ルノデアリマス、綿絲關稅ノ撤廢ト云フコトニ付テハ他ノ委員諸君カラモ色々御説明ガアリマセウガ、是等ノ點ニ付テ外務省ハ相當ニ御考慮下サツテ居ルモノト思ヒマス、此新聞ニアルヤウナ十五品目ヲ選擇シテ、サウシテ其中ニ入レルト云フヤウナ御考デモア

ルノデハナイカト云フコトニ付テ、御無理デアアルカモ知レマセヌガ伺ヒタイ、且ツサウ云フヤウナ事ノ絶對的無イコトヲ吾々ハ希望スルノデアリマス

○矢吹政府委員 新聞ニ特惠關稅ニ付テ、日支ノ間ニ互惠的關稅ヲ設ケル品目ガ十五バカリ出テ居タト云フコトデゴザイマスガ、マダ其品目ヲ決定スル所マデ進ンデ居リマセヌ、隨テ新聞ニ出テ居ルコトハ是ハ事實ナラズト斷言シ得マス、併シ只今ノ永田君ノ御説ハ、互惠的ノ稅率ヲ定メル場合ニ於テ、例ヘバ甲ナラ甲ト云フ品物ニ付テ、協定ガ出來タト云フ際ニ其品物ニ付テハ、日本カラ支那ニ入レル場合ニ於テモ或ル特別ノ協定稅率ニ依ル、又支那カラ日本ニ入レル場合ニ於テモ、支那カラ見テ有利ナ協定稅率ヲ以テスルト云フ御想像カラ起ッテ御心配デハナイカト思ヒマス、是ハ左様ナ品目ガアルカモ知レマセヌガ、原則トシテ左様ナコトガアル譯ガナイノデアリマス、日本カラ支那ニ輸出スル上ニ於テ、最モ日本ノ産業上大事ト思フ品物ニ對シテ特ニ支那ニ對シテ或ル品目ニ限ッテ、輸入稅率ノ上ニ互惠的ノ稅率ヲ定メルコトヲ欲スルノデアツテ、支那カラ日本ニ入レルニハ支那カラ見テ大事ナ産業上ノ或ル限ラレタ特殊ノ貨物ニ協定稅率ヲ課スルト云フコトニナルノデ、其品物ハ兩者ノ間ニ一致スルノデハナイト思ヒマス、ソレデ日本カラ見タ所ト、支

那カラ見タ所トハ各違ウト思フ、隨テ御説ノ如キコトガ必ズシモ起ルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス、又只今ノ御説ニ從テ左様ナコトハ十分考慮致シマスガ、現在ドウ云フコトニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲ兼ネルコトヲ遺憾ト致シマス、事實交渉ノ上ニ於テ其處マデ進行シテ居ラヌノデアリマス

○永田委員 只今矢吹次官ノ御説明ヲ伺ヒマシテ其點ハ安心致シマシタ、之ヲ見マスルト云フト日本カラ出スノ、新成ベク餘計出シタイモノデアアルガ、新聞ニモソレガアルモノモアリ、無イモノモアルノデ、其點ヲ疑フタノデアリマス、日本カラ是ハ大事ナモノデアアルカラ斯ウ云フモノダケハ特ニ互惠的ノ稅率ヲ設ケテ貰ヒタイ、其代リ支那カラモ入レタイモノガアルナラバ考ヘテヤルト云フコトデアリマシテ、ハッキリシタコトハアリマセヌガ、綿絲ノ如キハ此中ニ入ラナイデアラウト私ハ想像スル、ソシナラバ此點ニ對スル憂ハ除カレタノデアツテ、私モ満足スルノデアリマス、次ニ印度方面ニ於ケル製鐵業者ガ中心トナツテ、サウシテ日本ノ綿絲ニ報復關稅ヲ課スト云フ説ガ昨年モ隨分ヤカマシイ問題デアリマシタガ、製鐵ニ對スル關稅ニ付キマシテ、政府ガ色々苦心サレテ居ラレタヤウデアリマス、又私共モ其點ヲ甚ダ憂慮シテ居ッタノデアリマス、所ガ其後聞キマスルト云

フト、印度ニ於ケル日本カラノ綿絲布關稅ハ、如何ニ日本デ心配シテ見テモ、ドウモ印度ハ印度トシテノ産業的立場カラ、日本ノ輸入綿絲布ニ段々ト課稅ヲスルト云フ意見ガ強クナツテ來テ居ル、此點ニ付テ外務省ノ情報デハドノ程度ニナツテ居リマス、又心配スルニ及バナインデアアルカ、是等ノ點モ承リタイ

○矢吹政府委員 印度ニ於ケル綿絲布關稅ノ問題ハ、昨年關稅ノ委員會ニ於テ縷々御説明申シマシタガ、其當時最モ憂フベキ狀態ニ在ッタ、併シ其後ノ經過ニ依テ其憂ハ去ッタカト言ヘバ去ッテ居ラナイ、依然トシテ其憂ハ殘ッテ居ルノデアリマス、唯昨今表面小康ヲ得テ居ルヤウデアリマスガ、是ハ決シテ其憂ガ去ッタ意味デハナイ、現在印度ノ鐵ノ關稅ニ付キマシテノ法案ガ下院ニ出テ居ッテ問題トナツテ居リマスガ、其案ハ英吉利カラ印度ニ入レル銑鐵ニ付テハ特殊ナ取扱ヒ、即チ英國ニ有利ナ取扱ヲシヤウト云フ趣意ノ法案デアリマス、其法案ガ最近ノ電報ニ依ルト下院ヲ通ッテヤウデアリマス、詰リ印度ニ於ケル鐵ノ關稅ニ付キマシテ、英吉利カラ印度ニ輸出スル關稅ニ對シテハ、他ノ國カラ入りマス鐵ヨリモ安イ關稅ヲ課シテ、ソレダケ英吉利ノ製鐵業ニ有利ナ取扱ヲシヤウト云フ案ガ下院ニ出テ居ッテ、其案ガ最近下院ヲ通ッテヤウデアリマス、此銑鐵ノ關稅ニ關スル法

案ノ内容ハ、相當印度ニ於ケル綿絲布業者ノ利益ニモ引用出來ルモノト思考シテ居ルラシイ、隨テ此際綿絲布關稅ノ問題ハ暫ク沈黙シテ居ッテ、寧ロ鐵關稅ノ成行如何ト云フコトヲ重要視シテ居ルヤウデアリマス、隨テ最近ニ於テハ印度ノ綿絲布關稅ニ付テノ問題ハ表面ニハ現ハレヌノデアリマスガ、彼等ノ思惑ハ鐵關稅ノ問題ノ運命ニ依テ、之ヲ以テ自己ノ綿絲布關稅ノ問題解決ノ上ニ有利ナル事態ニ誘引シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ吾々ノ想像デアリマス、即チ英吉利カラ印度ニ入りマスル綿絲布ノ關稅ヲ、他ノ地方カラ入ルヨリモ安クスルト云フコトハ、昨年來アッタ議論デアリマシテ、大分此事ニ對スル運動モアリマシタ、左様ナリマス日本デハ非常ニ不利益ニナルノデアリマスカラ、極力昨年ニ於テ是ガ阻止ヲ色々ノ方法ニ於テ努メタノデアリマスガ、遂ニ其處マデ實現ハシナカッタノデアリマス、併シ鐵ニ付テハ下院ヲ通ッタト云フコトデアリマスカラ、恐ラク鐵關稅ニ付テハ差別的待遇ヲ受ケルノデアラウト思ヒマス、此鐵ニ付テハ日本カラ印度ニ輸出シテ居リマセヌガ、是ガ懸テ綿絲布關稅ニ付キ、英吉利ニ對シテ特殊ノ取扱ヲスルコトニマデ此事ガ誘導サレマス、相當憂フベキ事態ガ起ルモノデナイカト思フノデアリマス、勿論其處マデ至ル間ニ於テハ相當時期ノ

經過モゴザイマセウト思ヒマスカラ、外務省ノ者ハ勿論、印度ニ於ケル在留日本人ノ皆サンノカラ借リマシテ、斯ル事ノナイヤウニ努メル積リデ居リマスガ、兎ニ角印度ノ鐵ノ關稅ガ最近下院ヲ通ッタト云フ事柄ハ、此綿絲布關稅ニ對シ大ニ警戒ヲ要スル徵候デハナイカト感ズルノデアリマス、隨テ永田サシノ御話ノ印度ニ於ケル綿絲布ノ關稅ノ成行如何ト云フコトニ付テハ、依然トシテ心配シナケレバナラヌ、大事ナモノデアルト云フコトヲ申上ゲル外ハナイノデアリマス

○永田委員 能ク分リマシタガ、印度英國間ノ所謂特惠關稅ト申シマスルカ、ソレノ範圍ガ段々ニ擴張サレツ、アリマシテ、殊ニ鐵ノ問題ガ其中ニ加ヘラレテ、只今御説明ノ如ク下院ヲ通過シテ、法律ニナラウト云フコトニナッテ居リマスルト日本トシテ綿絲業ノ大事ナ市場ヲ脅カサレルカモ分ラヌト私共心配致スノデアリマスガ、此印度ノ市場ヲ爭フニ付キマシテ、日本ノ紡績業者ト、英國ノ紡績業者トノ爭ヒノ狀態、或ハソレニ對抗シ得ル兩者ノ立場、其他ニ付キマシテ、今日直ニ承ッテモ、机ノ上デハ簡單ナ事ダラウト思ヒマスカラ、是ハ商工省ニ御願シマスガ、恐ラク商工省ノ方ガ適當ダラウト思フ、少シ綿密ナルモノヲ頂戴シタイト思ヒマスガ如何デスカ、ツマリ御聽キノ外務次官ノ御話ニ依レバ、吾々ハ我ガ綿絲紡績ガ將來印度ニ於テ如何ニナルカト云フコトニ付キ、日本ノ綿絲ハ印度ニ於テ多少差別待遇ヲ受ケテモ尙且入り得ル餘地ガアルカナイカト云フコトモ見ナケレバナラヌ、サウシテ英吉利ノ其特惠ヲ受ケタ所ノ綿絲布ニ對抗シテ、吾々ノ持ッテ居ル商品ハ、ドノ程度マデハ進ミ得ルカ、或ハ全然敗北シナケレバナラヌ立場ニ在ルカト云フコトハ、關稅ト云フコトガ眼ノ前ニ迫ッテ居ル故ニ、其關稅ヲ打破シテ行ケルカ、行ケナイカト云フコトヲ、吾々ニ於テハ知ッテ置ク必要ガアルノデアリマスガ、是等ノ調査ハ商工省ニ於テ十分出來テ居ル筈デゴザイマス、後ニ吾々ノ申上ゲルコトニ對シテ、唯印度ノ關稅ガ斯ウナッテ居ルカラ、ソレハ撤廢出來ナイト云フ簡單ナコトデハ迷惑シマスカラ其點ヲハッキリシテ戴キタイト思ッテ文書ヲ要求スル譯デアリマス

○矢吹政府委員 商工省ノ方カラ御答アリマセウガ、私ハ御質問ノ趣意ヲ確メル爲ニ伺ウノデアリマス、印度ニ於テ將來差別待遇ノ綿絲布關稅ノ制定アッタ時、日本ト英吉利トノ綿絲布ヲ印度ニ輸出スル上ニ於テハ非常ニ今ヨリ困難ヲ増ス、其困難ガドノ程度マデナラ耐ヘ得ルカ——此差別待遇ニ耐ヘ得ルカ、其調ガアルナラ示シテ貰ヒタイト云フノデアリマス

○永田委員 左様デゴザイマス

○矢吹政府委員 私自身ニ役所ノ方ニソレダケノモノガアルカドウカ分リマセヌガ、若モゴザイマシタナラ早速取調べマシテ差上ゲマス、商工省ノ調ガ出來テ居ルダラウト思ヒマスガ、私カラ外務省關係ノ左様ナ調ガアリマシタナラバ外務省カラ御手許ニ差出スコトニ致シマス

○柵瀨政府委員 只今永田君ノ御尋ハ、若モ印度ト英本國トノ間ニ特惠關稅デモ設定シタ場合ニ、我ガ綿絲業ニ及ボス影響ハドウナルカ、其場合ニ處スベキ帝國政府ノ貿易政策ハドウデアルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマシタ、此點ニ對シマシテハ永田君モ既ニ御承知デアリマセウガ、昨年來印度紡績業者ニ於テ種々日本綿絲ノ關稅引上ニ對シテ議論ガアリマシタ、同時ニ日本ノ紡績聯合會ガ此態度ニ對シテ常ニ辯明ノ措置ヲ取ッタ、是ハ永田君モ既ニ御承知ト思ッテ居リマス、日本ハ、是等ノ日本紡績聯合會ノ辯明其他ニ對シテ印度政廳ハ大ニ反省ヲシテ、考慮ヲシテ、必ズ此關稅引上ト云フヤウナコトヲ急速ニシナイデアラウ、斯様ナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、假定的ニ斯様ナ場合ニハ斯ウ、斯様ナ場合ニハドウト云フヤウナ假定的ノ下ニ對策ヲ講ジテナイト思ッテ居リマス、是ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ、私モ能ク存ジマセヌガ、商務局ノ方ト打合セマシテ、何カソレニ對スル對案ヲ持ッテ居ルナラバ、或ハ御參考ニ申上ゲルコトガアルカモ知

レマセヌ

○永田委員 只今ノ問題ニ付キマシテノ詳細ノコトハ外務次官ヨリ多少ノモトハヤラウト云フ御話ガアリマシタ、其點ハ深ク感謝シテ置キマス、又商工次官ノ御話デハ、日本紡績聯合會ト政府ト共ニ今日印度ノ差別的綿絲關稅ガ設置サレルヤウナコトハ當分ナサ、ウニ思ウテ居ル、成タケサウ云フ風ニ努メル積リデアル、斯ウ云フ御意見デアリマスルガ、ソレハソレデ承テ置キマス、次ニ外務次官ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、伊太利協定ガ進行シテ居ルノデアリマスガ、其後準備ガ出來ナイノデ伊太利協定ニ關係ガアル當業者ハ餘程迷ッテ居リマス、ソレニ付キマシテノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○矢吹政府委員 伊太利協定ニ付キマシテハ延バシ、今日繼續シテ居リマスガ、マダ新シイ條約ガ何時出來ルカト云フコトヲ明言シ得ルヤウナ狀態ニ達シテ居ラヌノデアリマス、洵ニ延引シテ居ルヤウデアリマスガ、矢張通商條約ノ改訂ハ凡テ延ビ、ニナル傾キヲ以テ居ルノデ、洵ニ困ッテ居ル次第デアリマス

○永田委員 私トシテ他ニ意見モアリマスノデ、尙ホ引續キ御質問申上ゲマスガ、先ヅ外務省ノ分ダケハ一先ヅ其邊デ止メテ置キマス

○武藤委員長 此場合ニモウ少シ——朝鮮ニ輸入スル材木ニ付テ朝鮮總督府

ハ製材ニ對シテ關稅ヲ取ルト云フ案ヲ閣議ニ出シテ、閣議ハ之ヲ認メテ既ニ此法案ヲ出ス準備ニ政府ハナツテ居ルト云フヤウニ本員ハ承リマシタガ、左様デアリマスガ、一寸承テ置キタイ

○矢吹政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、議會ニ總督府ノ案ト致シマシテ左様ナ法律ヲ出ス準備ハ出來テ居ルヤニ承テ居リマス

○武藤委員長 尙ホ承リマスガ、ソレニ對シマシテ安東縣ノ方カラノ製材業者カラ反對ガアツテ、一旦閣議デ決ツタモノヲ外務省ハソレニ驚イテ——外務大臣ハ決ツタモノヲ取消ヲ要求シテ居ルト云フ噂ガアリマスシ、又本日ノ新聞ニモ其記事ガ載ッテ居リマスガ、其真相ハドウ云フノデアリマスガ、併セテ承テ置キタイ

○矢吹政府委員 實ハ朝鮮側ニ於ケル製材業者ト滿洲側ニ於ケル製材業者ト利害相反シテ居ルコトデアリマス、偶此際朝鮮總督府ニ於テ木材輸入ニ關スル特別ナ——從來ノ特例ヲ廢止シヤウト云フコトヲ聞傳ヘマシテ、滿洲方面ニ於ケル我が木材業者ハ反對運動ヲ起シテ參ッタノデアリマス、此事ハ事實デアリマス、外務省ト致シマシテハ成ベク在滿邦人ノ利益ハ擁護シテヤリタイト云フ考カラ、朝鮮ニ於テモ其特例ノ廢止ハ避ケ得ルモノナラバ避ケテ貰ヒタイト云フ希望ハ持ッテ居リマス、併シ是ハ朝鮮總督府ニ於テモ見ル所ガアルノ

デアリマシテ、朝鮮ノ林業産業ノ保護獎勵ノ上カラモ相當根據アル御説モ意見モアルノデアリマスガ、其見地ノ下ニ斯ル法ヲ提出セントシテ居ルノデアリマス、吾々外務省ノ意見ヲ以テ一概ニ朝鮮總督府ノ主張ヲ非ナリトスル譯ニハ參ラヌト思ッテ居リマス

○武藤委員長 尙ホ御尋致シマスガ、只今ノ御答辯デハマダ要領ヲ得ナイノデアリマスカラ、一旦閣議デ決ツタモノヲ總督府ニ於テハ政府ハ是認シテ居ラニモ拘ズ、安東縣ノ數千ノ當業者カラ異論ガ起ツタ爲ニ、外務省デハ朝鮮總督府ノ方針ヲ非ナリトスルノデハナイガ、之ヲ實行スルニ躊躇スルト云フノデアリマスガ、絕對ニ反對ト云フノデアリマスガ、其處ヲ一ツモット明ニ承テ置キタイト思ヒマス

○矢吹政府委員 朝鮮ノ方ノ利益ヲ尊重シ、同時ニ滿洲方面ニ於ケル我木材業者ノ利益モ尊重シ、相互ノ利益ヲ調和スル方法ガアルナラバ、成ベク其方法ヲ執リタイモノデアルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、而シテ朝鮮總督府竝ニ我外務省ノ方針デ左様ナ兩者ノ利益ヲ調和セシムルヤウナ途ガアルカドウカハ今相談中デアリマス、如何ナルカ分リマセヌガ、現在ノ程度デハ其考デ進ミツ、アルト云フコトヲ申上ゲルヨリ外ハナイノデアリマス

○武藤委員長 尙ホ御尋ネ致シマス、是ハ非常ニ朝鮮ノ方カラ見マスレバ朝鮮ノ森林經營等總テニ付テ此案ヲ出シテ來テ、今反對ガ起ツタカラ之ヲ朝鮮ハ延期スルト云フト、閣議ヲ翻ヘスト云フコトニナルノデハナイカ、サウ致シマスルト明ニ朝鮮總督府ハ外務省トハ意見ガ違フコトニナルノデアリマスガ、其意見ノ違フヲ調和スルヨリ外ニ途ガナイト云フコトデ、其案ハ今考ヘ中デアルト云フコトデアリマスガ、尙ホ此委員會ハ數日間繼續シマスガ、外務省ハ二、三日間ニ其案、方法ヲ決定シテ此委員會ニ御説明ガ出來マスカ

○矢吹政府委員 如何ナリマスガ、是ハ明言ハ只今致シ兼ねマスガ、吾々ノ精神ハ朝鮮ニ於テ其際ニ特例廢止ヲヤツタ其理由ハ諒承シテ居ルノデアリマス、併シ又滿洲側ノ木材業者ノ利益ト云フモノモ、相當彼等ガ永年ニ築イタ地歩ノコトデアリマスカラ、是モ尊重シナケレバナラヌト思ヒマス、其間兩者ノ利益ヲ調和スル方法ナキヤ否ヤ、只今ノ所デハ、ナイトハ申上ゲ兼ねルノデアリマス、アルノデアラウト云フ考ヲ以テ話合ッテ居ル次第デアリマス、而シテ數日ノ間ニ此委員會ニ於テ斯ウナタト云フコトノ報告ガ爲シ得ルカドウカト云フコトハ、只今一寸私明言シ兼ねルノデアリマスガ、成ベク早く斯ル問題ハ決定シナケレバナラヌコト、ハ思ッテ居リマス

○吉良委員 一寸此問題ニ付テ、吾々ハ此真相ハ能ク承知シマセヌノデ、唯

ヒマス

○矢吹政府委員 只今ノ吉良サンノ御説ニ依リマス、輕率デアッタ、慎重ヲ缺イテ居ッタモノナラバ、撤回シテモ宜カラウト云フヤウナ御結論ノヤウデアリマス、或ハ撤回ヲスルコトニナルカモ知レヌト思ヒマス、詰リ撤回ト申シマスカ、議會ノ御審議ヲ此際マダ暫クモウ少シ考ヘル、研究スルト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、併シ朝鮮總督府ガ非常ニ必要ヲ感ジマシタニ付テハ相當ノ根據モアルノデアリマス、此際直ニ撤回ヲスルト云フコトガ至當ナモノデアルカドウカ、是ハ必ズシモ至當トハ申上ゲラレナイカモ知レナイ、其處等ノコトハマダ何レトモ決定シテ居ラヌノデアリマス、數日ノ間ニ成ベク決定ハシヤウトハ努メテ居リマスガ、何時ト云フコトヲ明言シ難イ狀態デアルノデアリマス

○奥村委員 只今矢吹政務次官カラ御話ガアリマシタガ、朝鮮ノ關稅定率ノ特例全廢ニ關スルコトニ付テハ御迷ヒノ體デアリマス、私ハ過日此案ガ政府案トシテ提案サレマシタニ付キマシテ、朝鮮總督府ノ草間財務局長ニ非公式ニ會ヒマシテ、サウシテ提案ノ理由ヲ承テ見マシタ、所ガ途中カラ委員會ニ出席ニ相成ルト云フコトデ話ハ徹底シナカッタノデアリマスルケレドモ、承リマシタ一端ニ依リマス云フト、餘程其根柢ガ私共ノヤウナ門外ノ者ガ一應

タトスレバ、ソレハ其處マデハ私ハ申
シ兼ネルト云フコトニ御承知ヲ願ヒマ
ス

○長田委員　今永田サンカラ御尋ニナ
リマシテ外務次官ヨリ御答ニナツタノ
デアリマスガ、圓轉滑脱デ分ラナカッタ

ノデアリマス、直截ニ承ツテ見タイ、曩ニ五十一議會ニ於テ我ガ帝國ハ鐵ノ關稅改正ニ對シテハ、所謂慎重ノ考慮ヲシテ祕密會マデモシテ成ベク印度ノ鐵業者ニ惡感情ヲ懷カセナイヤウニ苦慮致シタト云フコトハ、蔽フベカラザル事實デアッタ、其效果ハ一年後ノ今日ニ於テ印度ノ綿業者ノ間ニ非常ニ良好ノ空氣ヲ醸成シテ、我國ノ綿業貿易ニ對シテ、印度ノ矢張綿業者ガ從來持ッテ居ッタヤウナ「惡感情ヲ一掃シ、其慎重ナル鐵ニ對スル考慮ガ、綿業ニ依テ報ヒラレタト云フ實際ノ事實ニ到著シテ居ル、斯様ニ了解シテ宜イノデアリマスカ如何デスカ

○矢吹政府委員 昨年我國ノ銑鐵關稅ノ問題ニ付テ特ニ考慮シタ其事柄ガ、印度ニ於ケル紡績業者ノ綿絲布ノ問題ニ有利ニ影響シタカドウカト云フ御質問ニ對シテハ、確ニ有利ニ影響シタト思ヒマス、併シ其影響ガ永久的デアッタカト申シマスレバ、其處マデノ效果ハ申上ゲ兼ねル、即チ其後ニ於テモ綿絲布業者即チ印度ニ於ケル紡績業者、是ハ出來得ベクバ我國ノ綿絲布ガ印度ニ入ルコトニ付テ、不利益ナル狀態ヲ誘

致シタイト云フ念慮ハ熄マナイト信ズル、ソレガ時ニ觸レ折ニ觸レテ現ハレテ參ッテ居リマス、併シ只今ノ所綿絲布關稅ヲ引上ゲル其結果、日本ノ不利ニナルヤウナ狀態ヲ造リツ、アル、又造ラントシツ、アルト云フコトヲハッキリトハ申上ゲ兼ネマス、併シ此儘放ッテ置ケバ結局我國ノ綿絲布ヲ印度ニ輸出スル上ニ於テ、不利益ナ機會ガ造ラレル情勢ハ今尙殘ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲルヲ得ナイノデアリマス

○長田委員 モウ一言伺ッテ置キマス、外務省ハ我國ノ外國貿易ヲ助長スルト云フ所謂國是ニ對シテ、常ニ慎重ナル考慮ヲセラレルト、思ッテ居ルノデアリマスガ、今後我國ガ外國ニ對シテ貿易ノ伸張ヲ圖ルト云フ上ニ於テ、現在ノ事實ニ即シテ何ガ一番適當ナル輸出貿易品ニナルダラウカ、將來ニ於テモ現在ニ於テモ一貫シテ、所謂貿易ノ大宗ト見ルベキ生絲ハ儲措イテ、先ヅ以テ何ヲ獎勵シ、何ヲ採ッテ外國貿易ノ主要品トスルカト云フコトハ極ッテ居ル事ト存ジテ居ルノデゴザイマスガ、如何デアリマス

○矢吹政府委員 只今ノ御質問ハ日本ノ輸出貿易ノ上ニ於テ、何ガ一番將來有望ナル商品デアルカト云フ御質問カト思ヒマス、ソレハ商工省ノ方ノ範圍ノ事デハナイカト思ヒマスノデスガ……

○長田委員 固ヨリ商工省ノ主ナル範圍デアリマス、併ナガラ私ノ貴方ニ伺ッ

テ置キタイト思ヒマスノハ、矢張り商工省ト雖モ亦外務省ト雖モ此纖維業即チ綿業、絹絲ヲ除イテハ綿業ト云フモノニ指ラ届セラレルト、思フ、届セラレルノハ綿業ダト云フコトニナリマテ外國ニ賣出スト云フコトハ當然ノコトデアルト考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウニ相成ルト、結論トシテハ綿絲關稅撤廢ト云フコトニ歸著スルノデハナカラウカト云フコトヲ結局伺ヒタイノデス、外務省トシテ綿絲關稅撤廢ト云フコトニ御同意デアリハセヌカト云フコトヲ伺フノガ目的ナノデアリマ

○矢吹政府委員 綿絲ノ關稅撤廢ヲ外務省ハ希望スルカドウカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ私只今何トモ申上ゲ兼ネルノデアリマス、個人トシテ自分ノ意見ヲ申上ゲル外ナイカト思フノデアリマス、外務省トシテ左様ナル事ヲ責任ヲ持ッテ御答ヘスルコトハ困難デアリマス

○長田委員 然ラバ外務省以外、商工省ニ對シテ綿絲關稅撤廢ノ意見ヲ伺ヒマス

○武藤委員長 チョット私ハ矢吹次官ニ伺ッテ置キマスガ、外務省ガ貿易ニ關スル方針ガ無い、何物ガ輸出品ノ主要物デアルカト云フコトヲ外務省ガ答ガ出來ナイ、御知りガ無いト云フニ至ッテハ吾々ハ非常ニ外務當局ノ職責ニ對シ

テ失望セザルヲ得ナイト思フ、ソナ答ハナイ、ソレカラ又サウ云フコトヲ此委員會デ外務省ノ政府委員ガ仰シヤルト云フコトハ、私ハ聞捨テガ出來ナイ、外務省デハ通商上ノ事モ取扱ッテオイデニナルシ、一番能ク外國貿易ノ事ハ商工省ヨリモ精通シテ居ナケレバナラヌ、商工省デモ外國ノ事ヲ御調べニナッテ居ルガ、先ヅソレガ爲ノ外務省デハアリマセヌカ、其主要貿易品ガ御答ヘスルコトガ出來ナイ、分ラヌト云フニ至ッテハ、私ハ政府委員ノ責任ヲ問ヒタイト思フ、ソレハ矢吹次官ハ御答ヘ違ヒデセウ、當委員會ハソレヲ承ッテ其儘聞流シニスルコトハ出來マセヌ、貴方ニ御分リガナケレバ外務大臣ノ出席ヲ求メテ聽カナケレバナラヌ

○矢吹政府委員 私人先程申シマシタコトハ言葉ガ足りナカッタノデ、只今委員長ノ御說デアリマスガ、先程ノ長田君ノ御質問ハ將來如何ナル商品ガ最モ大切ナルモノデアるか——思フカト云フ御質問ト承知シタノデアリマス、ソレニ付キマシテ左様ナコトヲ考ヘルノハ商工省ノ範圍ノ事デハナイカト申シタノデ、現在日本ノ輸出貿易ニ於テ何

ガ一番大切ナモノデアるかト云フ御質問デアレバ、ソレハ當然外務省トシテモ知ッテ居ラナケレバナラヌ、御答ヘシナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、左様デハナク、將來はカラ先キドウ云フ風ナ商品ヲ輸出商品トシテ最モ大

切ナモノデアるか、之ヲ獎勵シ保護シテ行カナケレバナラヌモノト思フカト私ハ承知シタモノデアリマシタカラ、ソレハ商工省ガ當然自己ノ職責ノ範圍内ニ於テ考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、吾々外務省トシテハ寧ロ商工省カラ左様ナ事ヲ聽イテ、ソレニ應ジテ御答ヘスベキモノト思ッテ、商工省ノ範圍内ノ事デアラウト申シタノデアリマス

○長田委員 寔ニ委員長カラノ御注意ガアリマシタ通りデ、私共ナドモ外務省トシテノ現在及將來ニ對シテノ貿易ノ進路ガ明確ニ分ッテ居ラヌト云フガ如キ御答ヲ受ケテハ、甚ダ不満足ニ感ゼザルヲ得ヌノデアリマス、併シ是ハ此程度ニ止メテ置キマシテ、直ニ昨日ノ續キノ商工省ニ對シテ御尋致シマス、昨日御伺ヒ致シマシタ點ハ、紡績業者ガ其價格ノ低落ノ場合ニ操業短縮ヲシテ生産減少ヲ圖ッテ、自然ノ價格ノ騰貴ヲ圖ルト云フコトガ社會政策上ノ見地カラ不穩當デアルト考ヘルカドウカト云フ點ニ對シテ御尋ヲ申上ゲタノデアリマス、ノミナラズ一般ノ關稅撤廢ノ論ハ最早院議デアリマシテ、殊ニ憲政會ノ殆ド總テノ代議士ハ御贊成デアッタノデアリマスカラ、此平生ノ御議論ヲ御實行ヲ爲サルベク「好個ノ地位タル政府ヲ形造ッテ在ラシヤルカラ、此場合ニ關稅撤廢ヲ御實行ナサッテハ如何デアるかト御尋申上ゲタノデアリマ

スガ、其點ニ對スル御答ハナクテ、却テ現在ハ政府舊來ノ考ノ如ク現在ノ政府ト雖モ現在五十一箇所ヨリ紡績業者ノ其實際ノ働キ、營業狀態ヲ見テマダ綿絲關稅撤廢ノ時機ニアラズト、斯ウ云フ御答デアツテ、九ツキリ從來ノ政府ノ言ツテ居ルコト、同ジコトヲ言ツテ、憲政會ノ殆ド全部ノ代議士諸君ガ御贊成ナサツタ御議論ヲ實行ナサル筋合デナイカト云フ點ニ對シテハ、少シモ御答ヲ蒙ツテ居ラナイノデアリマス、私ハ其點ハドノ政府ニモアリマスケレドモ遺憾ニ堪エナイノデアリマス、相當ノ考慮ヲシテ院議ヲ以テヤル、而モ其所屬ノ代議士ノ殆ド全部ガ贊成シテ居ルト云フガ如キ問題ニ對シテハ、從來ノ政府當局ガ執ツテ居ッタ筋合デアル、其通リノコトヲ言ツテ居ツテ、昨決議シタ事柄ヲ忘レタガ如キ、航空隊ガヤツテ居ル橫轉逆轉ノ妙味ヲ斯ウ云フ所デ發揮サレルト云フコトハ甚ダ面白クナイト私ハ考ヘルノデアリマス、引續イテ是ノ續キヲ御伺ヒ致シタイノデアリマ스가、綿絲關稅撤廢ガ現在ノ日本ノ紡績工場ノ成績ニ顧ミテ、マダ撤廢ニ恰好ノ時機ニアラズト云フ御結論ヲ得タノデアリマス、ソレニ對スル表ヲ頂戴スルコトニナツテ居リマスガ、表ヲ頂戴出來レバ結構デアルト思ヒマス、ソレカラ尙伺ツテ置キマスノハ、此不良ノ——不良ト申シマス不穩當デゴザイマスケレドモ、次官ノ御説明ニ依リマス云

フト、百圓以上百五十圓一鍾ガ附イテ居ル工場、是等ノ工場ハ無配當ノモノモアルシ、缺損ノモノモアルシ、三四分位ノ配當シカ出來ヌト云フ御説デゴザイマシタガ、斯様ナモノヲ現在ノ事實其儘ニ放任シテ置イタナラバ、何時ニナリマシテモ是ガ所謂優良ナル會社ニナリ得ベキ時機ハナイト思フノデアリマス、恰モ現政府デ大藏大臣ガ御ヤリニナリマスヤウニ、銀行ノ大合同ヲヤル、或ハ震災手形ニ御ヤリナスタヤウナ大鉦ヲ御振リナスタ、大キナ會社ニ所謂優良ナル會社ニ、此比較的惡イ會社ヲ合同スルヤウナ獎勵ヲナサルトカ、兎ニ角此場合コソ大鉦ヲ御振リニナツテ然ルベキ時デアルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、一體此内閣ト雖モ貿易ノ伸暢ニ依テ、此國際貸借ノ平均ヲ失ツテ居ル狀態ヲ恢復シヤウト云フコトガ國是デアルト云フコトハ、モウ一貫シテ御認ニナツテ居ルノデアリマスカラ、其點カラ考ヘテモ、斯ノ如キ紡績會社ノヤウナモノ、比較的の不良、是ガ足手纏ヒニナツテ、完全ナル纖維貿易ノ發展ヲ圖ルコトガ出來ナイ、即チ綿絲關稅撤廢ヲ今日ニ於テ尙ホ實行不可能ト云フガ如キコトニナル、其處ガ畢竟足手纏ヒニナルノデアアル、此足ノ惡イ所ノ不良ナル紡績會社、之ヲ良イ方ニ、所謂優良ナル會社ニシツカリ之ヲ併吞セシメテシマフト云フヤウニ、所謂大鉦ヲ振フト云フヤウナ御整理ノ方法

等ガ既ニ立ツテ居ルカドウカ、ソレカラ又此整理ノ方法ガ立ツテ居ルトシタナラバ、ドウ云フ時機ニ之ヲ行ヒニナル御考デアルカ、私共極ク素人ノ考ヲ以テ致シマスルト、憲法ガ所有權ヲ保障シテ居ルノデアアル、サウ勝手ニ不良會社ト云フモノガ何時カハ良イ時機ガアルダラウト考ヘテ、今働キツ、アルモノヲ優良會社ニ合併シタリ買収サセタルスルコトハ不可能デアルト仰シヤルトスルナラバ、綿絲關稅撤廢ト云フコトヲ實行ナサルト云フコトガ、極メテ此不良會社ノ整理ニ恰好ノ時機デハナイカト思フ、綿絲關稅ガ撤廢サレル、綿絲ガ多少下落シテ參ル、操業短縮ヲヤラウト言ツテ、又紡績會社ガ相談スル時ニハ、又支那カラドシ——這入ツテ來ル、サウシテ價格ノ騰貴ヲ圖ラウト思フテモ圖ルコトガ出來ナイ、即チ大陸的ニ紡績ノ市價ナルモノガ統一サレル、斯ウ云フコトニナツテハ迎モ不良ノ會社ハ何時迄經ツテモ良イ會社ニナルコトハナイノデアアルカラ、速ニ是ハ優良ナル會社ニ合併シテ貰フ、或ハ一大整理ヲ企テ、優良會社ニ基礎ヲ立直シテ行カウト云フヤウナ時機ガ自然ニ出來ルト思フ、是ハ一舉兩得デアツテ、社會政策モ都合好ク參ルシ、或ハ纖維貿易ノ發展ヲ圖ル所ノ筋合ニモ適フシ、サウシテアナタ方ガ御考ニナツテ居ル所ノ不良紡績會社ト云フノヲ、之ヲ良クスルト云フ極メテ其整理ノ恰好ノ時機ヲ

與ヘルコトニナルト私共等ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此場合ニ商工省ノ御意見ヲ此點ニ對シテ伺ツテ置キタト思フノデアリマス
○柵瀨政府委員 昨日モ大體商工省ノ所見ヲ申述ベタノデアリマスガ、只今御尋ノ大體ノ順序ニ依テ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、昨日ハ關稅撤廢ガ未ダ時機ニアラズト認メル理由トシテ、新設會社——只今長田君ノ申サレマシヤウニ、言換ヘレバ不良會社、是等ヲ一ツノ理由ニ算ヘタノデアリマス、又同時ニ支那ノ關稅ガ如何ニ成行クカ、互惠條約ハ如何ニ歸著スルカ、其成行モ見ナケレバナラヌト云フコトモ申上ゲタノデアリマス、又昭和四年度ヨリハ御承知ノ通り工場法ノ施行ニ依テ、深夜業ノ廢止ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、其深夜業ノ廢止ノ結果トシテ綿絲紡績絲ノ生産ガ幾何ノ程度ニナルノデアアルカ、又此深夜業ニ依テ減産スル綿絲ノ救済方法ハ、果シテ増鍾ニ依テ是ハ償ヒ得ラレルノデアアルカ、是等ガ殆ドマダ見据ガ付カヌノデアリマス、ノミナラズ今マデ御問答ノアリマシタ印度ノ關稅ノ狀態ガ尙ホ暗雲低迷ノ形ヲ爲シテ居リマシテ、昨年ノ議會當時ハ長田君御話ノ通り、殆ド鉄鐵ノ關稅ハ交換的——謂ハバ交換的ニ友交的意思ヲ表示シテ、アノ運動ヲ阻止シタノデアリマスケレドモ、今後果シテアノ狀態ガ持續サレルカ否ヤ、是モ

尙ホ殆ド見据ガ付カヌノデアリマス、此紡績業ノ現在及近キ將來ニ於テモ中直ニ之ヲ撤廢シテ果シテ我が綿絲業界ノ安定ヲ得ラレカ否カト云フコトニ對シテハ頗ル疑問ガ多イデアリマス、此疑問ガ幾分デモ減殺サレテモウ綿絲關稅ガ撤廢サレテモ差支ナイト云フ時機ガ何時デアアルカト云フコトハ、無論明言ガ出來ナイノデアリマスケレドモ、既ニ横ッテ居ル此綿絲關稅撤廢ノ障礙トナルベキ事實トシテモ、不良工場ノ幾多ノ玆ニマダ殘ッテ居ル此支那關稅ガ如何ニ成行クカト云フコト、深夜業ノ如何ニ歸著スルカニ依テ我が綿絲生産ノ上ニ如何ナル影響ヲ與ヘルカ、印度關稅ガ如何ニ成行クカ、是等ハ十分尙ホ〱見届ケタ上ニアラザレバ、直ニ之ヲ撤廢スルト云フコトハ、我が綿絲業界ノ安定ヲ保ツ途デハナイ、斯様ニ考ヘマシテ此關稅撤廢案ヲ提出シナイノデアリマス、不良會社ノコトハ無論御話ノ通り相當大キイモノニ合併ヲ獎勵スル、或ハ買收ヲ獎勵スル、是ハ矢張道行トシテ執ルベキ途ダト私ハ思ッテ居リマス、今後ハ矢張機會アル毎ニ左様ナ方針ニ依テ進ミタイト思ヒマス、大體我が綿絲業界ノ大勢ハ假ニ之ヲ撤廢ヲ致シマシタ所ガ、輸出國ハ何處デアリマスカ、之ヲ撤廢シ、何處カラ綿絲ガ輸入サレテ來ルノデアアルカト見ルト、先ヅ支那ヲ除イテ外ハナイト申サネバナラヌ、支那ハ御承知ノ如ク近年紡績

業ノ勃興ニ依テ殆ド二百萬鍾位ノ工場ガ起ッテ居ルノデアリマスガ、尙アノ國土、アノ人口ニ對シテハ極メテ微弱ナモノデアリマシテ、多クノ綿絲ト云フモノハ日本ヲ初メ外國ヨリ相當多額ノ輸入ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、玆デ關稅ヲ撤廢シテモ輸出國タル資格ハ持ッテ居ラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、假ニ之ヲ撤廢シテ唯徒ニ投機思惑ノ爲ニ、或ル部分ヲ攪亂サレルニ止マルト云フコトニナリマスルト、寧ロ紡績業者ノミナラズ綿絲加工業ニ對シテモ不安ヲ與ヘルモノト考ヘマシテ、未ダ其時期ニ非ズト考ヘテ居ル次第デアリマス

○長田委員 昨年五十一議會ノ綿絲關稅撤廢ニ關スル論議ヲ殆ド繰返シヤウナコトニナルノデアリマスカラ、餘リ多クヲ申上ゲマセヌガ、只今ノヤウナ御話ヲ伺ッテ見マスルト、先ヅ近キ未來ニ於テハ綿絲關稅ヲ撤廢スル意思ハナイ、斯様ニ考ヘル外ハナイト存ジマス、ソレカラ左様ニ御考ニナル半面ニ於テハ、矢張纖維工業ノ大發展ヲ促シテ、其貿易ヲ伸張シヤウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマセウガ、此民業ノ貿易ヲ盛ニスルト云フノニ、今ノヤウナ問題ヲ竝ベテ見テ更ニドウ云フ方面ニ向ッテ大發展ヲシヤウト云フ積極的ノ方針ガ出來テ居ルノデアリマスカ、併セテ此場合ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○棚瀬政府委員 無論此綿絲布及綿製

品ノ加工品ハ我が生絲貿易ニ亞グ極メテ大キイ輸出貿易品デアリマスノデ、今後其貿易ヲ獎勵、助長シ、尙益其輸出ヲ盛ンナラシムルト云フモノハ、矢張綿絲布及綿製品デアルト考ヘテ居リマス、隨テ商工省ト致シマシテハ、幾多ノ貿易品中殆ド大宗ニ屬シテ居ル所ノ貿易品ニ對シテハ一段ト獎勵、助長ヲ致シマシテ、殆ド各國ニ對シテ其輸出ヲ獎勵スル考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○長田委員 私ハ不幸ニシテ次官ノ御話ヲ伺ッダケデハ満足スルコトハ出來ナイノデアリマス、我國ノ將來ハ貿易ノ大宗タル生絲ヲ除イテハ、矢張綿絲、綿織物ノ助長ヲ圖ラナケレバナラヌ、故ニ有ユル方法ヲ講ジテ是ガ助長ヲ圖ッテ居ルト云フ月竝的ノ御言葉ダケデハ、恐ラクハ此委員會ハ満足出來ナイコト、思ヒマス、固ヨリ事ハ關稅撤廢ノコトデアリマスケレドモ、併シ一國ノ貿易ヲ盛ニスル、所謂生絲ヲ除イタ主タル貿易品デアアル、ソレニ對シテ印度ノ綿絲、綿織物ノ同業者ニ對シテハ非常ナ嫉妬ヲ起シテ、或ル場合ニ於テハ印度貿易ニ一大障害ヲ惹起スル惧ガアル、昨年ノ法律ノ銑鐵關稅ノ引上ニ對シテ所謂深甚ナル考慮ハ、我國ノ國民ノ意思ノ在ル所ヲ印度ノ同業者モ大ニ推量ッテ非常ナ敬意ヲ以テ迎ヘテ居ルト云フ外務當局ノ御話デアリマシタガ、關稅撤廢、關稅付加ノ問題ハ根本カラ解決セラレタト云フコトハ聞カナイ、

或ル時期ニ於テハ、危險ハ醞釀シテ居ルカラ、何時起ッテ來ルカ分ラヌト云フヤウナ御心配ノ言葉ガ殘ッテ居ルノデアリマス、結局外ノ國ニ於テモ品物ノ優良ナルコトヲ圖ルコトハ勿論デアリマスケレドモ、何トシテモ價格ヲ引下ゲ廉價ニシナケレバナラヌト云フノハ、是ハ根本ノ原則デアアル、品物ヲ安クシテ良イ物ヲ出シテ貿易ヲ圖ルト云フコトハ當然ナコトデアリマス、是ハ實際何人モ知ッテ居ルケレドモ、言フベクシテ行ヒ難イモノデアアル、品物ヲ安クシテ良イ物ヲ出シ、大量生産ヲ爲スト云フコトハ商工省カラモ時々伺ヒマスガ、併シ此大量生産ハ口ニハ言ヒマスケレドモ、前ニ申シマス通り足ノ弱イ會社ガ引摺ラレテ行ク位デアリマス、又更ニ品物ヲ安ク出スト云フノナラ一段ノ努力ヲ出シテ進ンデ實行シナケレバナラヌ、曾テ課稅セラレタ互惠關稅ノ如キハ、或ル點マデ是ハ關稅ノ撤廢ヲナサツテモ差支ナイト思ヒマス、英國ノ如キハ除外例ヲ設ケテ之ヲ實行シテ居ル、政府ハ大膽ニ此除外例ヲ設ケルト云フコトハシナイガ、但シ政府ノ見ル所ニ依テ勅令ヲ以テ何割カラ免ズルト云フ除外例ヲ設ケルコトガ出來ルヤウニ御書キニナレバ心配ハナイ、根本原則トシテ品物ヲ安ク賣ル、但シ勅令ヲ以テ云々ト御書キニナレバ宜イ、斯様ニスレバ我國ノ資本家モ支那ニ對シテマダ〱紡績會社ヲ建テルノミナラズ、現在支那

人ノ經營シテ居ルモノヲ日本人ノ經營
デヤツテ行クヤウニナル、モット大膽ニ
ヤッタエドウカト私ハ思フノデアリマ
ス、ノミナラズ近時特ニ御考慮ヲ仰ガ
ナケレバナラヌ問題ガアルノデアリマ
スガ、時間ガ來マシタカラ、委員長午後
ニ私ノ質問ヲ繼續サセテ戴キタイと思
ヒマス

○藤澤國務大臣 是ハ本案ニ直接ノ關
係ノナイコトデアリマスガ、例ノ平野
技師問題ノ事ニ付テ一言申上ゲテ置キ
タイ、前々同ニ於テ長田君ノ御意見ガ
アツタ後ニ委員長カラマダ十分ノ調査
ガ進ンデ居ナイヤウデアルカラ、時ヲ
假シテ調べサセヤウト云フヤウナ御趣
旨ノ御話ガアリマシタガ、ソレニ付テ
今日一言申上ゲテ置キタイ、平野技師
ハ申スマデモナイコトデアリマスガ、
是ハ商工省ノ吏僚デアリマシテ、其監督
ノ責ハ當然商工大臣ニアルノデ、官紀
ノ上ニ若シ不都合ナ狀態ガアツタ致
シマシタナラバ、是ハ當然之ヲ正スト
云フコトハ論ノ無イコトデアリマス、
ソコデ職責ノ上カラ自己ノ部下ニ對ス
ル其途ヲ執ルト云フコトハ當然ノコト
デアリマス、是ハ今日ノ程度デハ曩ニ
モ申シマシタ通り、其事ガアツタト云フ
コトヲ斷ズルコトハ出來ナイト信ジマ
ス、若シモサウ云フコトガアツタ致シ
マスレバ、ソレハ當然責任ヲ以テ官紀
ヲ正シマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○佐藤(富)委員 本委員會モモウ僅カ
デ散會ニナルヤウデアリマスガ、今日
マデ幾多ノ日子ヲ費シテ居リマスガ、
議事進行ノ上ニ於テハ、一向ニ實績ガ
舉ラヌヤウニ思ッテ居リマス、今日ハ午
後ハ……

○武藤委員長 午後ハ一時半カラヤリ
マス、佐藤君ニ申上ゲマスガ、實績ハ舉
ラヌコトハナイ、舉ッテ居リマス、何等
委員會ハ怠ケテハ居リマセヌ、此位勉
勵シテ居ル委員會ハ他ニハナカラウト
思ヒマス

○柵瀨政府委員 長田君カラ御要求ノ
アリマシタ表ハ先刻御配付申上ゲタ次
第デアリマスガ、尙此以外御要求ガア
リマスレバ差上ゲマス

○森田委員 一寸此戴イタ參考資料ノ
表ニ付テデアリマスガ、此輸出國別表、
之ニ付テ競争國ノ著大ナモノガアル、
ソレガ分ッテ居レバソレヲ戴キタイ

○柵瀨政府委員 今日直グト云フ譯ニ
ハ參リマセヌガ追テ作製ノ上差上ゲマス
○高橋委員 曩ニ本員ガ大藏省ニ對シ
テ御註文申シタ表ハ、モウ四日バカリ
經ツヤウデアリマスガ、マダ御沙汰ガナイ
ノデアリマスガ、ドウカ……

○武藤委員長 要求致シテ置キマス、
是デ休憩致シマス、午後ハ正一時三十
分カラ開會ヲ致シマス

午後一時四十八分開議
○武藤委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ

午後一時四十八分開議
○武藤委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ

開キマス

○長田委員 午前ニ引續イテ商工省ノ
政府委員ニ御尋ヲ致シマス、近時内地
ニ於ケル人造絹絲ノ製造ガ非常ナ勢ヲ
以テ進ンデ參ッテ、最近ニ大ナル工場ノ
成功スルモノガ一二ニ止マラヌヤウナ
狀態ニナッテ居リマス、其製品ヲ市場ニ
見マスルノモ最早ヤ近イ事デアラウト
考ヘルノデアリマスガ、從來ノ政府委
員ノ御説明ニ依リマシテモ、人造絹絲
ノ製造ハ綿絲ノ領域ヲ侵ス所ガ大キイ
ト云フコトデアリマシタガ、其綿絲ノ領
域ヲ侵スコトガ多ケレバ多イダケ、内
地ノ紡績業者ガ其絲價ヲ維持スルニ付
テ困難ヲ感ズル機會ガ多クナル譯デア
ル、換言スレバ絲價維持ノ爲ニ操業短
縮ヲ議スルヤウナ機會ガソレダケ多ク
ナルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、
斯様ニ致シテ日本現在ノ貿易會社ノ配
當第一主義ト申スベキヤウナ高率配當
ヲ爲スガ儘ニ委セテ居ル、サウシテ絲
價ノ下落ハ操業短縮ニ於テ之ヲ防グト
云フヤウナコトヲ此儘ニ放任シテ置キ
マシテハ、我國ノ纖維貿易ノ發達ヲ圖
ル上ニ一大支障ヲ來シハセヌカト思フ
ノデアリマスガ、政府ハ是等ニ對シテ
如何ナル御考ヲ有ッテオイデニナリマ
スカ、午前ニ御尋シタ問題ト共ニ御答
アランコトヲ希望致シマス

○野村政府委員 人造絹絲ノ發達ノ道
程、此發達ノ結果紡績ニドウ云フ關係ヲ
持ッテ居ルカ、即チ綿絲ニドウ云フ影響
ヲ及ボスカ、言ヒ換レバ綿絲ノ領域ヲ
侵シテ、ソレガ爲ニ綿絲業者、紡績業者
ハ困難ヲ感ジハセヌカ、斯ウ云フ御質
問ノヤウニ伺ヒマシタノデアリマス、人
造絹絲ノ近時發達シツ、アルト云フコ
トハ、長田君モ御述ニナッタ通りデアリ
マス、從來ハ殆ド其全部ヲ輸入ニ仰ギ
マシタケレドモ、今日ニ至リマシテハ
人造絹絲ノ機業者ハ續々出來マシテ、
サウシテソレガ年々其製產高ヲ高メテ
居ルヤウナ次第デアリマス、想フニ是
ハ遠カラザル中ニ内地ノ需要ハ内地製
品ヲ以テ供給スルコトノ出來ルヤウニ
ナルダラウ、斯ウ思フノデアリマス、長
田君ノ是ガ紡績ニ及ボス御懸念ト同時
ニ、此問題ハ會テハ製絲ニ關係ヲ及ボ
シハセヌカ、即チ普通ノ天然絹絲ニ關
係ヲ及ボシハセヌカト云フ、此懸念デ
議會ニ於テモ質問ニナリマスシ、又今
日尙ホ其問題ガ幾ラカ影ハ薄ラギマシ
タガ、問題ハ殘ッテ居ルヤウナ次第デア
ルノデアリマス、申ス迄モアリマセヌ
色、研究シタ結果ハ、天然絹絲ト人造
絹絲トノ用途ガ全ク違ッテ居ルト云フ
コトヲ、實際ニ究メマシタ事實ニ就キ
マシテ、今日ハ稍諒解ヲ受ケ得ル程
度ニアルノデアリマス、併ナガラ一面
ソレナラバ紡績ノ方ニ對シテハドウ云
フ風ノモノデアアルカ、是ハ御懸念ハ御
尤デアリマス、擬テ人造絹絲ノ發達ノ
爲ニ紡績ニ如何ナル程度迄ニ是ガ影響
ヲ及ボスモノデアアルカ、即チ紡績ノ區

域ヲ侵スモノデアルカ、此問題ニ付キマシテハ、當局ト致シマシテハ相當ニ考慮研究ハシテ居ルノデアリマス、併ナガラ今直ニ此人造絹絲ガ非常ナ勢ヲ以テ發達シツ、アル、其結果ガ紡績ノ今日迄ノ生産ニ對シテ幾ラノ影響ヲ及ボスカト云フコトノ此程度ハ、只今ノ所デハマダ明瞭ニハナツテ居ラヌ、當局ト致シマシテ之ニ對スル政策方法ヲ如何ニ考慮スルカ、斯ウナリマス、長田君ノ御心配ノ通りニ、一方ニ於テ事業ガ縦シヤ隆盛ニナリマシテモ、他ノ一方ノ事業ガソレガ爲ニ困難疲弊ヲ來スヤウナコトガアツテハ、洵ニ宜シクナイコトデアリマスカラシテ、此點ニ對シマシテハ十分ニ取調ヲ致シマシテ、サウシテ果シテ紡績界ニ影響ヲ及ボスト云フ所ノ確證ヲ見タ曉ニハ、相當ニソレニ對シテ適當ナル方法ヲ考慮スル考デアルノデアリマス

○長田委員 少シ御答ガ吾々ノ期待スル所ヲ裏切ツテ居ルヤウニ思ヒマス、私ノ午前中ノ質問ヲ手短ニ申シマス、綿絲關稅撤廢ヲ欲スルモノデアルガ、ソレニ付テ政府ハ諸般ノ事情ヲ考慮シテ其時機ニ非ラズト御答ニナツテ居ル、而シテ其御答ノ大切ナ部分ハ、綿絲關稅撤廢ヲ行フニ付テハ、大ニ影響ノアル支那デハ關稅問題ガヤカマシイ際デアルカラ、其成行ヲ考慮シナケレバナラヌ、又夜業廢止ノ問題ガ既ニ極ツテ居ル、其關係ガ綿絲製産額ニドウ云フ影

響ヲ及ボスカ、是モ考慮シナケレバナラヌ、旁今日ハマダ綿絲關稅撤廢ノ時期ニ達シテ居ラヌト仰シヤッタ、ソコデ私ノ午前ノ御尋ハソソナニ心配シテバカリ考ヘテ居ラレズニ、綿絲關稅撤廢ヲナサツタラドウカ、原則ヲ玆ニ定メテ置イテモ時ノ政府——ドノ政府デモ但書ヲ附ケズニハ屹度許サナイ、米麥ノ關稅撤廢ニ對シテ但書ノアルガ如ク、是ニモ但書ヲ附ケテ、主務官廳ニ於テ必要ト認メタ場合ニ於テハ、ナンボマデノ關稅ヲ設ケルコトガ出來ルト云フ但書ヲ、必ズ御置キニナルニ極ツテ居ルカラ、ソソナニ心配ナサラズニ撤廢ノ原則ヲ定メタラドウカト云フノガ、是ガ午前ノ質問ノ骨子ナノデアアル、更ニ私ガ午後ニ申上ゲマシタノハ、其上ニ紡績會社ハ人造絹絲ニ依テ綿絲ノ領域ガ侵サレルト云フコトヲ、政府委員ガ言ツテ居ラレルノデアアルカラシテ、然ラバ現在ノ我國ノ紡績業者ハ其絲價ヲ維持スル必要上人造絹絲ノ製産額ガ多ケレバ多イ程自己ノ領域ヲ侵サレテ來ル、斯ウ云フコトニナツテ來ルト、絲價ガ常ニソレニ依テ抑壓サレルト云フコトニナル、サウスルト絲價ヲ維持センガ爲ニ、又之ヲ恢復センガ爲ニ、操業ノ短縮ヲ圖ルト云フコトヲ、屢過去ニ於テヤツテ居ルノデアリマスガ、其操業短縮ノ機會ガ多クナルデヤナイカ、操業短縮ノ機會ガ多クナル上ニ、更ニ現在ノ如ク、紡績會社ノ所謂配當第一主義、成ベ

ク配當ヲ多ク、多クト云フ此第一主義ヲ是認シテ居ルト云フヤウナ狀勢ヲ、此儘ニシテ置イテハ、何時ニナツテモ綿絲ヲ安クスルト云フ時期ハナイデハナイカ、綿絲ガ安クナインアラバ、貿易ノ原則タル最優等ノ品物ヲ、最廉價デ造ルト云フ原則ニ、當倣ツテ來ナイデハナイカ、如何ニ主務省ガ品物ノ優良ヲ指導シ、獎勵シテオイデニナツテモ、其價格ガ安クナケレバ海外ノ顧客ガ應ジテ來ル筈ハナイ、海外ノ顧客ガ應ジテ來ルヤウニ廉價ノ品物ヲ造ラレルニハ、製産ノ原料ヲ安クシナケレバナラヌデハナイカ、然ルニ今申上グルヤウニ、總テノ價格ガ此儘ニ放任サレテ居ッテハ所謂原絲——元ノ絲ガ安クナルト云フ機會ガナイデハナイカ、デアアルカラ政府ハ一層大ナル勇氣ヲ奮ツテ、綿絲關稅撤廢ト云フコトヲヤツテシマッタナラバ、サウシテ諸君ノ恐ル、所、其處ヲ但書ニ依テ御逃ゲナスッタナラバ宜イデアハリマセヌカ、原則ヲ定メテ置イテ、ソレニ依テ絲價ヲ世界的ナラシメテ、其以上ニアナタ方ノ恐レル所ノモノハ但書デ御逃ゲナサイ、サウスレバ所謂不良會社ト云フカ、戰時中ニ勃興シタ所ノ一鍾百圓、百五十圓ト云フガ如キ、高價ノ固定財産ヲ持ッテ居ル所ノ會社ハ、遂ニ關稅撤廢世界的絲價ノ價格ト云フコトニ壓倒セラレテ、厭デモ自ラ優良會社ニ買ウテ貰フトカ、合併ヲ求メルト云フコトニナツテ、其整理モ出來ルデ

ハナイカ、斯様ニ申上ゲタノデアリマス、尙ホ此點ニ對スル御答辯ヲ願ヒタウゴザイマス
○武藤委員長 商工省ノ方ノ宮内工務局長及大山技師カラ説明ヲ致シタイト云フコトデスカラ許スコトニ致シマス
○黒田政府委員 商工省ノ方カラ只今ノ御質問ニ對シテ御答ガアル筈デゴザイマス、又御質問者モ商工省カラノ御答ヲ期待サレテ居ルヤウデアリマスガ、唯其御尋ノ中ニ關稅ノ制度ノコトニ付テノ點ガアリマシタノデ、其點ダケ私カラ只今私ノ承リマシテ考ヘマシタ所ヲ一應申上ゲテ見タイト思ヒマス、私ハ綿絲ノ關稅ヲ無稅ニスルト云フ御意見カト拜承致シテ居リマシタ所、サウデナクシテ之ヲ免稅ヲスル、併ナガラ勅令ニ於キマシテ、必要ノ場合ニ於テハ又課稅ヲシテモ宜シイト云フ風ニ、但書ヲ附ケテ置ケバ、何等心配ガナイデヤナイカト云フ風ナ御意見デアッタデアリマス、是ハ從來ノ例カラ申シマス、關稅ヲ設ケテアル、併ナガラ是ガ何等カノ必要、是ハ或ハ價格ヲ調節スルトカ、或ハ需要ヲ調節致スト云フ風ナ爲ニ、期間ヲ指定シテ之ヲ免稅シ、又ハ減稅出來ルト云フ風ナ規定ハ從來御承知ノ通りアルノデアリマスガ、假ニ之ヲ一旦免稅ヲ致シテ置キマシテ、サウシテ、之ヲ課稅シテ宜イト云フヤウナ規定ノ適用ト云フコトハ、實際實行スル上ニ於テハ、餘程困難ナ規定ニ

ナリハシナイカ、勿論價格ガドウナッタ
トカ、或ハ輸入ガ内地ノ産業ヲ脅威ス
ル場合ト云フヤウナ條件ハ附スルニ致
シマシテモ、是等ハ實行上ニハ餘程困
難ノコトデアリマシテ、サウ云フ規定
ヲ設ケマス云フコトハ、餘程考ヘナ
クレバナラヌコトデハナカラウカト云
フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、一
應其點ニ對スル考ダケヲ申上ゲマス

○宮内商工省工務局長 只今長田君ヨ
リ御質問ニナリマシタ事項ニ付マシ
テ、第一ノ制度ノ點ニ付キマシテハ、只
今黒田政府委員ヨリ御答辯ガゴザイマ
シタノデ、ソレデ御諒承ヲ願ヘタコト
ト考ヘテ居リマスガ、大體先程來大臣
初メ政府委員ヨリ御答辯ガアリマシタ
ヤウナ次第デゴザイマシテ、第一ニ綿
絲關稅ヲ撤廢致シマスレバ、ソレニ依
テ我國ノ綿絲價ガ安クナルト云フコト
ニ付キマシテ、多大ノ疑問ヲ持ッテ居ル
次第デアアルノデアリマス、何トナレバ
今日我が紡績業ハ年々支那ニ對シテ輸
出ヲ致シテ居ルノデゴザイマスルコト
ハ御承知ノ通りデゴザイマス、支那ハ
輸入國デアリマシテ、我國ハ輸出ヲ致
シテ居ル、斯様ナ狀態ニナッテ居リマス
ルガ、其關係ハ必ズヤ經濟上ニ於キマ
シテ、我國ノ綿絲價ガ支那ノ綿絲價ニ
比較致シマシテ、有利デアルト云フコ
トヲ反證スルモノデアルト考ヘマス、
一人當リノ工賃カラ申シマスレバ、成
程支那ニ於キマシテハ日本ノ工賃ヨリ

安イノデゴザイマスケレドモ、併ナガラ
之ヲ全體トシテ見マシテ、其上ニ監督
ヲ致ス一ツノ生産費ヲ調べテ見マス
云フト、ドウ致シマシテモ支那ノ方ガ
有利デアルト云フコトハ申スコトガ困
難デアル、斯様ニ考ヘマス、是ハ何ヨリ
事實ノ上ニ於キマシテ、支那カラ我國
ニ這入ッテ來ルト云フコトガナイノデ
ゴザイマスルカラシテ、若クハ少イノデ
ゴザイマスルカラシテ、之ヲ以チマシテ
我國ノ生産費ノ方ガ先ヅ有利ニアルヤ
ウニ感ゼラレマス、サウ致シマスト關
稅ヲ撤廢致シマシテモ、安イ支那ノ綿
絲ガ這入ッテ來ルト云フコトハ、直ニ私
共考ヘルコトハ困難ナ次第デアアルノデ
ゴザイマス、況ヤ支那ニ於キマシテハ
領土モ廣イノデゴザイマスシ、綿絲ニ
付キマシテモ亦多大ノ需要ガアルノデ
ゴザイマスカラシテ、一國內ニ於テ益
綿絲ノ需要ガ増シテ來ルト云フヤウナ
狀態ニナッテ參リマスレバ、其生産費カ
ラ申シマシテモ、即チ絲價ノ騰貴ヲ漸
次促シテ來ルト云フヤウナ狀態ニナ
リハセヌカト云フ懸念モアリマス、一
面ニ於キマシハ御承知アラセラル、支
那ノ政情、地方的ノ動亂ト云フヤウナ
事態ニ考ヘテ見マシテモ、將來ニ於テ
生産ガ盛ニナリ、而シテ支那ノ綿絲
ヲ入レマスコトニ依テ、我國ノ綿絲價
ノ安定ヲ期スルト云フコトハ、是ハド
ウモ容易ニ望ムコトガ出來ナイノデハ
ナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙

ホ私ハ技術ノ點ニ付テハ承知致シテ居
リマセヌガ、今日支那ノ綿絲ト我國ノ
綿絲ト比較シテ見マスルト、支那ノ綿
絲ハ堅ウゴザイマスシ、我國ノ綿絲ハ
柔カデアルト云フヤウナ次第カラ考ヘ
テ見マシテ、直ニ是ガ我國ニ持ッテ參
リマシテ、應用ガ出來ルカドウカト云フ
コトニ付キマシテハ、懸念ヲ抱イテ居
リマス、支那カラ這入ッテ參リマセヌト致
シマス、外ノ國カラハ到底採算ハ採
レマセヌノデゴザイマシテ、供給ヲ仰
グト云フコトハ困難ノヤウニ考ヘマス、
其點カラ致シマシテ直ニ綿絲ノ關稅ヲ
撤廢スルコトニ依テ、所謂安イ綿絲ヲ
供給スルコトニ依テ、而シテ我國ノ綿
絲價ヲ安カラシムルコトニ依テ、ソシ
テ輸出貿易ヲ促進スルコトガ出來ルト
云フヤウナ結論ニ、直ニ到達スルコト
ハ困難ニ感ジテ居ル次第デアリマス、
尙ホ一面ニ於キマシテハ、我國ノ綿絲
紡績業ハ、申ス迄モナク原料ヲ他國ニ
仰イデ、サウシテ紡績ノ機械ニ致シマ
シテモ、一連ノ機械ト致シマシテ、ヤウ
ヤウ此頃出來出シタ次第デハゴザイマ
スケレドモ、是モ外國ニ供給ヲ仰グト云
フヤウナ實情ニナッテ居リマスルガ、機
械ノ方ノ點カラ見マシテモ、色々獎
勵ノ方法モ講ジタイト斯様ニ考ヘテ居
ルノデゴザイマスケレドモ、矢張外國
ニ供給ヲ仰ガナクチャナラヌト云フヤ
ウナ不利ナル狀態ト考ヘマス、ソレカ
ラ又先程來非常ニ問題ニナッテ居リマ

スルノデゴザイマスルガ、多大ノ配當
ヲ致シテ餘程樂ニナッテ居ル、換言致シ
マスレバ基礎ガ鞏固ニナッテ居ル、斯ウ
云フノデゴザイマスケレドモ、或ル紡
績會社ニ致シマスレバ、御話ノ如ク創
立ノ年限ガ古クアリマシテ、度々好況
時ヲ經マシテ、其結果ト致シマシテ餘
程蓄積等モ多クアリマシテ、今日ニ於
キマシテハ償却等モ致シテ居ルト云フ
ヤウナ關係カラ致シマシテモ、有利ナ
會社モアルノデアリマスケレドモ、併ナ
ガラ無論全體ガ左様ナ次第デハナイノ
デアリマス、或ル小會社ナドニ致シマス
ルト、近時出來テ參リマシタル會社ニナ
テ參リマスルト、中々左様ニ有利ニハ參
リマセヌノデゴザイマス、而シテ又一
面將來ニ於キマシテハ、深夜業ノ廢止
ノ問題モゴザイマスシ、是ガ或ハ二交
替、二交替ヲ執リマスルカ、ソレ等ニ依
テ鍾數ヲ増スト云フコトヲ致シマセヌ
ケレバ、矢張り其鍾ニ於テ缺陷ヲ生ジ
テ來ルト云フヤウナコトニナルコトハ、
是ハ今日ヨリ致シマシテ紡績業者ガ非
常ニ苦心ヲ致シテ居ル次第デアアルノデ
ゴザイマス、今日ノ儘ニ致シマシテ綿
業ノ發展ヲ期スル、我國ニ出來マスル
綿絲ヲ基礎ト致シマシテ、綿布業ノ延
イテ綿製品ノ發展ヲ期スルト云フ爲
ニハ、如何致シマシテモ、其根本ノ綿絲
ト云フモノニ付テ、餘程動搖ナキ――
若シ不安ガアルト致シマスレバ、其不
安ヲ除クヤウナ方策ヲ講ジナケレバナ

ラスト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、近時出來テ參リマシタ紡績會社等ガ隨分苦境ニ陥ッテ居ルト云フヤウナ次第カラ見マシテモ、將來ニ於キマシテ、若シ紡績會社ガ或ハ増資ヲ致スナリ、或ハ擴張ヲ致スナリ、新設ノ工場ヲ計畫スルト云フコトガアリマシタナラバ、將來ニ於テハ矢張同ジヤウナ苦境ニ在ルモノデアラウ、同ジヤウナ苦境ヲ嘗メナケレバナラヌモノデアラウト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルデアリマス、尙且支那印度等ノ事情ハ縷々先程來申述べタノデアリマスルカラ、重ネテハ申上ゲマセヌノデアリマス、要スルニ内外共ニ容易ナラヌ時期ニ際會シテ居ルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、斯ウ云フ際ニ於キマシテ若モ綿絲ト云フモノガ、外國カラノ供給ヲ仰グノデアルト云フ、斯様ナ不安ナ狀態ニ立ッテ居リマシタナラバ、是ハ御希望モアリ、吾々モ熱心ニ希望致シテ居リマス、我國ト致シマシタ綿業ノ基礎ヲ確立スルト云フコトハ、貿易關係上重大ナル事項デアリマス、其重大ナル事項デアアル綿業ノ綿布綿製品ト云フモノハ、基礎ヲ確立スルト云フコトニ付テ、根本ノ綿絲ト云フモノハ、我國ニ於テ動搖ナキ不安ナク確立シテ居ル狀態ヲ、茲ニ持チ來スト云フコトガ非常ニ重大デアアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今日ニ於キマシテ長田君ノ所謂勅令ノ但書ヲ以チマシテ、而シテ

恰モ米穀法ノ勅令ニ於ケルガ如クヤッダガ宜クハナイカト云フ御議論モアリマシタ、併ナガラ大體ト致シマシテ、其處マデノコトヲ斷行スベキ時機デハ今日ハマダナイノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙第二ノ御尋ネデゴザイマスガ、人造絹絲ガ近時非常ニ發達ヲ告ゲマシテ、漸次計畫中ノモノモゴザイマスシ、尙計畫セントスルモノモアリマス、即チ世界ノ二伊太利ヲ始メ其他ノ國ニ於キマシテモ、非常ニ増産ヲ爲シテ來テ居ルト云フコトハ、誠ニ御意見ノ通りニ私共モ考ヘテ居リマス、是ハ綿絲ニ對シテ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトデゴザイマスガ、此點ニ付テハ私共モ深甚ノ注意ヲ拂ヒマシテ研究ヲ致シテ居ル次第デゴザイマスガ、近時人造絹絲ノ用途ガ非常ニ増シテ參リマシタ、其結果ト致シマシテ使用量モ非常ニ殖エテ來テ居ルト云フノデゴザイマスガ、綿絲ニ對シマシテ、若シ影響ヲ與フルトスレバ、ト申シマスノハ今日ニ於キマシテハ綿絲ニ對スル影響ト致シマシテハ、吾々ハマダ非常ニ影響シテ來テ居ルト云フ程ニハ感ジテ居リマセヌ、若シ綿絲ニ對シテ影響ヲ及ボスモノト致シマスレバ、ソレハ値段ノ關係上細絲ニ對シテ影響ヲ及ボスト云フコトニ、或ハナルカ知ラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマスケレドモ、今日ニ於キマシテマダドレ程ノ影響ガアルカト云フ事迄ノ影

響ガアルトハ感ジテ居リマセヌ次第デゴザイマス、或ハ純絹綿等ヲ混ゼマシテ出來テ來ルモノモアルヤウニゴザイマスケレドモ、今日ニ於キマシテマダ左程ノ影響ガアルトハ考ヘテ居リマセヌ、尙操業短縮ヲ斯様ナコトカラヤルノデナイカト云フ御尋モゴザイマシタガ、是ハソレ程ニ私共感ジテ居リマセヌ關係カラ致シマシテ、直ニ操業短縮ガ起ルベキモノトハ考ヘテ居リマセヌ、操業短縮ノコトニ付テハ、前ニ政府委員カラ御答ガアッタヤウニ存ジマスカラ、其點ハ省略ヲ致シマシテ、大體ヲ申上ゲテ置キマス

○長田委員 能ク徹底シタ御答辯ヲ得マシテ結構デゴザイマス、歸スル所ハ綿絲業ノ安定ヲ圖ルト云フコトガ、極テ大切デアルト云フヤウニ拜承ヲ致シマシタ、ソコデ起リマスル問題ハ、現在ノ我國ニ於ケル成績不良ノ紡績會社ヲ整理スルト云フ方法、是ニ對シテ積極的ニ何等カ御計畫若クハ御考慮ガ御アリニナルデゴザイマセウカ、ソレカラ更ニ此配當第一主義ノ我が紡績會社ノヤリ方ヲ、政府ノ力ヲ以テ之ヲ制限スルト云フヤウナ御考ガアリマセウカ、此二點ニ付テ御伺ヲ致シマス

○野村政府委員 御質問ガ二ツデゴザイマシテ不良ノ紡績會社ヲ整理スル意志ハナイカ、今一ツハ配當ノ點ニ付テ相當ノ制限ヲ加フル意志ガナイカ、要スルニ何レモ紡績業ノ基礎ヲ鞏固ナラ

シメン點カラ出發シタ御尋ト存ジマス、整理ト申シマシテモ是ハ甚ダ面倒デアリマシテ、政府ニ於キマシテハ各自ガ紡績業ヲ營ンデサウシテソレノ權利義務ノ下ニ事業ヲ爲シツ、アルノデアリマスカラシテ、進ンデ強制的ニ之ヲ合併整理セシムルト云フヤウナ方法ハ甚ダ困難デアアルノデアリマス、併ナガラ此事業界ノ發達ヲ期スル爲ニ政府ト致シマシテハ、成績ガ舉ラザル紡績業者ニ對シテ、成タケ合併ナリ或ハ整理ナリシテ、サウシテ其基礎ヲ鞏固ナラシメルト云フコトハ望ム次第デアアルノデアリマス、又是等ニ對シテ相談ヲ受ケマシタ曉ニハ、其意味合ヲ以テ政府トシテ意見ヲ述べテ、サウシテ此業ノ基礎ヲ鞏固ナラシメル考デ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ノ問題ノ配當ニ對スル制限、是モ甚ダ困難ナ問題デアリマシテ、其會社ノ經營上利益アリト認メテ、サウシテ總テノ收入支出ヲ計算シテ、ソレデ相當ナ純益ガアツテ、ソレヲ配當スル、斯ウナル以上ハ之ヲ政府ガ制限シテ、三割配當スルモノヲ二割ニスル、二割ノモノヲ一割ニスルト云フコトハ、甚ダ困難デアリマシテ、政府ガ補助デモシテ居リマスレバ、政府モ口ヲ利ク權能モアルデアリマセウガ、今日別ニ補助シテ居ル會社モナイ次第デアアルノデアリマスカラシテ、是ハ政府ノ當然ノ權能トシテ制限ヲ強制スベキ途ガ私ハ無イト思フノデアリマス、

併ナガラ御尋ノ如ク他ノ會社ハ餘リ配當シテ居ラヌノニ、紡績會社ガ外ノ會社ト比較シテ非常ニ配當スル、ソレガ爲ニ基礎ガ薄弱ニナル、ソレガ爲ニ色色ノ弊害ヲ生ズル、御心配ニナッタヤウナ操業短縮ト云フヤウナコトモヤラヌトモ限ラナイト云フヤウナ御懸念、今一面ハ高ク賣ルコトハ隨テソレヲ消費スル人間モ困ルヂヤナアカト云フ、總テ經濟觀念、國民生活ノ關係カラ御心配ニナッタコト、信ジマスガ、政府モ矢張其點ニ對シマシテハ御同感デアリマス、但シ強制的ニ斯ウア、スルト云フコトハドウモ甚ダ困難ノヤウニ感ズルノデアリマス

○長田委員 ドウモ吾ミノ信賴シテ居ル御答辯ハ得ラレナイノヲ残念ニ思ヒマス、結局私共モ今日ノ狀態ニ於テ、事業會社ノ配當ヲ制限スルト云フコトハ、實ニ困難ナコトデアアルト思ッテ居リマス、或ハ又今日ノヤウニ認可主義ニナツテ居ラナイデ、自由ニ會社ヲ造ルコトガ、出來ル狀態ニナツテ居リマスレバ、何ボ戰時好況ノ時期ニ、一緡百五十圓ト云フモノヲ買ッテヤッテ、十年經タナイ中ニ是ガ駄目ニナルト云フコトガ分ッテ居ッテモ、ソレヲ成立スルコトヲ妨ゲルコトガ出來ナイカラ、已ムヲ得ヌト思ッテ居リマスガ、國家ノ所謂國本トモナルベキ纖維紡績ト云フモノガ、其品質ガ優良ナルト同時ニ、廉價ニ販賣スルコトガ出來ルト云フコトニシナケレ

バナラヌト云フコトガ、國策ノ基本トナツテ居ルト云フコトデアリマスレバ、國家ハ如何ナル方法ヲ用キテモ之ヲ安クスルコトニシナケレバナラヌ、其考ヲ段々ト推廣メテ參リマスルト云フト、結局ノ所ハ綿絲ナラ綿絲ト云フモノ、價格ガ最低額デ供給サレルヤウナ方法ヲ講ジナケレバナラナイ、然ラバ不自然ニ操業短縮ト云フヤウナコトヲシテ、絲價ヲ維持シ絲價ヲ昂騰セシムルト云フヤウナ方法ハ禁ジナケレバナラヌト思フ、所ガサウ云フヤウナ方法モ困難ダ、彼等ノ自衛上、ドウモ絲價ノ暴落ハ困ルノデアアルカラシテ、彼等ガ操業短縮ヲシテ生産ヲ減少スルト云フ方法モ是ハ已ムヲ得ナイノデアアルカラ、國家ノ權力ヲ以テスルモ如何トモ仕樣ガナイ、成行ニ委セナケレバナラヌ、斯ウ仰シヤル、然ラバイン配當バカリ取ルト云フ、所謂株主氣質ト云フモノハ制限シテ、社内保留ヲ成ベク多クシテ、非常ニ儲ケル會社ハ成ベク生産ヲ多クスル、所謂支店トカ工場ト云フモノヲ多クシテ、其優良會社ガ生産能率ヲ増加スルト云フコトニ努力スルヤウニサセタイ、サウスルコトガ國家ノ爲ニモ非常ニ都合良クナル、斯ウ思ヒマシテモ配當増額ハ國家ノ權力ヲ以テシテモ禁止スルコトハ出來ナイト言ハレル、更ニ又政府ノ御答辯ノ中ニ、矢張綿絲關稅撤廢ニ反對ナサル理由トシテ、全國六十幾ツノ會社ノ中ノ半數以上ハ不良會社デ

アルト仰シヤル、其不良會社ハ國家ノ權力ヲ以テ何トカ整理デモシテハドウカト思フ、然ルニ其整理ノ方法ハドウモ仕樣ガナイ、仕樣ガナイバカリデナイ、ミスノ十年經タヌ中ニ仕樣ガナイモノヲ、今時設立シテモ駄目ダト云フコトハ分ッテ居ッテモ、ドウモ仕樣ガナイ、ソレハ設立ノ自由ニ委セル、サウ云フコトデアッタナラバ百年經タ所デ綿絲關稅撤廢ハ勿論ノコト、綿絲業ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトハ出來ナイデハナイカ、此狀態カラ云ッタナラバ、此綿絲貿易ノ隆昌、綿絲貿易ヲ盛ニスルト云フコトニ付テ積極的政策ハ政府ハ何等御持合セハ無イト云フコトニ歸著スル、斯様ニ論斷ヲスル失禮ナ言ヲ放ッテモ已ムヲ得ナイノデアナアカト考ヘマス、結局是ハ綿絲貿易若クハ綿絲貿易、綿絲物ノ貿易ヲ盛ニスルト云フコトニ對シテハ、露骨ニ申セバドウモ目下ノ所積極的ノ政策ハ無イトデアアルト云フコトニ歸著スルト諒解シテ宜シイノデアリマス、伺ッテ置キマス

○野村政府委員 綿絲綿業ノ貿易ノ趨勢ニ對シテ政府ハ自然ニ放任シテ置クカ、袖手傍觀何事モ爲サズニ居ルカ、又此紡績業者ノ高イ配當或ハ不良會社、是等モ其儘ニ放任シテ置クカ、斯ウ云フ御質問デアアルデアリマス、長田君ガ此業ノ發達ガ國民生活ニ至大ノ關係ヲ及ボスカラシテ、基礎ヲ鞏固ニシテ、サウシテ此發展ヲ望マルル、結果、御問

ニナッタコト、思フノデアリマス、其志ハ當局モ長田君ト同様デアリマス、矢張此業ノ發達ヲ希望シテ、サウシテ貿易ノ隆盛ヲ望ムノデアリマス、其志ハ同ジデアリマスルガ、併シ今日當局ト致シマシテモ、ソレノ法規手續ノ下ニ行動活動スルヨリ外ハナイノデアリマス、是ハ私ガ申上グルマデモナク、長田君モ御承知ノ通りニ、法規、法制以外ニ出マシタナラバ、直ニ干涉シタトカ、直ニ不法行爲ヲシタト云フ玆ニ問題ガ立所ニ惹起スル、諸テ此法規法制ノ下ノ活動彈力性ノ餘地アル法規、法制ガアルカト斯ウ申シマスルト云フト、或ハ三割配當スベキモノヲ二割ニ減ジ得ベキ法制トカ、又配當不可能ノモノハ合併シテモ宜シイト云フ自由裁量ヲ認メタ法制ガアルカト申シマスルト、遺憾ナガラ今日ノ法制ニ於キマシハ、彈力性ノアル法制ハナイノデアリマス、隨ヒマシテ此點ハ長田君ト志ハ同ジウ致シマスケレドモ、法律、規則ノ規定上已ムヲ得ヌ話デアアル、併ナガラ今御心配ニナッタヤウナコトハ非常ニ重ナリマシテ、サウシテ是ガ爲ニ著物ヲ著ルコトガ出來ヌ人ガ出來、或ハ紡績不良會社ガ存續スル爲ニ、大ナル玆ニ國民ニ障害ヲ與ヘルト云フヤウナルコトニ遭

遇致シマシタ時ニハ、其時ニ於テハ、是ハ矢張相當考慮シ、適當ナ方法ヲ執ラナケレバナラヌデアアラウト斯ウ思フ、併シソレハ事實ノ認定デアリマシテ、又

同時ニ程度問題デアリマス、今ノ程度ニ於キマシテハ、志ハ成タケ不良會社ノ減少、成タケ社内保留、其他ニ於テ其會社ノ基礎ヲ健全ニシテ、サウシテ配當ヲ手控ヘニスルト云フコトハ希望ト致シマシテハ、私モ同感デアリマスガ、諸テ實際ニ於キマシテハ、先程申上ゲルヤウナ次第デアアルノデアリマスカラシテ、今ノ程度ニ於テ直ニ政府ガ袖手傍觀何モセズ放ツテ置クト云フ現狀デハナイノデアリマシテ、要スルニ法規、法制ノ下ニ活動スルヨリ外ニ途ハナイノデアリマス、若シ夫レ弊害ノ大ナルニ至ツタナラバ、法律ヲ更ニ提案シテ、或ハ紡績會社ハ是以上ノ配當ハ出來ヌトカ、或ハ配當出來ヌ會社ハ須ク合併スベシト云フヤウナル規定ヲ立案シテ、諸君ノ協賛ヲ求メル機會ガアルカモ知レナイ、又輸出綿絲、綿布ニ付キマシテハ、御心配ハ御尤デアリマスガ、併シ幸ニ統計ニ見マスルト云フト、大局カラ年々増額シテ居ルヤウナ次第デアアルノデアリマス、是ダケ御答致シマス

○長田委員 モウ大概此程度デ私ハ止メマス、唯先刻御話デゴザイマシタ綿絲關稅ヲ撤廢シテモ支那カラハ絲ガ入ッテ來ナイ、是ハ前五十議會ニ於テ餘程繰返サレタ問題デアリマスカラ、多ク申シマセヌケレドモ、事實サウデアリマセウ、事實綿絲關稅ヲ撤廢シテモ期待スル絲ハ支那カラ參ラヌデアリマセウ、併シ參ラナイト云フ事柄ハ、關稅撤廢ヲシテモ、内地ノ紡績業者ヲ脅カシハセヌト云フ結論ヲ生ズルコトヲ、御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、私共ハ絲ノ來ル來ヌト云フコトハ、事實ニ之ヲ委セテ、唯市場價格ガ所謂大陸的ニナルト云フ事ダケデモ效果ガアルト私ハ信ジテ居リマス、左様ニ考ヘルト云フ事ト、今一ツ此關稅撤廢ノ原則ヲ定メテ置イテ但書ヲ設ケルコトハ、少シ法制ノ上ニ於テモ面白クナイト云フ御意見デアリマス、ケレドモ其處ハ歷代内閣ノ執ツテ居ル所ノ委員會制度ヲ設ケテ、所謂各般ノ知能知識ノアル學者實業家ヲ集メテ、大キナ委員會ヲ御設ケナサツテ、其委員會ト主務大臣トノ間ニ、或一定ノ此關稅ヲ課スルト云フヤウナ權能ヲ授ケテ差支ナイ、是ハ當ニ吾々ガ考ヘテ居ル小サイ問題ナラバサウ云フ御話デアアルケレドモ、國家ノ所謂貿易ノ大宗デアアル所ノ綿織物ノ興廢ニ關ハルト云フ大問題デアアルカラシテ、能ク此法律關稅等ノ制度ヲ設ケル權能ヲ、今少シク大キク見テ考ヘル必要ガアルト思フ、當ニ過去ノ習慣ニ因ハレタリ、或ハ區々タル不良會社ヲ取締ツタリト云フヤウナ事デ、此大原則ヲ放棄シ去ルベキモノデハナイト私ハ考ヘル、但シ新聞ノ傳フル所ニ依ルト、昨日政府ハ大藏省ト商工省ト御協議ノ上ニ、今日ノ會合ニハ絕對關稅撤廢ニハ峻拒主義デ臨マウト云フコトヲ御決メニナツテ、相當理由ヲ新聞ニ御書キニナツタ、吾々

ガ如何様ニ叫バウトモ、アナタ方ノ耳ノ關門ハ通過セヌト云フ事ニナツテ居ルラシイノデスカラ、不必要ノ事ト考ヘマスガ、吾々ノ思フ事ヲ言ハネバ分ラヌカラ、ソレデ申上ゲタノデアリマス、是デ私ノ質問ハ打切りマス

○宮内商工省工務局長 私ガ先程申上ゲマシタ御答ノ言葉ガ足りマセヌ爲ニ、誤解ヲ招キマシテ恐縮ニ存ジマスガ、支那カラ絲ガ入ッテ來ヌト云フ事デアレバ關稅ヲ取ツテモ差支ナイデヤナイカト云フコトノ御話デゴザイマシタノデソレハ實ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、若シ關稅ヲ取ルト云フヤウナ事ニ相成リマスレバ、其結果ト致シマシテ銀ノ相場等ニ依リマシテ、或ハアチラノ事情等ニ依リマシテ、サウシテ安イノガ入リ得ル、入り得ルト云フコトガソレガ其安イ綿絲ニ頼リマシテ、サウシテ我國ノ綿業發展ノ基礎ニナルヤウナ、左様ナ入り方デアレバ、是ハ別デゴザイマスケレドモガ、左様ナ入り方デハゴザイマセズニ、銀相場ノ高低ニ依リマシテ、サウシテ之ニ依テ我國ニチヨイチヨイ入ッテ參リマシテ、サウシテ我國ノ綿業ヲ脅威スル、綿絲ヲ脅威スルト云フヤウナ事ガアリマシテハ、誠ニ遺憾ナ次第デアアル、斯様ニ考ヘマスノデ、取ツテシマツテモ入ラナケレバ宜シイト云フ御議論ハ一應御尤ニ拜聽ヲ致スノデゴザイマスケレドモ、當時デゴザイマセズニ、臨時ニ入ッテ參リマシテ、サ

ウシテ脅威ヲスル、而モ銀ノ相場ノ高低ニ依テ斯様ナ結果ヲ生ズルト云フヤウナ事ガアリマシテハ遺憾デアリマス、而シテ又サウ云フ事デアラウト考ヘマスルノデ申上ゲタノデゴザイマス、サウ云フ意味ヲ以チマシテ今日撤廢ト云フコトヲ致シマスルノニ、躊躇致シテ居リマス次第デアアルノデゴザイマスカラ、隨ヒマシテ第二ノ制度ノ上ニ於キマシテ原則ト致シマシテ撤廢ノ原則ヲ立テ、置キマシテ、米穀法ノ第何條カノ所謂勅令ノ定メル所ニ依リマシテ、關稅ヲ増加減免スルコトヲ得ト云フヤウナ規定ヲ設ケルト云フコトハ、只今考ヘテ居リマセヌ次第デアアルノデアリマス、尙一面ニ商工省ト致シマシテ、綿絲、綿布ト云フコトニ付キマシテ、或ハ合同ニ付テノ權力ヲ振フ、若クハ配當ニ付テノ權力ヲ振フト云フヤウナコトガゴザイマセヌケレバ、即チ綿絲、綿布ニ付テノ政策ハ何ニモナイカノ如ク聽取リマシタガ、他ニモ種々考ヘテ居リマス、或ハ貿易ノ促進ヲ圖ルガ如キ或ハ將來ノ趨勢ヲ察シマシテ細イ物ヲ漸次ニ拵ヘルト云フヤウナ譯デアリマス、商工當局ト致シマシテモ、隨分苦心ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、其二ツガゴザイマセヌカラ、全部綿絲、綿業ニ付テノ政策ハ何モナイ、サウ云フ意味デハゴザイマスマイケレドモ、サウ云フ譯デモチイノデアリマスカラ、ドウゾ其點ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス

○黒田政府委員 先程長田君ノ質問デアリマシタガ、最後ノ御言葉ニ綿絲關稅ノ撤廢ニ付テハ協議シテ峻拒スル方針ヲ以テ臨ンデ居ルト云フ御話ガアリマシタガ、サウ云フ協議ハナカッタノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイノト、ソレカラ綿絲ノ關稅ニ付キマシテハ、商工ノ政府委員カラシテ、又關係官カラ致シマシテ、今日ノ事情ニ付テノ御意見モ色々御述ニナツテ居ルノデアリマス、併シ今日此關稅ガドウ云フ風ナ狀況ニナツテ居ルカト云フ事實ヲ申上ゲマスレバ、是ハ昨年議會ニ於キマシテノ希望ノ決議ガアリマシテ、之ヲ關稅調查委員會ニ諮問ニナリマシテ、關稅調查委員會ニ於キマシテハ、十分ニ研究ヲシテ案ヲ具シテ、更ニ委員會ニ出スヤウニト云フコトデアッタノデアリマス、幹事會ニ於キマシテモ未ダ案ヲ得ナイデ研究ヲ致シテ居リマス、今日ノ事情ハ只今述ベマシタヤウニ、ドウモ撤廢スルト云フコトハ、今日ノ實狀如何デアラウカト云フコトノ御議論ガアルノデアリマスガ、併シ是ハ未ダ關稅委員會ニ於キマシテ決定シタト云フノデアリマセヌ、其點ハ十分御承知ヲ願ヒタイ、隨テ何モ今日サウ云フ意見ガ出タラ申合セラシテ峻拒シヤウデヤナイカ、サウ云フ風ナコトデナク、各自皆政府ノ意見ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願

ヒタイノデアリマス

○武藤委員長 永田君——續イテ山本君、飯塚君カラ通告ガアリマスカラ……
○永田委員 吾々ハ特ニ今日一日選ンデ政府ト打合セテ委員會ヲ進メテ居ル、眞劍ニ——何時モ眞劍デアリマスガ、特ニ今日ハ眞劍ニヤツテ居ル譯デアリマスカラ、政府ニ於テモ今長田サンガ仰シヤッタ通り、拒否同盟マデ造ツテ出テ居ラレルト云フコトデアリマスカラ、少シハ前後矛盾シナイヤウナ御答辯ヲ願フテ、進行ヲ圖ツテ戴キタイ、先程長田君ヨリ御質問ニナリマシテ宮内君ガ御答ニナツタ點、支那ノ紡績ハ日本ニ入ラナイ、關稅ヲ撤廢シテモ入ラナイト云フコトヲ確ニ仰シヤツテ居ル、私モ甚ダ不思議ニ思フテ居リマシタガ、只今又再ビソレヲ取消サレテ、言葉ガ足ラナカッタガサウデヤナイ、斯ウ云フ御話デアリマス、私ハ後ノ話ガ昨年一昨年ノ續キトシテハ本當デアラウト思フ、政府ノ從來ノ主張ハ少クモ深夜業廢止ハ設備ガ整ツテ居ラヌト云フコトガ一つノ理由デアアル、又印度ニ於ケル關稅ノ報復ト云フコトヲ恐レル、不良紡績會社モ救済シナケレバナラヌ、之ニ加フルニ支那ノ紡績ノ脅威、是等ガ政府ノ常ニ高調シ、高ク掲ゲテ拒否シテ居ルト云フ理由デアアル、其一ツガ實ハ宮内氏ノ御言葉デハナクナツタと思フテ私ハ喜ンデ居タ、支那ノ紡績ノ脅威ハナイト云フコトデアアルカラ、政府ノ考ヘテ居

ル拒否ノ理由ノ一部ハ破レタモノト思フテ居ルト、直ニ御取消ニナツタ、サウシテサウデヤナイ斯ウデアルト言フ、ドウカソレヲモウ少シ前後矛盾シナイヤウニ責任ヲ以テ御答辯願ヒタイト豫メ御願ヒシテ置キマス、倍テ先程私外務省ノ政府委員ニ御同致シマスと云フト、印度ニ於ケル日本ノ紡績ニ對スル關稅ノ問題ハ、餘程昨年來順調ニナツテ來テ居ル、十分安心デアルト云フ御言葉デハナイガ、餘程順調ニナツテ心配ノ程度ガ昨年ヨリ餘程少クナツタト、サウ云フ風ニ私ハ聞イテ居リマシタ、サウシマスと又從來政府ノ試ミテ居ル一つノ問題ハ帳消ニナツタヤウニ吾々共ハ思フノデアリマス、ソコデ其次ノ深夜業廢止、是ガ取レマスルト云フト、餘程綿絲關稅ノ撤廢ニ近イテ來ル、此事ヲ其後ドウ云フ風ニ取扱ツテ居ルカト云フコトヲ先づ第一ニ承リタイ、政府ハドウ云フ政策ヲ講ジテ深夜業ノ廢止ニ臨ンデ居ルカ、一昨年來ノ問題デアッタガ、政府ハ一昨年來手ヲ盡シテドレマデ進ンデ來タカト云フコトヲ一ツ承リタイト思ヒマス、其次ニハ不良紡績會社ノ救済ニ付キマシテハ、長田君カラモ澤山御話ガアリマシタガ、私モ長田君ノ說ニ賛成シマス、野村政府委員ガ法律ノ制度ガナイカラシテ押ヘル譯ニハ行カヌ、斯ウ云フコトヲ仰シヤツテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ適當ナル方法ヲ以テ整理スベキ案件ヲ具シテ、此

委員會ニ附スルナラバ、他ノ方面ハ知リマセヌガ、此委員會ハ少ナクトモ滿場一致デ賛成シテ、其法律ヲ成立セシメルコトニ努力スルコトヲ辭シナイ、喜ンデ其案ニ賛成シタイト思フ、唯言葉ノ上デ考ヘテ居ルト、云フダケデハ甚ダ當惑致シマスカラ、マダ制度ガナイカラト言ウテ引込ンデ居ラレル必要モナイ、國家ノ制度ハ刻々ニ進ムベキ筈デアルト思フガ、是等ニ對シテモ政府委員ガ斯ウシテ進メルノダト云フ案ガアレバ其案ヲ出シテ貰ヒタイ、若シ其案ガナイト云フナラバ、長田君カラモ申上ゲマスシ、又私共ヨリモ相當ナ意見ヲ之ニ關シテ申上ゲルコトヲ敢テ躊躇シナイノデアリマスカラ、此點モ尙ホモウ少シ進ンデ御意見ヲ承ツテ置キタイ、又ソレニ關聯シマシテ關稅ヲ存置スルガ爲ニ内地ノ消費者ニ高イ物ヲ消費サセル、又其結果綿布ニ影響シテ高イ物ニナル、サウシテ生活ヲ脅威スルト云フヤウナコトガアルナラバ、サウ云フコトニ付キマシテノ不便ナリ、著物ガ著レヌト云フナラバソレハ一つ考ヘナケレバナナルマイ、併シソレモ事實ノ認定ト制度ノ問題ダト斯ウ云フ御話デアッタ、所ガ私ハ著物ガ著レナイト思フ、何トナレバ今日綿絲關稅ノ收入ハ僅ニ十萬圓内外デアラウト思フ、十萬圓内外ノ金ヲ茲ニ占上ゲルト云フ爲ニ、綿絲ニ依ル内地ノ消費ニ假ニ此關稅全部ガ掛ルモノトスレバ問題デアリ

マスガ、其半分ハ消費者ノ迷惑ニナルト致シマシテ、三四千萬圓ノ金ガ綿絲ノ賣買價格ノ上ニ掛ッテ居ル、サウスレバ十萬圓ノ金デ三四千萬圓モ迷惑スルト云フコトナラバ、全ク是ハ著物ガ著レヌト云フテ宜シイ、所ガ著物ガ著レヌト云フナラバ考ヘヤウト云フ政府ノ御考ナラバ、此著物ハ著レナイモノト思ッテ考ヘテ貫ヒタイト私ハ思フタ、此二點ニ付キマシテ一應御説明ヲ承リタイ

○野村政府委員 深夜業ニ付キマシテハ、昭和四年カラ實施サレルノデアリマシテ、隨テ紡績經營者ニ致シマシテハ時間ガ短縮サレテ能率ガ減ルコトハ當然ノ結果デアリマス、實際如何ニシテ之ノ理合セテ付ケルカ、此點ニ對シマシテ紡績營業者ハ種々考慮ヲシテ居ルノデアリマス、當局ト致シマシテハ、此諸易イ道理ノ下ニ如何ナル方法ヲ講ズルカト申シマス、是ハ事業者自體ニ屬スルノデアリマシテ、積極的ニ其事業經營者ノ内容ニ立入ッテア、斯ウト云フ指圖ハ、今日マデノ程度ニ於テハ致シテ居リマセヌ、併シ進ンデサウ云フ機會ガアルカモ知レマセヌ、此點ニ對シマシテハ紡績業者ハ自分ノ營業上、營利上、立場上、研究シツ、アルコトハ當然デアリマシテ、當局ト致シマシテモ其關係ヲ認メテ居ルノデアリマス、併シ何分是ハ紡績業者自體ガ之ニ善處スルノデアリマスカラ、當局トシテ直ニア、斯ウト云フマデニハマ

ダ達シテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ若モ配當ガ高率ト思ッタナラバ、直ニ法案ヲ提出シテ法律ヲ以テ配當制限ヲ行ッたら宜イジヤナイカ、又不良會社ノ合併モ亦法律ヲ以テ直ニヤッタ宜イデハナイカ、少クトモ此委員ハ全部贊成デアラウト云フ御意見マデ附加ヘテ御述ベニナリマシタ、併シ是ハ單ニ法律ヲ以テ二割以下ニスベシトカ、或ハ不良會社併合スベシトカ、單純ニ行カヌト思ッテ居リマス、何故ナラバト申シマシタナラバ、此營業者ガ色々採算上經營ヲシテ居ルノデアリマスカラ、若シ法律命令ニ依テ是等ノ財産資産ヲ減少スルト云フコトニナレバ、政府ニ社會的ノ理由ガアリマシタ所デ、直ニ其經營者ニ損害ヲ蒙ラセルト云フコトハ洵ニ當ラ得ナイ、是ニ於テ或ハ賠償問題トカ或ハ補償問題トカ補助問題トカ、色色問題ガ惹起サレルコトデアラウ、此不良會社ノ合併ニ付テモ同様デアリマシテ、政府ガ強制的ニ法律ヲ以テ合併セシムルト斯ウナリマス以上ハ、之ニ對スル所ノ或ハ一方ニ對シテ補助スルトカ何トカ相當ナコトヲセナケレバナラヌト思フ、不良ノ方ハ別ト致シマシテモ、不良デナイ方ニ迷惑ヲ感ズル、斯ウ云フコトハ實際問題ニ當リマスト云フト、中々容易ニ其實行ヲ見ルコトハ困難デアアルノデアリマス、併ナガラ永田君ノ御尋ノ安イ著物ヲ得ル爲ニ株主ニ配當スルヨリハ、成ダケ安イ品物ヲ賣ッ

テ國民ニ安定ヲ與ヘヨ、又不良會社ガ算盤ノ引合ハヌコトヲシテ、社會ニ迷惑ヲ掛ケルヨリハ、サウ云フ風ナモノ、弊害ヲ根絶シテ、國民ニ安價ナル著物ヲ與ヘヨト云フ御趣旨ニ付テハ、私ハ矢張同意意見デアアルノデアリマス、併シ之ヲ實行スル爲ニ直ニ法律ヲ以テ強行致スト云フコトハ、同意ヲスルト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、併シ尙ホ將來此關係ガ進ンデ行キマシタナラバ、其時ニハ又ソレハ善處スル考デアアルノデアリマス

○黒田政府委員 關稅ガ消費者ニ及ボシマス影響ニ付キマシテ、只今永田君ハ僅カナル關稅ノ收入ノ爲ニ多數ノ織物ガ關稅ダケ高クナッテ、消費者ノ負擔ヲ増スモノデアルト云フ風ナ御意見デアリマシタノデアリマス、之ニ付キマシテハ私共ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、關稅ノ掛ッテ輸入サレテ居リマス絲ハ、主トシテ細イ絲デアリマシテ、ソレニ依テ織ラレマス綿織物ハ、比較的費澤ナルモノニ相成ッテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、而シテ普通ニ織ラレル太イ絲ノ輸入ハ微々タルモノノヤウニ記憶致シテ居ルノデアリマス、關稅ノ障壁ト云フモノハ先程商工省ノ人ヨリ御意見ヲ述ベラレタ如ク、内地ノ紡績業ノ不安ヲ除ク、詰リ關稅ガナケレバ輸入ガ這入ッテ脅威ヲスルト云フヤウナ不安ヲ除クト云フヤウナコトヲ致シテ居リマシテモ、内地ノ生産モ多クテ茲ニオ互

ニ競争モアル、隨テソレニ制セラレマシテ、必シモ關稅ノ障壁ダケ價格ガ上ルト云フ風デハナイヤウニ思フノデアリマスカラ、掛ケラレテ居リマスモノハ現實ニ關稅ハ負擔シテ居リマスルガ、ソレハ主トシテ「シヤツ」ノ地ニナルト云フヤウナ細イ絲ガ主タルモノデアリマスカラ、是ハ多少ノ負擔ガアリマシテモ、此關稅ガ内地ノ產業ノ不安ヲ除クノ貢獻ヲシテ居ルモノト致シマスナラバ、強ヒテ是ガ爲ニ消費者ノ負擔ヲ増シテ居ルト云フノデ、直ニソレヲ除カナケレバナラヌト云フモノデハナカラウカト考ヘマス、大體ニ於キマシテ一般的ノモノニ付キマシテハ關稅ガソレダケ價格ヲ引上ゲテ居ルモノデハナイト云フ風ニ私共考ヘテ居ルノデアリマス

○武藤委員長 永田君一寸貴方ニ御相談シマスガ、山本君、飯塚君カラ主トシテ綿絲ニ付テ御質問ガアリマスガ暫ラク御譲リ下サル譯ニ行キマセヌカ

○宮内商工省工務局長 私ノ申上ゲ方ガ足リナカッタヤウデアリマスカラ、此際補足致シテ置キタイト思ヒマス、關稅ヲ廢シテモウント入ッテ來ルトハ思ヒマセヌケレドモ、廢スルトナルト脅威ヲ感ジマス、其爲ニ或ハ増鍾計畫ノ上ニ齟齬ヲ生ズル、而シテ支那カラハ餘リ來スト云フコトニナリマス、却テ綿絲價ノ騰貴ヲ促ス、綿絲ノ價ガ高クナル、綿絲ノ數量ガ減ッテ來ル、増鍾計畫ガ齟齬ヲ來ス、紡績業ニ對シテ不

安ヲ與ヘルコトニナルト云フ、此事ハ私共非常ニ懸念ヲ致シテ居リマス、ソレガ所謂非常ニ重大ナ脅威デアルト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其點ハ言葉ガ足りナカッタカ存ジマセヌガ、趣旨ハ左様ナ趣旨デアリマス、取ルコトニ依テ非常ナル脅威ガ來ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲル積リデアリマシタ

○山本委員 午前中カラ引續イテ政府委員ノ御答辯ヲ承ッテ居ッタノデアリマスガ、御答辯ヲ承ッテ居リマスル中ニ種種ナル點ニ疑問ガ起リマシタノデ、順ヲ逐フテ御尋ラシタイト思フノデアリマス、午前中長田君ノ御質問ニ對シマシテ政府委員ノ御答辯ニ依リマス、政府ニ於テモ綿絲、綿製品ノ輸出貿易ト云フコトニハ、最も重キヲ置イテ考慮致シテ居ルト云フ御答辯デアッタノデアリマス、此點ハ本員モ至極同感デアルノデアリマスガ、更に進ンデ御尋致シタイノハ、綿絲業ニ致シマシテモ、綿絲ヲ原料トスル綿製品ノ業ニ致シマシテモ、等シク國家ノ産業トシテハ政府ハ一視同仁デ以テ之ヲ見ナケレバナラヌト云フコトハ、本員ニ於テモ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ輸出貿易ト云フ此一點ニ付テハ、自カラ其處ニ別種ノ觀察ヲ下サナケレバナラヌモノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、第一最近ノ正確ナル統計ハ持合セマセヌガ、現在ノ輸出ノ狀態ヲ見マスルト云フト、綿絲ノ

輸出ト綿絲加工品ノ輸出ト其額ヲ較ベマスレバ數倍ニ及ンデ居ルノデアリマス、少クトモ三四倍ニハ及ンデ居ルト思フノデアリマス、綿製品ノ方ガ多イ、此數字ノ上カラ申シマシテモ更ニ此商品ノ素質、綿絲ニ致シマスレバ、申上ゲルマデモナク比較的勞働ヲ少ナク要スル製品デアリマス、更に進ンデ是ガ加工品ニナリマス、ヨリ多クノ勞力――勞働ヲ必要トスル商品デアリマス、我國ノ現狀カラ申シマスレバ、少クトモ此人口問題、之ヲ調節スル上カラ考ヘマシテモ成ベク勞働ヲ多ク要スル生産品、是ノ輸出ヲ獎勵スルト云フコトガ、輸出貿易ノ上カラ考ヘマシテ、最も重キヲ置カナケレバナラヌ、是等ノ點カラ考ヘマスト云フト、第一ニ輸出ノ數字ノ上カラ申シマシテ、綿製品ノ方ガ多イ、ソレカラ其生産ニ付テ勞働ヲ多ク要スルト云フコト、即チ生産品ヲ通ジテ我國ノ勞働ヲ外國ニ輸出スルト云フ、此著眼點カラ考ヘマシテモ、輸出貿易ト云フ點カラ考慮致シマスレバ、綿絲ヨリカモ綿絲加工品ニ重キヲ置カナケレバナラヌ、本員ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、産業ノ保護獎勵ト云フ上カラ申シマスレバ、綿絲モ綿製品モ其處ニ差別ノアル譯デハアリマセヌ、勿論是ハ一視同仁ニ政府ハ見ナケレバナラナイモノデアリマセウガ、併ナガラ輸出貿易ト云フ點ニ著眼致シマスレバ、勿論綿製品ニ重キヲ置イテ、國家ノ

政策ヲ立テナケレバナラヌト、本員ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府ハ此根本ノ點ニ付テハ、ドウ云フ御見解デアリマセウカ、先ヅ其點ヲ御伺ヒ致シタイ

來ナイ、豫想スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ御答辯ヲ承ッタノデアリマス、所ガ本員ノ調べマシタ所ニ依リマスルト、昨年ノ七八月ノ間ニ於キマシテハ、我國ノ太物ガ非常ニ騰貴ヲ致シマシタ、其爲ニ我國ハ支那カラ輸入ヲ得マシタ、其相場ヲ御參考マデニ申上ゲマスルト、大日本、合同紡ノ十六手ノ當時ノ相場ハ、一捆ガ二百六十圓デアリマス、上海仙桃ノ十六手ハ日本ニ輸入致シマシテ二百四十八圓、此二百四十八圓ト云フ中ニハ、關稅ノ十七圓四十錢、其外ニ運賃、保險料等ガ一圓餘掛ッテ居ルノデアリマスルカラ、合計十八圓餘ト云フモノガ支那ノ市價ノ上ニ附加ヘラレテ居ル譯デアリマスガ、ソレヲ加ヘマシテ尙且二百六十圓ト二百四十八圓、即チ十二圓ト云フ値開キガアッタ爲ニ、我國ハ支那ノ絲ヲ輸入シタ、斯様ナ實例ガアルノデアリマス、是ハ年中斯様ナ相場ニ開キガアルト云フコトハ本員モ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ時々斯様ナ事ガアリト致シマスレバ、矢張關稅ヲ撤廢シテ置ク方ガ、我國ノ綿製品業者ニ取ッテハ、原料ヲ得ル上ニ滑カニスルコトニナル、我國ノ綿絲ガ騰貴シタ場合ニハ、支那ノ綿絲ヲ輸入スル、勿論支那ノ綿絲ノ高イ時分ニハ、我國ノ綿絲ヲ使用スルデアラウ、消費スルデアラウ言リマセウガ、併ナガラ只今商工省ノ言ハレタ如ク、必ズシモ此關稅ヲ撤廢シタカラト云ッテ、支那ノ綿絲ガ廉ク入ッテ

○野村政府委員 加工品ノ方ガ餘程多イ、隨テ加工品ニ對スル方面ニ、ヨリ多ク力ヲ用キテ獎勵スベキモノデアアル、斯ウ云フ御意見デアリマシタ、御意見ノ通りデアリマス、山本君ノ御述ニナタ御意見ノ方ガ、最も輸出獎勵ノ爲メ、又斯業發達ノ爲ニ宜シイト思ヒマス、併シソレナラバ手段トシテ今日マデ具體的ニドウ云フ方法ヲ講ジテ、ソレニ對シテ省令ナリ訓令デモ發シテヤッタカト云フ、斯ウ云フ御質問デアリマスルト云フト、其點ハ普通ノ綿絲ヨリハ、加工品ニ對シテ尙ホ一層注意セヨトカ、或ハソレヲ獎勵セヨトカ云フヤウナ具體的ノ手段ヲ執ッタコトハ、今迄餘リ無イヤウニ考ヘテ居リマス、併シ御精神ニ對シテハ同一デアリマス

○山本委員 ソレカラ次ニ御尋致シタイノハ、先刻政府委員ノ御答ニ依リマス、ト云フト、此關稅ヲ撤廢シテモ、支那カラ廉イ絲ガ入ルト云フコトハ、容易ニ想像スルコトガ出來ナイノデアアル、現ニ日本ノ絲ガ支那ニ輸出ヲ致シテ居ルト云フ、此現狀カラ考ヘテ見テモ、此關稅ヲ廢シタカラ強チニ支那カラ絲ガ入ッテ來ル、而モ廉イ絲ガ入ッテ來ルト云フコトハ、直チニ想像スルコトガ出

タカト云ッテ、支那ノ綿絲ガ廉ク入ッテ

來ルト云フコトハ、豫想出來ナイト云フ事實ハ、此一ツノ事實ニ依テモ明瞭ニ分ルコトト私ハ考ヘルノデアリマス、申上グルマデモナイコトデアリマスガ、我國ノ綿製品當業者ニ於キマシテハ、支那方面、南洋方面ノ同業者ト、海外市場ニ於テ競争シナケレバナラヌガ、成ベク廉イ原料ヲ使用シナケレバ、外國トノ競争ニ堪ヘスト云フコトハ、是ハ申上グルマデモナイ話デアリマス、成ベク廉イ原料ヲ使用サス、綿製品業者ノ保護ニ重キヲ置クコトニナリマスレバ、成ベク廉イ絲ヲ使用サス、是ハ年中ノ相場デナイト致シマシテモ、此關稅サヘナケレバ時トシテ支那カラ廉イ絲ヲ輸入スル途ガアル、此途ヲ與ヘテ置クト云フコトガ、綿製品ノ輸出貿易ヲ獎勵スル上ニ於テ、非常ニ力アルモノト考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ先ヅ此事實ノ上ニ於キマシテ、私共ト政府委員ト見方ガ異ッテ居ルノデアリマ

スガ、此點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレト同時ニ若シ政府委員ノ言ハレル如クニ、此關稅ヲ撤廢シテモ必ズシモ支那ノ方面カラ絲ハ入ラナイ、斯ウ云フコトガ確實ニ言ヘルナラバ、此關稅ヲ廢止シテモ内地ノ紡績業者ハ脅カサレナイデハナイカ、斯ウ云フ結論ニナラナケレバナラヌ、政府委員ノ言ハレタコトハ、根本ノ事實ニ於テ、私共ノ調査シタ所ト違ッテ居ルノミナラズ、立論ノ上ニ於テモ徹底シナイモノガアルノデハ

ナイカ、關稅ヲ撤廢シテモ支那カラ安イ絲ハ入ラナイ、隨テ内地ノ綿絲業者ガ脅カサレナイト云フコトデアルナラバ、寧ロ此關稅ヲ撤廢シテ國民生活ノ上ニ脅威ヲ與ヘナイト云フ政策ヲ執ルノガ至當デハナイカ、政府委員ノ御議論自身ニ依テ、寧ロ關稅ヲ撤廢セラルベキ理由ガ發見セラレルト思フノデアリマスガ、是ハ理窟ヲ言フヤウデアリマスケレドモ、此點ニ就テモ併セテ政府當局ノ御意見ヲ承リタイ

○宮内商工省工務局長 私ハ非常ニ口不調法デアリマスノデ、度々ドウモ誤解ヲ來シテ申譯アリマセヌガ、私ガ申上ゲマシタノハ、今日ノ事情ニ於テ支那カラ致シマシテ容易ニ支那ノ絲ガ這入ルト云フコトハ認メルコトハ困難デア

ル、而シテ又支那ノ絲ニ頼リマシテ我國ノ綿布業者ガ安ジテ居ルト云フヤウナ、常時ニ於ケル供給ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトハ困難デア

アル、斯様ナ或ハ非常ナ際ニ當リマシテ——或ハ我國ニ於ケル非常ノ際ニ當リマシテ、或ハ支那ニ於ケル常時ニ反シタヤウナ時代ガ現出致シマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、山本君ノ御話ノヤウナ事態ヲ現出スルト云フコトハアルト考ヘテ居リマス、之ヲ否認スルト云フ考ハ毛頭アリマセヌ、アリマセヌガ、唯當時ノ場合ニ於テモ平常ノ供給ト致シマシテ、綿布業者ガ綿布ノ供給ヲ受ケルト云フコトニ就テハ、此當時、平常ノ、且之ニ頼ッテ行ケルト云フ基礎ガナケレバ安定ガ出來ナイノ

モノガ安イト云フ狀態ニナッテ居ル、先程申上ゲマシタ大正十四年ノ一月ニ於キマシテハ、是ハ我國ニ於キマシテ大正十三年末期ニ於ケル現物ノ拂底カラ致シマシテ、我國ノ市價ガ異常ナ昂騰ヲ致シテ居リマシタ時代デアリマス、此時代ヲ以テマシテ支那ノ絲ト比較ヲ致シマシテ、是ハ當時當リ前ノモノデアルト云フコトニ、此事實ヲ取ッテ推論スルト云フコトハ困難デア

アル、斯ウ考ヘテ居リマスガ、支那カラ來ヌスト云フコトデアアルナラバ、之ヲ撤廢シテモ宜シイデハナイカ、何等カノ影響ガアルカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスルガ、其點ハ先程來モ申上ゲマシタノデゴザイマスルガ、若シ之ヲ撤廢スルト云フコトニナリマスレバ、當時デナイト致シマシテモ、矢張り脅威ヲ感ズル、而シテ其脅威ト云フモノガ洵ニ重大ナル脅威ヲ感ズル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス、若シサウ云フ脅威ヲ紡績業者ガ感ズルト云フヤウナコトデアリマスルナラバ、紡績業者ノ將來、先程來問題ニナッテ居リマスル、或ハ増進ノ計畫ヲヤルト云フコトニ、支障ヲ來スト云フヤウナコトニナリマスノデ、綿業ハ先程御話ノヤウニ非常ニ重大ナルモノデアルト云フ見地カラ考ヘマシテ、若シ是ガ綿絲ト云フモノデ脅威ヲ感ズルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、而シテ御懸念ニナッテ居リマスル我國ノ輸出貿易ノ點カラ見マシテモ、輸出ヲシテ居ル

ノ點カラ見マシテモ、輸出ヲシテ居ル

本君ノ御說ノ通りニ事實ニ於テ支那ノ

年ノ先程御舉ゲニナリマシタ七月、六月、八月、此三ヶ月ニ於キマシテハ、山

本君ノ御說ノ通りニ事實ニ於テ支那ノ

殆ど過半、大キナ分量ト云フモノハ是ハ綿絲業者ガ矢張り機ヲ以テ織リテ居ルト云フコトハ、是ハ御承知ノ通りデアリマス、サウシマスルト云フト、糸絲ノ方ニ付キマシテ脅威ヲ感ズルト云フコトニナリマス、綿布ニシテ出スト云フコトニ却テナッテ參リマス、サウ云フコトニナレバ綿絲ト云フモノ、供給量ガ少クナッテ來ルノデアリマス、綿絲ノ供給量ガ少クナッテ來ルト云フコトハ、即チ綿絲ノ市價ノ昂騰ヲ來スト云フコトニナリマス、外國貿易ニ於テノ輸出品ノ七割——サウ思ヒマスルガ、或ハ數字ニ誤リガアレバ訂正致シマスガ、殆ドソレ位ノモノヲ紡績業者ガ自分デ織リマシテ出シテ居ルト云フコトデアリマスガ、若シ綿絲ガ少クナッテ來ルト云フコトニナリマスト云フト、他ノ機臺ヲ持チマセヌ所ノ機屋ノ方ガ、非常ニ困難ヲ感ズル、斯ウ云フコトニナリマス、脅威ト云フコトニ付キマシテ御見解ノ相違カト思ヒマスルガ、私共左様ニ考ヘテ居ル次第デアルノデアリマス

○山本委員 綿業ノ保護獎勵ノ上カラ、根本策トシテ綿業者ノ——綿業界ニ確實性ヲ保持スルト云フコトノ必要ガアルト云フコトヲ、先刻來政府委員カラ再再承ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ本員ニ於テモ至極同感デアリマス、綿製品ニ確實性ヲ帶ビサス爲ニハ、自然根本ニ遡ッテ、綿絲業者ニ確實性ヲ持タサナ

ケレバナラヌト云フコトノ御見解ハ、是ハ至極同感デアリマス、ソコデ政府ノ方ニ於キマシテハ、此關稅ヲ廢止スルト云フト、綿絲業者ニシテ經營困難ニ陥ル者ガ多數ニ出來ルカモ知レヌ、出來ルモノト思ハレル虞ガアルト云フ御説ヲ屢承リマシテ、且本日會社ノ成績表ヲ御示シニナッテデアリマス、此成績表ヲ只今一覽致シマシタゲデ、正確ナル統計ヲ私此ノ中カラ抽出スルコトハ致シテ居リマセヌガ、先ヅ之ヲ概算致シタ所ヲ申上ゲマスルト云フト、紡績鍾數ニ於キマシテ、當業者ノ總數ハ大體五百五十萬鍾、而シテ此鍾數ノ中デ、所謂經營困難ニ陥ッテ居リマスル會社ノ鍾數、每期ノ配當ガ無配當デアル、或ハ缺損ヲ致シテ居ル、少クトモソレニ近イ狀態デアルト云フ會社ノ鍾數ヲ計算致シマスルト云フト、大體ガ四十萬鍾バカリアルヤウデアリマス、一バアセント「デ申シマスルト云フト、百分ノ七半程ニ及ンデ居リマス、百分ノ七半ト申シマス、可ナリ大キイ數字デアルヤウデアリマスガ、此會社ノ設立致シマシタ年代ヲ調査致シマスルト云フト、必ズシモ其會社バカリデハアリマセヌガ、大體ハ戰時ニ出來タ會社デアアル、戰時ノ前後ニ出來タ會社デアリマス、此戰時會社ト云フモノハ、他ノ營業ニ於キマシテハ、多クハ經營困難ニ陥リマシテ、今日ハ倒産致シテ居ルノデアリマス、然ルニ此紡績會社ニ於キマシテハ、所謂保護政策デ以テ、此關稅案アルガ爲ニ、他ノ會社デアラナラバ、——他ノ營業デアラナラバ、早ク倒ルベキモノガ、今日モ尙ホ倒レズシテ維持シテ居ルト云フコトノ狀況ヲ、併セテ考ヘテ見マスルト云フト、此七半ト云フ數字ハ、必ズシモ驚クニ足ラナイ、他ノ營業デアレバ早ク落伍スベキモノガ、落伍セズニ居ルノデアリマスカラ、百分ノ七半ト云フ數字ヲ示シテ居ルノデアリマスケレドモ、何レノ營業ニ致シマシテモ、多少ノ落武者ガアルト云フコトハ、是ハ當然ナ話、ソコデ此落武者ヲ救フガ爲ニ、全體ノ成績ニ影響サスト云フコトハ、是ハ政府ノ對策トシテハ如何ナモノデアリマセウカ、殊ニ所謂悲境ニ陥ッテ居リマス會社ノ成績ヲ見マスルト云フト、本表ノ上ニ於キマシテハ、十三年ノ上半期カラ十五年ノ上半期迄ノ統計デアリマスケレドモ、無配當、或ハ缺損ノ會社ト云フモノハ、每期ノ配當ニ於テ同ジ成績ヲ續ケテ居ル、此間ニ多少好成绩ヲ示シマシタ年度ガアルカト申シマスルト云フト、ソレガ現レテ居ラヌ、缺損無配當ノ會社ハ依然トシテ每期ノ配當ニ於テ同ジ成績ヲ示シテ居ルノデアリマスカラ、斯様ナ狀態ニ陥ッテ居ル會社ハ、此關稅ヲ維持シタカラト云ッテ、是ガ救済出來ルモノトハ斷定スルコトガ出來ナイと思フノデアリマス、是ハ長田サンノ言ハレタ通りニ、他ノ會社ト合同スルカ、然ラズン

バ自然消滅デ以テ到底長クハ維持スルコトガ出來ナイ運命ヲ以テ居ル會社デアリマス、斯様ナ會社ヲ眼中ニ置イテ此關稅ヲ維持スルト云フコトハ、政府ノ御見解トシテ如何ナモノデアリマセウカ、殊ニ經營困難ニアル會社ヲ除イテ——百分ノ七半ノ會社ヲ除イテ、他ノ健全ナル會社ノ成績ヲ見マスルト云フト、誠ニ好成绩ヲ示シテ居ル、是ハ他ト比較ニナルモノデアリマセヌ、殊ニ今日ハ所謂恐慌時代、財界不況ノ時代デアリマス、何レモ甚ダ成績ガ舉ラヌノデアリマスガ、此紡績業ニ於テハ平均ノ上カラ申シマス、非常ニ有利ナ配當ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此表ノ上カラ見マシテ、會社ノ成績ヲ見マスルト云フト、落武者ハ到底救済スルコトガ出來ナイノデアリマス、此關稅ヲ維持シテモ尙且之ヲ救済スル途ハナイ、而シテ半面ニ於キマシテ、堅實ナル基礎ヲ有スル所ノ會社ハ、此關稅ナクシテモ尙且相當ノ配當ガ出來ルト云フコトノ成績ガ、此表ノ上カラ讀マレルヤウニ思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ政府ハ如何ニ考ヘテ居ラルノデアリマセウカ、一應御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○宮内商工省工務局長 表ヲ以テマシテ御手許ニ差上ゲテ御高覽ヲ願フタノデアリマスガ、其表ノ上カラ見マシテ、多クハ今因ッテ居ル會社ハ戰時中ニ——

好況時代ニ乗ジマシテ、經營シタモノ
デアル、斯ウ云フノガ只今ニナリマシ
テ、落武者ニナッテ居ル、其落武者ノ救
濟スル必要ハナイデハナイカト云フ大
體ノ御趣旨ノヤウニ拜聴致シマシタ、
落武者ヲ救濟スルト云フ意味ハ、サウ
云フ意味ヲ以テノ趣旨デハアリマセ
ヌ、落武者即チ不良ノ者ヲ救濟シテ行
クト云フ意味ヲ以テ、茲ニ關係ヲ据置
クベキモノデアルト云フ意味ヲ以テ申
上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、
只今御舉ゲニナリマシタ戰時中ニ出來
タモノバカリガ困ッテ居ルト云フノデ
ハアリマセヌ、矢張り其後ニ於テ出來
タモノデモ困ッテ居ルモノガアルヤウ
デアリマス、或ハ又將來ニ於テ増進ス
ルト云フコトニ付テハ、是ハ矢張り大
キナ會社ト雖モ困難ヲ感ズルト云フノ
デアリマス、我紡績業全體ノ上カラ――
紡績業全體ト云フコトハ、國家ノ綿業
全體ノ上カラ達觀致シマシテ、必要デ
アルノデアルト信ズル次第デアリマシ
テ、單ニ落武者ヲ救濟スルトカト云フ、
サウ云フ意思ハ毛頭持ッテ居リマセヌ、
是ハ既ニ御承知アラセラル、通りデア
リマスカラ、申上ゲルマデモアリマセ
ヌケレドモガ、比較的ニ我國ノ紡績業
ト致シマシテ、歴史モ古ク、或ハ蓄積モ
澤山持ッテ居ル、サウシテ銷却シテシ
マッタト云フヤウナモノニ於テハ、資本
金ノ率ニ於テモ相當上テ居ルモノデ
アルノデアリマス、併ナガラ一面ニ於

テハ、又缺損ノ上ニモ少クナイト云フ
ヤウナ次第デアリマス、而シテ先程來
度々申上ゲマシタヤウニ、脅威ヲ感ズ
ル、或ハ外國ニ付テノ信用ト云フヤウ
ナコトニナッテ參リマス、低イ關稅ノ
五分位ノモノニ付テハ、餘程能イ時機
ヲ見テ、我國ノ綿業ノ全體ノ上カラ見
マシテモ、餘程重要ナモノデアリマス
ノデ、其點ヲ見マシテ、暫ク經營ノ推
移、經營ノ馴致ヲ見ルト云フコトガ重
要ナコトデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リ
マス、單ニ落武者ヲ救濟スルト云フヤ
ウナ趣旨デハゴザイマセヌ
○山本委員 他ニ御質問モアルヤウデ
アリマスカラ押問答ハシナイヤウニシ
テ、謹デ御尋ヲ致シタイノデアリマス
ガ、昨午本員ガ當時ノ商工大臣片岡サ
シニ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、其
質問ニ對スル御答辯ノ中ニ――丁度當
時ハ支那ニ於テ關稅會議ノアッタ當時
デアリマス、ソコデ此支那ニ於ケル關
稅會議ノ上ニモ、此綿絲ノ關稅ト云フ
モノハ、重大ナル影響ノアル問題デア
ルカラ、ソレ等ノ點モ大ニ考慮シナケ
レバナラヌト云テノデ、如何ニモ此關
稅ヲ國際關係ノ上ニ有利ニ御使ヒニナ
ルヤウナ思ハセ振リノ御答辯ヲ承ッタ
ノデアリマスガ、當時關稅會議ノ最中
デアリマシタカラ、私共モ此關稅ガ何
等カ國際上巧ニ利用サレルカ、或ハ交
換問題デ以テ是ガ廢止ニナルカ、何カ
サウ云フコトニ利用サレルノデアアルマ

イカト云フコトヲ豫想シタイノデアリマ
ス、又豫想セシムルヤウナ答辯デアッ
タノデアリマス、所ガ一向ソレガ支那關
稅會議上ニ利用セラレタト云フコトヲ
吾ミハ見ナイノデアリマス、政府ハ左
様ナ思ハセ振リナコトヲ言ッテ、何等カ
關稅ヲ直ニ廢止スルト云フコトハ、國
際關係カラ言フテモ利益デアルト云フ
ヤウナ思ハセ振リナ御答辯ヲ屢承ルノ
デアリマスガ、是ハ外務省ト商工省ト
御打合せノ上デナケレバ或ハ御答辯ガ
困難カト考ヘルノデアリマスガ、昨年
ノ議會ニ於テ、現ニ商工大臣ガ左様ナ
事ヲ答辯セラレタ、所ガ其結果ハ何等
見ナカッタノデアリマスガ、外交上ノ機
密ニ關係ナキ範圍ニ於テ、商工省ニ何
等カ左様ナ御考ガアッテ此關稅ヲ國際關
係ノ上ニ於テ何等カ利用シヤウト云フ
ヤウナ御考デモアッテ、ソレガ何等カ具
體的ノ希望ヲ持ッテ居ラレテ、ソレヲ洩
シテ宜イト云フ事デアッタナラバ、此際
承リタイト考ヘマス
○黒田政府委員 綿絲ノ關稅ト支那ノ
關稅改正トノ關係ニ付テ、昨年ノ議會
ニ於テ何カ支那ノ關稅ハ關係ヲ思ハセ
振リノ事ヲ言ッテ居ルト云フ風ナ只今
御質問デアリマシタ、其當時商工大臣
ガ御話ニナッタコトハ、私ハ其席ニ居リ
マセヌノデ存ジマセヌガ、支那ノ關稅
トノ關係ニ付テ御話デアリマスレバ、
多分支那トノ間ニ關稅ノ關係ノ談判モ
今始マッテ居ルノデアアル、ソレ故ニソレ

等ノ關係ヲ顧慮シテ、日本ノ關稅ト云
フモノモ安定ヲシタ所ニ付テ考ヘマセ
ヌト、今日ノ狀況ニ於テ遽ニ其點ノミ
カラ見マシテモ――勿論他ノ關係カラ
モ來テ居ルノデアリマスガ、其點カラ
見マシテモ、サウ云フ懸案ガアル、ソレ
ガ相當解決ヲスルコトニ進ンデ居ッ
タノデアリマスカラ、ソレノ決定シタ上
ニ於テ考ヘル事ガ適當デハナイカト云
フ意味デ御話ニナッタ事ト私ハ考ヘル
ノデアリマス、然ルニ支那ノ關係ニ付
キマシテハ、御承知ノ通り今日マデ諸
種ノ事情ノ爲ニ未ダ決マッテ居ラヌノ
デアリマス、是ハ申上ゲル迄モナク、又
午前外務省ノ政府委員カラ申上ゲマシ
タ通り、今日マデ未ダ決マラヌノデア
リマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒタイ
○山本委員 午前中カラ引續イテ政
府委員ノ御答辯ヲ承ッテ居リマス、政
府委員ノ御考ハ、主トシテ綿糸業者ノ
保護、――此關稅ノ設ケラレタ目的ハ、
勿論ソコニ出發シテ居ルノデアリマス
ガ、多クノ御議論ハ綿糸業者ノ保護ト
云フ方面ニ、殆ドソレノミニ著眼シテ
御立論ニナッテ居ルヤウニ考ヘマス、勿
論此關稅ノ設ケラレタ根本ノ原因ハソ
コニ在ルト云フコトハ、本員モ同ジ見
解デアリマスガ、併ナガラ此關稅アル
ガ爲ニ、國民生活ノ上ニ影響シ、他ノ產
業ノ發達、輸出貿易等ニ重大ナル關係
ガアルト云フ點カラ吾ミハ考ヘテ立論
ヲ致シテ居ルノデアリマス、勿論此關

税ノ目的ハ、綿絲業者ノ保護ヲ目的トシテ制定セラレタモノデアリマスガ、今日綿絲業ノ成績ヲ見マスと云フト、資本ノ増加致シマシタ點カラ考ヘマシテ、又紡績數ノ増加致シマシタ成績カラ考ヘマシテ、種々ナル點ニ著眼致シマシテ、此關稅ノ保護ノ目的ハ十分達シテ居ルト吾々ハ考ヘルノデアリマスソレ故ニ政府委員ノ御見解ノ如クニ、今日モ尙ホ此關稅ヲ綿絲業保護ト云フ方面ニ重キヲ置イテ考フベキモノデハナクシテ、寧ロ此關稅ガ國民生活ノ上ニ、我國ノ産業政策ノ上ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フ、國家ノ産業政策ノ大局カラ觀察シテ考慮スベキモノデアルト吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、ドウモ根本ノ考ニ餘程距離ガアルヤウニ考ヘマスノデ、是レ以上質問應答ヲ重ネマシテモ、恐ラク押問答ニ終ルト思ヒマス、尙ホ同僚諸君ノ中カラ多數ノ通告ガアルヤウデアリマスカラ、私ハ先ヅ只今ノ程度ニ於キマシテハ是ダケノ意見ヲ申上ゲマシテ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○武藤委員長 次ハ飯塚君

○飯塚委員 私ハ午前ニ參リマセヌデ、綿絲ニ付テドウ云フ質問應答ガアリマシタカ、ツイ知リマセヌデシタカラ、重複ニ涉ルヤウナ事ガアリマシタナラバ、失禮致シマス、私モ年來——近ク五十一議會、五十議會等ノ情勢ニ鑑ミマシテ、綿絲關稅ハ既ニ撤廢スベキ時期ナ

リト確ク信ジテ居リマシテ、其當時ヨリ同僚ト常ニ之ニ對シテ盡力シテ居ル者デアリマス、只今政府委員或ハ同僚諸君ノ應答ニ依リマスと、政府ハ未ダ今日ハ撤廢スベキ時期ニアラズト云フヤウナ御説ノヤウニ認メラレマスガ、併ナガラドウモ私考ヘテ見マスルト、關稅ニ依テ綿絲業ヲ保護シヤウト云フヤウナ立場ニ依テ、ソレヲ主張スルト云フヤウナコトデアリマスカラ、幾ラ言ツテモ城壁ニ立籠ッテ居ルヤウナ氣味ガアリマス、併シ野村參事官ノ如キハ、今日此處ニ御出席下サルノハ、綿絲業ヲ代表シテノ御出席デハナクシテ、日本ノ商工省ト云フモノヲ代表シテ、大政治家ノ見識ヲ以テ一ツ御考ヲ願ハナケレバナラス、工務局ノ意見ガ斯ウデアルト云フヤウナコトヲ支持スルヤウナ御考デナク、工務局ガ何ト言ハウガ、綿絲業者ガ何ト言ハウトモ、今日ノ現狀ニ鑑ミテ、日本ノ政策ハ斯クシナケレバナラスト云フ大政治家ノ地位ニ考ヘラレテ、暫ク虚心平氣ニ於テ御考ヲ願ハナケレバナナルマイト思フ、又工務局ガハ何カノ爲ニ支持スルト云フコトハ當然ノ事デアリマセウカラ、工務局ノ言フコトハ、是ハ何ト言ツテモ——或ハ反省スル考ガアルナラバ別デスケレドモ、ソレヲ主張スルニ至リマシテハ、是ハ勿論問題ニナリマセヌ、唯今日ハ何ト言ツテモ徹頭徹尾リ貫カウト云フヤウナ御決心デアルナラバ、何等ソ

レハ言フ必要ハナイケレドモ、私ハ左様ナ問題デハナイ、實ニ是ハ重大ナル問題デアラウト思フ爲ニ、效ガナイカモ知リマセヌケレドモ、國家ノ爲ニ私ハ一言ヲ費ス積リデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、一體極ク簡單ナ事デアリマスケレドモ、保護關稅ノ目的ハ、何カト言ヘバ國民——消費者ヲ犧牲ニシテ、サウシテ内地工業ト云フモノヲ發達サセルノガ保護關稅ノ目的デアル、而シテ是ハイツマデモ犧牲ニスベキモノデナイ、國民ノ犧牲ニ依テ稍基礎確實ナリト認メラレル時ニハ、一刻モ早ク之ヲ撤廢スルト云フコトガ關稅ノ原則デアル、唯其程度如何ニ依テ問題ハ岐レルコトデアリマスケレドモ、此原則ハ政府ト雖モ——工務局ト雖モ不賛成ノ事ハ無イダラウト考ヘル、而シテ若シ其時期ヲ誤ルナラバ、内ニ於テハ勿論國民生活ヲ脅威スルト云フコトガアリマス、ソレハ唯綿絲バカリデナク、ソレニ關聯シタ所ノ製造工業ト云フモノガ、延イテ國民生活ヲ脅威スルト云フコトハ勿論ノ事デアル、ソレガ尙ホ進シテ其綿絲ノ關係ノ者ガ輸出スルト云フヤウナ場合ニ當ツタラ如何デアリマスカ、内地ノ工業ヲ保護シテ自給自足サセルト云フコトガ、保護關稅ノ目的デアリマスケレドモ、ソレガ尙ホ發展シテ外國ニ輸出スルト云フ程度ニ至ルナラバ、實ニ是ハ目出度イ事ダラウト思フ、若シ内地ノ基礎確立

シテ、サウシテ是ガ外國ニ輸出ヲスルト云フ時ニハ、是ハモウ其實ソレ自身ガ、其工業ガ十分ニ發達シタヤ否ヤト云フコトヲ明ニスル時期ダラウト思フ、ケレドモ色々ナ事情ガアリマシテ、一概ニハ行キマセヌケレドモ、先ヅ一應以テ是ハ基礎鞏固ナルモノダト私ハ見ナケレバナラスト思フ、是ハ御注意ヲ願ヒタイ、而シテ段々御説ヲ聽キマスト、紡績業ハ今日未ダ安定シナイ、基礎鞏固デナイト云フ議論ヲ色々ナ方面カラ政府委員ハ辯明サレルト思フ、恰モ今日有力ナル議論トシテハ、マダ五十有餘ノ會社ガ利益ガナイ、損ヲシテ居ル、斯ウ云フコトガ主ナル原因デアリマス、ソレハ細カク言フナラバ、今後ハ機械ノ増設ヲシナケレバナラストカ、或ハ深夜業ヲ廢スル、今度ハ幾ラカ生産ガ減ルカモ知レナイカラ、兎モ角モ其會社ノ利益ヲ保護スル、利益ガ十分デナイト云フコトガ頭ニ這入ッテ居リマスカラ、所謂同業者ガ工務局或ハ大藏省ニ行ッテ陳情スル時ハサウ言フダラウト思フ、中ニ私共ノ方ハ容易デナイ、ソレハ鐘紡ガアレダケヤルノハ、十分ニ資本ヲ出シテアルカラヤレマスガ、當リ前ノ會社デハ無配當デアル、或ハ配當ガ困難デアルト云フヤウナコトヲ陳情シテ、アナタ方ガ餘リ有力ナ折衝ヲスル爲ニ同情ノ念ガスツクリ這入ッテ居ル、ソレデスカラ、其言フコトハ私共ガ同業者カラ聞クコトト、何時デモ

同ジコトデアアル、既ニ深夜業ヲ廢止スルコトニナリマシテ、増資ヲシナケレバナラヌ、併ナガラ萬一増資デモシナケレバナラヌカモ知レナイガ、之ヲ廢止スル時ニハドウカト思フテ今躊躇シテ居リマス、ソレガ爲ニ脅威スルト云フ、ソレガ爲ニ必要ナルモノハ斷ジテ出來マセヌガ、アナタ方ノ方デ保護關稅ヲ突ツ張ツテ吳レルナラヤルガト内情ヲ申スカラ、之ヲ以テ脅威スルトアナタ方ハ考ヘテ居ラレルノデアリマス、若シモサウ云フヤウナコトヲスルト、向フカラ綿絲ガ這入ツテ來テ、十七圓ト云フ關稅ヲ課ケテ置イテモ、現ニ昨年ノ如キ場合ニハ澤山支那カラ這入ツテ來ルト云フヤウナ說モ私共ハ聽イテ居リマス、ト云フヤウナコトデ、兎ニモ角ニモ紡績業ハ利益ガナイ、容易デナイト云フコトヲ頻ニ言ハレルノデ、基礎鞏固デナイト爲スツテ、其片々タル各方面ノ陳情ヲ以テ尙ホ撤廢尙早ナリト辯明サレルヤウニ思フ、併シ私改メテ此處デ御聽キ申シテ置キタイ、是ハ綿絲業バカリデナク、一體政府ガ保護關稅ト云フモノヲ設ケテ、其保護關稅ハ内地ノ需要者ヲ保護スル所デハナク、犠牲ニシテ、サウシテ其會社ハ十分ニ發達スル、基礎鞏固ニナツタ、サウシテ其關稅ト云フモノハ撤廢スルト云フコトハ、是ハモウ大藏大臣ノ辯明、或ハ學者ノ辯明デ明カデアリマス、併シ此基礎鞏固デアル紡績會社バカリデナク、一般ニ其

保護關稅ニ依テ其工業ハ十分ニ發達シタ、基礎鞏固ニナツタト云フコトハ、一體ドウ云フコトヲ言フノダト云フコトヲ、私ハ政府委員ニ於テ、殊ニ商工省ノ如キ所ニ於キマシテハ、判然シテ居ラシカト私ハ考ヘル、商工省ノ工務局ニ於キマシテハ、色々御陳情ヲ聽キマスカラ、同情ニ依テ少シ曲ツテ居リマス、右カ左カヘ曲ツテ居ル、野村君ノ如キ大政治家ノ地位ニ居ツテ、是ハ十分ナリト認メル所デアアルガ、利益ガナケレバ十分デナイト云フナラバ、今日當業者ガ十分ニ利益ガアルト言フ者ハナシ、トシテ成金デモマダ金ガ欲シイ欲シイト云フ、ケレドモ其人ノ利益ヲ決シテ私共ハ奪フノデハナイ、是ハ私ハ決シテ其人ノ利益ヲ羨ムノデモナイ、其利益ヲ吐出セト云フノデハナイ、幾ラ取ツテモ宜イ、併ナガラ其工業ハ基礎確實ナリト認メルモノハ、決シテ利益ガ少イ、配當ガ少イト云フ意味デヤナイ、隨テ私共ガ基礎鞏固ダト云フノハ、多クノ當業者ハ何處ノ會社ハ配當何割ヲシテ居ルカラ基礎鞏固デアルト言フガ、私ハ決シテソナナ所ニ重キヲ置カナイ、儲ケル儲ケナイト云フコト、其工業ガ基礎鞏固デアアルカドウカト云フコトハ別問題ダト思ヒマス、實際ニ於テ斯ウ云フ事業ヲ經營スル時ニ、如何ナル基礎鞏固ノ會社デモ、其所ノ「マネーデチャー」ガ何カ惡イ所ノ相場ヲスルトカ何カスル、或ハ買方ヲ間違ヒ賣方ノ

間違ヒデ、ソレデ損ヲスル、其間違ヲシタカラト云フテ、其工業ソレ自身ガ基礎鞏固デアリヤ否ヤト云フコトハナイ、今日何所ノ會社ガ損ヲシテ居ル、何所ノ會社ガ損ヲシテ居ルト云フ表ヲ示サレル、其眞意ヲ疑フ、日本ノ紡績業ハ大體ヲ通シテドウデアアルカト、斯ウ云フ判斷ヲ致サナケレバ、此問題ノ解決ガ出來ナイト思ヒマス、是ハ一ツ大臣トシテノ野村參與官ノ御考ヲ願ヒタイ、而シテ今度基礎鞏固ナリト云フノハ、私ノ考デハ決シテ利益ガ有ルカ無イカト云フノデナクシテ、其會社ト云フモノガ——日本ノ紡績業ト云フモノガ、他ノ國ノ紡績業ト比較シテ、而モ其他ノ國ト言ツテモ、世界全部ヲ比較スルノデハナイ、所謂日本ノ假想敵ノ國ノ工業、今日ハ假想敵ノ競爭國ト言ヘバ私ハ支那印度ダラウト思フ、支那印度ノ此紡績業ニ於テ、其工場ノ全體ヲ評シテ、能率ガ日本ト比較シテ彼ニ劣ル所アリトスルナラバ、私ハ此本業ト云フモノヲ大ニ保護シナケレバナラヌト思フ、然ルニ之ガ專門家ノ技師ノ調ベニ依テ明カデアラウト思ヒマスルケレドモ、支那ノ紡績業ト云フモノハ、日本ノ紡績業ト比較シテ日本ガ何所ノ點ガ劣ルカ、偶支那カラ日本ニ這入ツテ來レバ、支那ノ物ガ安イト云フヤウナ物トハ違フ、銀ノ相場デ這入ツテ來ルコトモアリ、或ハコツチカラ出ルコトモアル、出這入ルバカリデハナイ、品物ノ性質ガ違ウナ

ラバ、出タトカ這入ツタバカリデ工業ノ優劣ヲ計ルコトハ出來ナイ、唯サウ云フコトデナク、工業ノ進歩ハドチラガ進歩シテ居ルカト云フコトハ、其工場ノ設備、機械ノ設備、其「マネーデチャー」ノ能率、勞働者ノ能率、之ヲ綜合シテ、ドチラガ進歩シテ居ルカ進歩シテ居ラナイカ、斯ウ見ルヨリ外ナイト思フ、若シ支那ノ紡績業ノ能率ガ——全體ノ能率ト云フモノガ日本ヨリ進ンデ居ル、或ハ劣ツテ居ルト云フコトデアアルナラバ、私ハマダ——之ヲ保護シナケレバナラヌト思フ、印度トモ比較シテ考ヘナケレバナラヌ、或ハ歐羅巴ノ——歐米ノ品物、而カモ這入ツテ來ル同ジ物ニ對シテ、日本ガ向フヨリモ劣ツテ居ルガ爲ニ、向フヨリ安クシテ、尙ホ日本ニ這入ツテ來ルト云フコトデアレバ、保護シナケレバナラヌケレドモ、既ニ歐米カラノ綿絲ガ日本ニ這入ツテ來ル、普通ノ從來在ルヤウナ品物ニ付テハ這入ツテ來ナイ、普通ノ物ニ付テハ這入ツテ來ナイトコトハ、表ノ上デ明カデアリマス、日本ノ現在ノ需要者ハ、決シテ歐米ノ品物ヲ買入レヤウトシナイ、唯支那ノ物ガ這入ツテ來ルカラト云フコトヲ心配ヲシテ居ルダラウト思フ、支那ノ物デス、是ハ銀ガ安イカラ這入ツテ來イ、或ハ銀ガ高クナツタカラ這入ツテ來ルト云フコトノ問題ハアリマスケレドモ、技術家ガ見テ支那ノ紡績業ト日本ノ紡績業トヲ見テ、ドチラガ所謂能率ガ

アルト云フコトヲ見テ判斷スルヨリ仕
方ガアルマイト思フ、是ハ商工省ノ技師
ノ御方ノ調ベニ依テモ明カデアラウト思
ヒマス、ケレドモ何等工場ノ設備、機械ノ
設備、其他「マネーデヤ」ヤ労働者ノ
能率等ニ付テ、少シモ日本ガ劣ル所ハ
ナイト私ハ思フ、是ハ所謂能率ノ點カ
ラ私ハ日本ノ紡績業ト云フモノハ、十
分ノ發達シテ居ルモノト見ルコトガ出
來ル、又假令能率ガ十分出來テ居ッテ、一
ツノ工場ト工場ダケデハ是ガ十分ナリ
トシテモ、其日本ノ紡績業ガ日本内地ノ
國民ノ需要ヲ滿タスニ足ラナイモノナ
ラバ、是ハ量ヲ増ス點ニ於テ尙ホ保護
シナケレバネライ、ケレドモ今日ノ紡
績業ト云フモノハ、曩ニ申ス通り内地ノ
需要ハ十分充タシ得テ、而シテ其綿絲ト
云フヤウナモノモ、其儘デモ外國へ出ス
ダケノ能率ガアル、此織物ニスル日本ノ
絲、ソレ自身デ使フ所ノ日本ノ綿布ヲ製造
シテ、其綿布ヲ尙ホ織物ニシテ外國マデ
五億六億ト云フヤウナ量ヲ出スダケニ
此紡績業ト云フモノハ進歩シテ居ル、
所謂能率ハ内ノ需要ヲ充シタ上、之ヲ
外國ニマデ出スダケノ餘裕ガアル、而
シテ技術上ノ能率ニ付テハ何等劣ル所
ナシト云フナラバ、私ハ基礎鞏固ナリ
ト認ムル外ハナイト思フ、而シテ前途
ノ事ヲ考ヘルト言ハレル、前途ノ事ニ
付テ言フナラバ、今後列國ノ會議ニ於
テドウ云フコトガ持上ルカモ知レナイ
トカ、或ハ深夜業ノ爲ニ其安定ガ付カ

ナイトカ云フコトマデモ前途ノ事トシ
テ考ヘテスルナラバ、何事デモ果テガ
ナイ、大地震ヤ大火災ガアルカモ知レ
ナイカラ、今ノ内ニ保護シテ貰ハナケ
レバナラヌト云フコトニナルナラバ、
何レノ工業ト雖モ保護シナケレバナラ
ナイ、今日十分發達シテ、國民ニ犠牲ヲ
拂ハシテ、何十年ト云フ永イ間國民ニ
多大ノ犠牲ヲ拂ハセテ來タモノ、其犠
牲ヲ拂フト云フノハ、其工場ト云フモ
ノガ十分發達シタ時ニ、ソレカラ餘計
恩惠ヲ受ケル爲ニ今日マデハ犠牲ヲ拂
ヒツ、アツタノデ、若シ今申ス通り十分
ニ發達シタ今日デモ、尙ホ更ニ雷ガ落
チルカモ知レナイ、地震ガ來ルカモ知
レナイト云フヤウナ理窟デ、犠牲ヲ拂
ハセルト云フヤウナコトガアルナラバ、
是ハ關稅國策ニ付テ良イ政治ヲ行フモ
ノデハナイト考ヘル、野村參與官ノ如
キ方ニハ能ク御判斷ヲ願ハナケレバナ
ラヌ、私ハ實際サウシナケレバナラヌ
ト思ヒマス、又今一ツニハ此紡績業ハ
既ニ發達シテ居ルモノハ、其當時適當
ナル時期ニ於テ之ヲ撤廢シナイナラバ、
由々シキ惡結果ヲ生ズルト云フコトヲ、
私共ハ本ヲ讀ンダ所デモ知ッテ居リマ
スルケレドモ、近頃ニ於テ尙ホソレヲ
痛切ニ感ジマス、今日之ヲ廢止シナイナ
ラバ、其結果ハドウカ、今山本君ガ言ヒ
マシタガ、今日ノ國際經濟上ノ關係ハ
ドウカト言ヒマス、ドウシテモ對外
國際貸借ノ改善ヲシナケレバナラヌト

云フコトハ、是ハ日本ノ今日ノ國是
ガラウト思ヒマス、此國是ト云フモノ
ニ向ッテハ、餘程大キナ注意ヲ拂ハナケ
レバナラヌト思ヒマス、綿製品ハ始メ
日本デ手廻シデヤッテ居ッタ時モアルガ、
ソレガ紡績業ガ段々發達シ、内地ノ織
物ヲ拵ヘルノミナラズ、其織物ヲ今度
ハ綿製品トシテ「メリヤス」ノ如キモノ
トシテ海外へ出スヤウニナッタ品ガ五
億、六億、昨年ノ如キハ非常ニ安クナッ
テモ五億、此數量カラ言ヒマスナラバ、
非常ニ發展ヲシテ居リマス、此綿製品
ノ輸出ニ依テ我國ノ經濟狀態ヲ改メ、
對外國國際貸借ノ改善ヲ圖ルト云フ爲ニ
ハ、私ハ非常ニ有望ナル商品ダト思フ、
之ニ付テ少シデモ害ガアルヤウナコト
ガアルナラバ、是ハ内ニ於テ改善シナ
ケレバナラヌト云フコトガ私ハ現政府
ノ方針デアラウラウト思フ、然ルニ今
申ス通り此大切ナ關稅ガアルニモ拘ラ
ズ、近年著シク此綿製品ガ五億六億ト
發展シテ來テ有望ナノハ、日本ノ品ガ
決シテ安イカラト云フ意味バカリデハ
ナイ、矢張國際上ノ地位ヲ高メ、日本ノ
國威ノ發揚ト云フコトニ依テ日本品ガ
段々多クナッタノデアリマス、關稅ヲ課
ケテモ尙ホ發展スルデハナイカ、故ニ
今少シ關稅ヲ課ケテモ心配ナイデハナ
イカト云フヤウナ頭ガアルト云フト、
折角發達シカケタ海外貿易ハ阻止サレ
ルカ知レヌト思フ、只今黒田主稅局長
ノ御説ハ、今言フ通り一俵ニ付テ十七

圓ト云フ關稅ヲ課ケテ居ッテモ、ソレ
ハ直ニ消費者ト云フモノニ轉嫁ヲシ
ナイ、ソレダケノ苦痛ハ嘗メサセナ
イト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ
成程關稅ト云フモノハ十七圓課ケ
テモ、何時デモ十七圓高イモノトハ
思ハナイ、却テ關稅ト云フモノハ轉嫁
スル場合モアリマスガ、常ニ關稅
ト云フモノハ國民ニハ轉嫁シテ居リ
マセヌ、併ナガラ關稅ト云フモノガア
タガ爲ニ、ドウ云フ場合ガ起ルカト云
フト此問題ノ如キハ常ニ關稅ト云フモ
ノハ十七圓高クハシテハ居リマセヌ、
日本内地ニ於テモ競争ガアリマスカ
ラ、常ニ關稅ノ陰ニ隱レテ居ルバカリ
デナクシテ、御互ニ競争スル時ハ、關稅
ヲ撤廢シテ安ク賣ル場合ガアル、併ナ
ガラ關稅ト云フモノガアルガ爲ニ、若
シ支那ナラバ支那ノ在來ノ物ト日本ノ
物トニ於テ相場ガ變ッタ時ニ、關稅ハ所
謂言換ヘテ見レバ日本ノ物ガ安イ時ニ、外
國ニ在ル所ノ、例ヘバ支那ナラバ支那ニ在
ル所ノ物ガ高イ時ニ、此關稅ト云フモノ
ガ何處マデ來ルカト云フト、少クトモ
其關稅ノ十七圓ト云フ障壁ノ下ニ日本
ノ物ハ隱レテ、ドン／＼昂ルニ相違ナ
イ、關稅ガアレバ、外國ノ市場ニ在ルモ
ノト内地ニ在ルモノトハ、其製品ト云
フモノハソレガ爲ニ平均ヲ保ツト云フ
コトハ事實デアアル、ソレ故ニ此綿絲ト
云フモノヲ使フ所ノ消費者ハ、或ル場
合ニハ詰リ絲ガ段々安クナッテ非常ニ

宜イト思ヒマス、常ニ絲ヲ使フ所ノ者ハ、絲ノ成ベク安イト云フコトヲ欲スルノデアリマスケレドモ、若シ支那ガ使フ所ノ絲ガ段々安クナツテ來ルト云フト、障壁ト云フモノガアリマスカラ、玆ニ生産ナラバ生産ヲ制限スルカ、賣止メスルトカ云フナラ、今度ハソレガ障壁ニナツテ、人爲的ニ絲ガ高クナルト云フコトガアリマス、故ニ内地ノ物ガ安ク外國ノ物ガ高イト云フト人爲的ニ上ル、聯合會ノ如キガ人爲的ニ相場ヲ吊上ゲルト云フコトガ出來得ルト云フコトニナル、サウシマスト、使フ所ノモノハソレガ爲ニ人爲的ノ昂騰デアリマスカラ、何人デモ是ヲ阻止スルコトガ出來ナクナツテ、所謂絲價ノ安定ヲ得ナクナル、若シ是ガナイナラバ、常ニ海外ノ市場ト日本ノ市場ガ何時モ一進一退デ平均シテ居ルカラ、其關稅ノ爲ニ上ツタリ下ツタリスルコトガナイノデ安定スル、此絲價ノ安定ハ日本ノ市場ト支那ノ市場ガ平均シテ居レバ、安定スルコトハ明カデアラウト思フ、故ニ今黒田局長ノ仰シヤル通り、是アルガ爲ニ消費者ニ全部課ケナイ、犠牲ヲ拂ハセルト云フコトハナイト云フ御話ハ、競争者ガアルカラ直ニ消費者ニ犠牲ヲ掛ケナイト云フコトヲ仰シヤルケレドモ、サウ云フコトハナイノデアリマス、サウ云フコトノ爲ニ關稅ヲ撤廢スルト云フ意味デハナクシテ、關稅ガアルト、常ニサウデハナイケレドモ、人爲的ニ

絲ヲ釣上ゲル、同時ニ絲價ガ安定シナイ、絲價ガ安定シナイナラバ、ソレヲ使フ所ノ工業家ト云フ者ハ非常ニ不安ヲ感ズル、絲ノ相場ガ、人爲的ニ上ゲラレル、或ハ下ゲラレルト云フヤウナコトヲサレルト、ソレヲ使フ居ル所ノ需要者、所謂綿製品製造家ト云フ者ハ、非常ニ不安ヲ感ズルコトハ明カデアアル、若シ製造家ガ不安ヲ感ズルナラバ、商品ソレ自身モ市場ニ於テ不安ヲ感ズル譯ニナリマスカラ、其商品ガ油然トシテ販路ヲ擴張スルコトガ出來ナイ結果ニナル、此ニ於テ私ハ今ノ比較ヲシテ、ドウシテモソレダケノ事情ヲ能ク紡績業者ノ立場カラモ見、綿製品ノ立場カラモ見テ行カナケレバナラヌ、私ハ何方ヲ壓迫シテ宜イモノデモナイと思フ、紡績業者ノ歎願或ハ陳情ニ耳ヲ藉シテ、マダ儲カラナイカラ、モウ少シ保護シナケレバナラヌ、機械モ設備シナケレバナラヌカラ、保護シナケレバナラヌトカ、或ハ利益ガ無イトカ有ルトカト云フコトヲ標準トシテ此問題ヲ見ルコトハ、全ク間違ッテ居ルト思フ、故ニ若シサウデナクシテ紡績業ト云フモノノ基礎ガ稍確實ナモノデアルナラバ、私ハ今言フ通り日本ノ紡績業全體カラ見テ、假想競争國ノ紡績業ト比較シテ、能率ニ於テ何等劣ル所ガナイ、而シテ日本ノ國內ニ於テ自給自足シテ餘リアル程度ニ至ルナラバ、之ヲ以テ鞏固ナリト認メルヨリ外ハナイ、一方ニ於テ

基礎ガ鞏固デアルナラバ、隨テ一方ニ於テ國是トシテ所謂綿製品ト云フモノハ輸出ヲ獎勵スルコトハ、今日非常ニ必要デハナイカ、若シ此方ニ少シデモ害ガアルナラバ、私ハ十二分ノ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌ問題ダと思フ、綿製品ト云フモノガ、若シ絲價ガ安定シナイデモ、綿製品ト云フモノ、發展ニ障害ガナイト云フコトハ、決シテ言ヘナイコトダラウト思フ、故ニ山本君ガ言ハレル通り、綿製品ノ輸出ト云フモノガ、今日マデ來タノハ非常ニ幸運デアリマス、而シテ又今後モ此綿製品ノ貿易ノ發展ニ依テ我國ノ國際貸借ヲ改善スルト云フコトハ、洵ニ有望ニシテ又出來得ルコトデアアル、此方ニ十分ノ考慮ヲ用フルナラバ、ドチラモ考慮シテ而シテ其判斷ヲシナケレバナラヌト思フ、片方ノ話バカリ聽イテハイカスト思フ、ソコデドウシテモ政府ノ御判斷ヲ願ハナケレバナラヌ、所謂偏頗的デナイ所ノ御判斷ヲ願ハナケレバナラヌト考ヘル、ソレ故ニ私共ハ双方ヲ考慮シテ、是ハ廢止スベキモノト考ヘテ居リマスケレドモ、政府ノ御意見ガ既ニ確定シテ廢止スベカラズト決ツタ以上ハ、仕方ガナイコトデアリマスケレドモ、御廢止ヲ願ヒタイト思フ、今一ツ綿製品ニ付テハ之ヲ廢サナケレバナラヌ一ツノ理由ガアルダラウト思フ、ヨク原則トシテ若シ此關稅ト云フモノヲ廢スベキ時ニ廢サナイナラバ、其工

業ト云フモノハ恰モ溫室の工業ニナツテ却テ害ヲ及ボスト云フヤウナコトヲ私共學校ニ居ル時ニ聞キマシタガ、今日ハ其程度デアリマス、日本ノ紡績業ト云フモノハ、一方ニ於テハ支那ノ紡績業ト比較シテハ非常ニ進歩シテ居ル、又印度ヨリハ進歩シテ居ル、併シ「マシチエスター」或ハ歐羅巴ノ物ト比較スルト、全體カラノ能率云々デハナク、紡績業ノ使命ト云フモノヲ少シモ果シテ居リマセヌ、ソレハ昨年モ私申シマシタケレドモ、一體紡績業ト云フモノハ何デアルカ、絲ヲ拵ヘルモノデアアル、其絲ハ綿製品ヲ拵ヘル絲ヲ造ルノデアアル、故ニ綿製品ノ製造工業ヲ向上發展サセルニ便宜ナヤウニ此紡績業ガ發展シナケレバナラヌト思フ、其點カラ見ルト、日本ノ紡績業者ハ非常ニ金ヲ儲ケルトカ、良イ機械ヲ拵ヘルトカ、立派ナ人ガアリマスカラ、或ル者ハ日本ノ中デ一番發展シタ工業ダト考ヘテ居ラレルカ知ラヌケレドモ、所謂織物其他ノ綿製品ヲ造ラントスル需要家ノ方カラ言フト、少シモ使命ヲ盡シテ居ラヌ、例ヘテ見ルナラバ日本ノ絲ハ多クノ絲ガ右捻デ、サウシテ二十番手、三十番手、四十番手、六十番手ト云フヤウナ一定ノ標準ヲ作ツテ、サウシテ其捻リ方ト云フモノガ、右捻ナラ右捻、サウシテ双絲ナラバ七百ナラ七百シカナイ一定ノ商品ヲ作ツテ居ル、如何ニモ商品ハ統一サレテ宜イ、統一サレテソレデ儲カタ居

ルカラ結構デアル、ケレドモ今マデハ日本ノ綿布業者デモ、仕方ガナイカラ其品ヲ使ッテ、外國ノ物ヨリ日本ノ物ガ安イカラソレヲ使ッテ居リマシタ、ケレドモ尙ホ之ヲ使ヘト言ッテ國民ニ犧牲ヲ拂ハシテ置クト、紡績業ハ溫室ノ工業トナッテ、日本ノ産業モ亦溫室ノ産業ニナラヌカト云フコトヲ虞レル、今日綿製品ト云フモノハ、從來日本ニアル物ヤ支那ニ出來ル所ノ綿絲ナドヲ使ッテ満足シテ居ラヌ時代デアル、内地ノ需要デスラサウデアル、近年子供ノ洋服地ナド、云フモノガ出來ル、アノ織物ハ決シテ今日ノ紡績業者ガ拵ヘタ絲デハナイ、アレハ特殊ノ絲ヲ外國カラ輸入スル、日本デ拵ヘテ吳レト言ッテモ誰モ拵ヘラレナイ、日本ノ紡績會社ニ持ッテ行ッテ、試験ノ爲ニヤッテ貰ヒタイト云フト、何十俵位ナラ拵ヘルケレドモ、サウ云フ絲ハ澤山ハ拵ヘラレナイ、拵ヘテ吳レナイカラ仕方ガナイカラ外國カラ買ッテ拵ヘテ居ル者モアル、今日海外ヘ出ス物モアルケレドモ、阿弗利加ヤ南洋ノ野蠻ナ、今マデ裸デ居タ所ヘ持ッテ行クモノハ粗布デアル、昨日モ帝國「ホテル」デ寫眞ヲ見マシタ、日本ノ綿製品ハ斯ノ如ク賣レルト云ッテ居ルケレドモ、今マデ裸デ居タ者ガ、日本ノ國威ノ發揚ト共ニ白イ著物ヲ皆著テ居ルノデアル、此白イ著物ヲ著テ居ル中ニ「マンチエスター、グーズ」トカ、絹綿交織ガ欲シイト云フ傾向ガ現レテ、

現ニ私共ハ絹綿交織ノ物ヲ製造シテ出シテ居ル、サウ云フ物ヲ著テ居ル者ガアルカラ目ヲ附ケマシタケレドモ、日本ノ絹織物ノヤウナモノデ、阿弗利加邊リニハ見エマセヌケレドモ、横濱ヤ神戸等ノ輸出港ヲ調べタナラバ非常ニ入ッテ居ル、故ニ粗布ガ稍進歩スルト、更ニ「マンチエスター、グーズ」ト云フヤウナ高等綿布ト云フモノヲ拵ヘナケレバナラヌ、ソレヲ拵ヘル絲ハ日本ニアルカト云フト、何モナイ、普通ノ「メリヤス」デハアリマスケレドモ、左撚ガナイ、何ヲ見テモ七百シカ掛ッテ居ラナイ、縮緬ノ如キハ二千五百以上掛ケタ物デ右左ノ縮マラヌ物ガアリマス、日本ノ何處ニモ無い、サウ云フ物ガ今ヤ綿製品ヲ拵ヘルト云フ日本ノ國ニ向ッテ進マムトスル所ノ道程ニ於テハ、サウ云フ綿絲ガ非常ニ必要デアル、其綿絲ノ必要ナコトハ、是ハ大藏省デモ商工省ノ技師諸君モ能ク御調べノコトデアルト思フ、ソレハ成程現在ノ物ヨリ比較シテ少ナイ、兎角少イト云フトソレヲ看過致シマスケレドモ、少イモノニ向ッテ之ニ段々力ヲ副エナケレバ次ノ進歩ハ出來ナイ、今ノ趨勢デハ日本ノ綿織業ノ如キハ、今日粗布ノ輸出ハ私ハ絶頂デアルト思フ、是カラ先キ進ム所ノモノハ高等綿布デアラウト思フ、所謂「マンチエスター、グーズ」デアルト思フ、其「マンチエスター、グーズ」ヲヤラウトシテモ、今ノ紡績業者ハ現在

ニ於テモ保護關稅ノ下ニ隱レテ隨分儲カッテ居ルノデアルカラ、ソナナ物ニ手ヲ觸レル必要ハナイト云ッテヤラナイ、是レ即チ私ハ溫室工業ニナリツ、アルト思フノデアル、若モ是ガ溫室工業デナクシテ、熱心ニ何カシテ商賣ヲヤラウ、サウシテ新シイ註文ヲヤリマセウト云フ風ニ眞劍味ヲ帶ビテ來ルナラバ、日本ノ綿布工業ガ益進ンデ來ルノデアル、ソレヲ眞劍味ニヤルコトハ面倒臭クテ出來ナイ、從來ノモノデ手一杯ダカラ出來ナイト云フノハ、是レ即チ溫室工業ニナッテ居ルコトガ明デアルモノデアル、故ニ日本ノ國ニシテハ、サウ云フ紡績業者ニ依頼シナイデ、ドウシテモ新シイ原料ヲ以テ、新シイ製品ニ依テ、而シテ綿布輸出貿易ト云フモノヲ發展セシメナケレバナラナイ、是ガ今日ノ國ニシテアリ又勢デアル、此點カラ言フナラバ、紡績業者ニ強ヒテスルコトハ出來ヌケレドモ、今日普通ノ紡績ト云フモノヲ免稅ニスルコトハ勿論、更ニ今度ハ特殊紡績ト云フモノヲ日本ニ於テ輸入シテサウシテ新シイ特殊織物ヲ拵エル氣運デアリマスカラ、其特殊紡績ノ輸入ト云フモノヲ自由ニセネバナラヌ、自由ニスル爲ニハ免稅ヲシナケレバナラヌ時代ニナッテ居ル、免稅ニシテサウ云フ色々ノ特殊紡績ヲ日本ニ自由ニ輸入サセテ、少量ヲ造ル、サウシテ大量生産ガ出來ルナ

ラバ、日本ニ於ケル紡績業者モ、ア、云フモノガ出來ルナラバ、自分モヤラウト云フノデ、初メテ紡績業者モ覺醒シテ、サウ云フ新シイ綿織物ヲ拵エル時期ガ來ルデアラウト思フ、ソレヲ今ノ如クニ關稅ヲ置イテヤッテ居リマス、彼等ハ溫室工業ニナッテシマッテ、何等新シイ仕事ヲシナイ、又一方關稅ガアルカラ、新シイ絲ヲ輸入スルニ付テ非常ニ困難ヲ感ジテ輸入ガ出來ナイナラバ、サウ云フ新シイ織物ヲ製造シテ賣ルト云フ機會ガ少クナルカラ、織物モ輸出セズ、又内地ノ紡績業モ特殊紡績ヲ拵エル機會ガナイト云フコトニナルノデアルカラ、廢スベキ時ニ此關稅ヲ廢サナケレバ、紡績業ガ溫室的ニナルト同時ニ、又ソレニ關聯スル産業モ溫室的ニナッテシマウ、而シテ國ニタル所ノサウ云フ綿織物ノ輸出貿易ト云フモノガ、發展スベキ機會ヲ失フト思フ、此理由ニ依テ私ハ此前モ、從來アル所ノ紡績業ハ基礎十分ナルモノトシテ、是ガ關稅ヲ撤廢スベキ時期デアアルコトヲ述ベタガ、又特殊紡績ノヤウナモノニ付テハ、彼等ニ一任シテ置イタデハ出來マセヌカラ、矢張是ガ關稅ヲ撤シテ、サウシテ自由ニスルヤウニシテ、一方綿製品ヲ獎勵シ、更ニ一面内地ノ紡績業ヲ獎勵スル策ニ出ナケレバナラヌ、是ガ爲ニ私ハ撤廢スベシト云フコトヲ昨年モ私ハ申述ベタノデアリマス、今デモ其考ハ間違ハナイト考ヘテ、常ニ同業

者ト此意見ヲ貫徹スベク實ハ機會ノアル毎ニ主張シテ居ル者デアリマス故ニ最早時間ガアリマセヌガ、私ノ質問ニ付テハ昨年モ申上ゲタコトデアリマシテ、是ハ實ニ重大ナル問題デアル、決シテ紡績會社ガ儲カラナイトカ、或ハ機械ヲ設備スルニ付テ脅威ヲ感ジテ出來ナイト云フヤウナ問題デハナイ、深夜業ヲ廢止シテモ紡績業者ノ事情ト云フモノハ僅ニ八時間ニナルノデハナイ、

若シ深夜業ヲシナイナラバ、附帶事業ヲスルトカ何トカシテ、段々調ヲ致シマシテモ、其減ル數ハ今日紡績業者ガ精密ナル調査ヲ致シマシテ、決シテ紡績業者ガ脅威ヲ受ケルヤウナコトハナイ、色ミナ方法ニ於テ十分な能率ヲ發揮シ得ル確信アルコトハ調査ニ依テ明カデアル、固ヨリ其中ニ落伍スベキ紡績業者ノ如キ者モ澤山アラウト思ヒマス、サウ云フ者ハ論ズルニ足ラナイ、標準ニスルニ足ラナイと思フ、サウ云フモノヲ先ヅスツカリ見テ、撤廢スベキヤ、スベカラザルヤヲ決メルト同時ニ、若シ相當ノ時期ニ撤廢シナイナラバイカスト云フヤウナ御考ヲセナケレバナラスト思ヒマスガ、最後ニ私ノ意見ノアル所ハ御分リデアリマセウガ、政府ハ之ヲ撤廢シナイ理由ハ何ト何トニ依テ撤廢シナイト云フコトヲ一ツ御明答ヲ願ヒタイト思フ、所謂基礎鞏固ナラズ、利益十分ナラズ、或ハ關稅ヲ置カナケレバナラスト云フ理由ノ項目ガ何ト何

トデ、時期尙早ナリト認メルト云フ、政府ノ決定スベキ所ノ材料ノ標準ヲ御示シ下サルナラバ、ソレニ依テ尙ホ再考致シマス

○野村政府委員 只今飯塚君ハ長時間ニ互リマシテ、色ミ此問題ニ對シテ各種方面カラ論議ヲサレマシタ、併シ私ノ拜聽致シマシタ所ニ依レバ、多クハ御意見ニ屬スルヤウニ思ハレル、飯塚君ノヤウナ此道ノ専門家ガ、該博ノ智識ヲ以テサウシテ長時間意見ヲ述ベテ、私ニ聽カシテ戴イタコトハ感謝スル次第デアアルデアリマス、其中ニ稍私ノ立場上ニモ論及サレタヤウナ言葉ガアツタノデアリマス、實ハ是ハ昨日日本會議ニ於テ委員長ヨリ明日ハ大臣ト云フ約束デアツタ、本日モ大臣モ出テ居リマシタガ、午後本會議ニ大臣ハ出テ居リマス、ソレデ私ガ出タノデアリマス、決シテ大臣ガ引込シテ出ナイノデアアリマセヌ、本會議ノ已ムヲ得ザル事情ニ依テ缺席シタノデアリマス、其點モ御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ御言葉ノ中ニハ兎ニ角工務局デハ當務者ノ代辯ヲシテ居ルノデアリハセヌカ、或ハ又商工省トシテモサウ云フ傾ガアリハシナイカト云フ御疑ノ言葉モアリマシタガ、併シ私等ト致シマシテハ、決シテ當業者ノ意見ニ左右サレルトカ、又當業者ノ爲ニ情實ニ絡マレル、此點ハ斷ジテナイ、殊ニ私ノ如キハ當業者ガ何者デアルカ、マダ會ウタコトモアリマ

セヌ、御意見ノ前提ニ當業者トノ間ニモ諒解乃至ハ當業者ノ意見ニ從テ居ルカラ、サウ言ハレテモ仕方ガナイデハナイカト云フ前提モアツタノデアリマスガ、私ノミナラズ、商工省ノ人ミハ決シテサウ云フ豫斷ヲ懷イテヤッテ居ナイト云フコトヲ茲ニ言明シテ置ク次第デアリマス、御意見ハ澤山アリマシタガ、先ヅ最後ノ御意見ハ……

○武藤委員長 一寸、御發言ヲ止メル譯デハアリマセヌガ、只今ノ飯塚君ノ御質疑ハ、大體ニ於テ意見デハナイヤウニ委員長ハ聽取ツテ、之ヲ三ツ四ツニ分ケマス、保護關稅ノ目的如何、輸出加工品獎勵ノ方法如何、紡績業ノ使命如何ト、斯ウ云フ題ノ下ニ引用セラレテ實例ヲ舉ゲラレテ言ハレタノデアリマスカラ、政府ノ方ノ御答ニ付テモ、其間ニ副フヤウナ御答辯ヲ委員長ハ希望シテ居リマス

○野村政府委員 御尤デス、今委員長ノ御注意ノアツタヤウニ、ソレニ對シテ餘程該博ナル御意見モ加ハッテ居ッタヤウニ感ジマシタカラ、綜括的ニ申上ゲタノデアリマシテ、矢張今委員長ノ御言葉ノヤウニ、私モ改メテ此三點ニ分ケテ、サウシテ御答ヲ致サウト思ッテ居ッタノデアリマス、最後ノ點ニ對シマシテ、例ノ高等ナル紡績ガアル、ソレガ爲ニ洋服地等ハ是カラ這入ッテ來ル、此點ニ付テ當局モ亦此營業ニ關係シテ居ル人モ殆ド何モセヌ、利益專門デアル、斯

ウ云フ風ナ御斷定デアリマシタ、之ニ對スル質問モアリマシタ、是ハ私ノ間ク所ニ依ルト云フト、此高等纖維ニ關スル工業ニ對シマシテハ、即チ今飯塚君ノ述べラレタ洋服地、斯ウ云フモノニ對シテ、從來ヨリハ進ンダ紡績ニ對シテハ、ソレハ機械ヲ買入レテ、サウシテ研究ニ著手シテ居ル會社モアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、又當局ト致シマシテモ、會社ノ全部トハ申シマセヌガ、一部ノ會社ニ對シテハ矢張此事ヲ獎メテ居リマス、又當局自身トシテモ此點ニ對シテ飯塚君ノ心配サレル通り、所謂技術ノ精巧ナル一層進ンダ紡績ガ必要デアルト云フ考ヲ以テマシテ研究致シマシタ、サウシテ實ノ所ヲ申シマスレバ、本年ハ豫算ニ組マウカト云フ所マデ研究ヲシテ居ッタノデアリマス、併ナガラマダ其程度マデ十分至ラナカッタノデアリマス、將來ニ於テモ怠ラズ此點ヲ研究シテ、サウシテ目的ヲ達スル考デアリマス、併シ飯塚君ノ御述べニナリマシタヤウニ、漫然完全ヲ期セラレルカドウデアルカ、是ハ今茲ニ於テ申上ゲルコトハ甚ダ困難デアリマス、ソレカラ第二點ハ保護關稅ノ性質ニ付テ御述べニナッテ、同時ニ矢張質問ニナッテ居リマシタ、保護關稅ノ性質ハ、是ハ飯塚君ノ御述べニナッテ通リデアリマス、私ハ斯ウ思ヒマス、ソレカラ現在ノ紡績業ガ果シテドウ云フ程度ニ居ルカ、所謂モウ既ニ基礎ガ鞏固

デ、サウシテ完全ノ域ニ達シテ居ルカド
ウデアアルカ、之ニ對シテ矢張意見ヲ附
加サレマシテ飯塚君ハ輸出其他ノ關係
ヲ見テモ、モウ既ニ十二分ニ基礎ガ鞏
固ニナツテ居ルト云フ御意見ヲ加ヘテ
御述ベニナリマシタ、私等ノ見ル所ニ
依レバ、色々ノ方面カラ見マシテ、マダ
確平不拔、此工業ノ基礎ガ動カスベカ
ラザル健全ノ地位ニ達シテ居ルモノト
認メテ居ラヌノデアリマス、隨テ關稅
撤廢出來ヌト云フ結論ニナルノデアリ
マス、更ニ飯塚君ハ具體的ニ撤廢スベ
カラザル事實ヲ擧ゲテ答ヘヨト云フ最
後ノ質問モアリマシタケレドモ、此點
ハ詳シク申上ゲルノハ恐縮シマスシ、
幾度カ質問應答ガ他ノ委員諸君トノ間
ニ重ネラレタノデアリマスカラ、即チ
深夜業、ソレカラ又今日此業ニ從事シ
テ居ル人ノ成績、ソレカラ又關稅ヲ撤
廢シテソレヲ實行サレタ曉ニ、紡績界
綿絲界ニ及ボス影響、是等ハ或ハ政府
ニ於テ述ベマシタカモ知レマセヌケレ
ドモ、昨日竝ニ本日午前中ニ、又午後ニ
互テ色々述ベテ居ルコトヲ以テ御了
承ヲ願ヒタイ、其中ニ深夜業等ニ對シ
テハ、一體サウ云フコトヲ心配スルナ
ラバ、地震、雷、コンナ事マデ心配スル虞
ハナイカト云フコトモ仰セラレマシタ
ガ、併ナガラ深夜業ノ廢止ノ實施期ハ、
昭和四年度即チ明後年ニ迫ツテ居リマ
シテ、サウシテ深夜業廢止ノ結果、能率
ニ關係ヲ及ボスト云フコトハ、是亦既

ニ飯塚君ノ御承知ノ通りデアリマス、
ソレデアリマスカラシテ地震、雷ヲ相手
ニシテ政府ハ考ヘテ居ル譯デモ何デモ
ナイノデアリマシテ、矢張確的タル事
實ノ發生ヲ豫期シテ、サウシテ此發生
ノ豫期サレル時ニハドウ云フ結果ヲ來
スカト云フコトハ、具體的ニ斯ク事實
ガ生レルモノナリト云フ前提ノ下ニ考
慮シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是
ダケ御答シテ置キマス

○飯塚委員 甚ダ高慢ノコトヲ申上ゲ
テ濟ミマセヌデシタガ、此問題ハ產業
界ニ於テ非常ナ問題トナツテ居ルノデ
アリマスカラ、徒ニ之ヲ致スコトハ私
ハ宜クナイト思フ、此機會ニ於テ此問
題ノ如何ニ成リ得タカト云フコトヲ明
カニシテ置カナケレバナリナイト思ヒ
マス、今言フ通り、此綿絲ノ保護關稅ト
云モノハ、私共カラ見マス、既ニ其目
的ヲ達シタル工業デアアル、斯ウ認メル
點カラソレヲ主張致シマシタ、ソレハ
何カト云フト、彼等ガ利益ガアルトカ
ナイトカ、貴方ノ言フヤウナコトデ基
礎ガ確實ダ不確實ダト云フコトノ標準
ニスベキモノデナイト云フ立場カラ、
基礎確實ナリト明カニ言ヒマシタガ、
其基礎確實ナリヤ否ヤト云フ標準ハ、
日本ノ紡績ノ能率ガ先ヅ日本國內ノ需
要ヲ十分ニ充タシテ餘リアリ、而シテ
尙ホ其經營、工場總テノ能率ガ、他ノ競
爭國ノ紡績界ト比較シテ何等劣ル所ガ
ナイト云フナラバ、十分ニ基礎確實ナ

リト斯ウ見ルノガ本當デアラウト思フ、
凡テ此保護關稅ノ如キモノハ、初メニ
ハ自由ニ之ヲ誘導シテ獎勵シ、稍是ガ
保護シテ十分ナル發達ノ見込ガアルト
スルナラバ、之ヲ保護シテ段々助長サ
セルト云フコトニシナケレバナラヌ、
其間ハ保護ト云フコトハ一方ニ於テハ
國民ニ犧牲ヲ拂ハセテ、之ヲ助長サセ
ルノデアリマスカラ、若シソレガ基礎
確實ナリト云フナラバ、何時マデモ國
民ニ犧牲ヲ拂ハセテ置クト云フコトハ
ナイ、適當ノ時ニ之ヲ撤廢スベキハ明
ナ事デアリマス、一遍撤廢シテモ將來
ニ於テ之ヲ保護スベキ必要ガアルナラ
バ、尙又保護關稅ヲ課ケテモ差支ナイ
コト、思フ、一度シタモノハ何處マデ
モシナケレバナラヌ、一度廢シタモノ
ハ何處マデモ廢サナケレバナラヌト云
フ理窟ノモノデハナイト思フ、保護關
稅ノ如キモノハ、機宜宜シキヲ得テ、或
ル時ニハ一年ヲ俟タズシテ法律ノ惡イ
所ハ之ヲ改廢スルヤウナコトガナケレ
バ、眞ノ保護關稅ノ目的ヲ達スルコト
ハ出來ナイト思フ位ノモノデアアル、今
日マデ此必要ナルモノヲ十分ニ保護
シテ、國民ニ多大ノ犧牲ヲ拂ハセテ、私
共カラ見ルト是ハ十分ニ發達シタモノ
デアアル、サウシテ是ハ内地ノ需要ヲ充
シ、海外ニマデ輸出スル能力ガ十分ニア
ラヌト云フコトモ五億何千ト云フモノ
ガアル時代ニナツタノデアアルカラ、既ニ
之ヲ廢サナケレバナラヌ、若シ之ヲ廢

サナイデ置イテ、此上國民ニ犧牲ヲ拂
イセルコトハ、保護關稅設定ノ目的デ
ナイ、其具體的ノ説明ハ——成程内地
ダケノ者ガ使ツテ居ルナラバ、國民ニド
レ程犧牲ヲ拂ハセテモ宜シイケレドモ、
其品タルヤ海外ニ出ルコトニナルト、
外國市場ノ需要者ニ尙ホ犧牲ヲ拂ハセ
ルニアラザレバ、其目的ヲ達スルコト
ガ出來ナイ譯デアリマスガ、海外ノ市
場ニ於テハ決シテ日本ノ關稅ヲ保護
スル爲ニ犧牲ヲ拂ハナイ、犧牲ヲ拂ハナ
イ結果ハドウナルカト云フト、輸出
綿布ナラ綿布業ナルモノガ、海外ニ
於テ必ズ他ノ競爭國ト競爭シテ負
ケテシマフニ相違ナイ、其負ケル原
因ハ何カト云フト、所謂廢スベキ保
護關稅ヲ廢サナイ結果其處ニ陷ル、國是
ニ反スル行爲ヲ生ズルコトニナラウ
ト思フ、斯様ニ私ハ明ニ申シタ、然ル
ニ尙ホモ基礎確實ナリト言フ、ソレダ
ケノ議論ハ御承知デアルトスルナラバ、
能率云々デナクシテ尙ホ儲カラナイト
云フ陳情ガアルナラバ、ソレハ考慮ニ
容レナケレバナラヌ、次ニ機械ヲ買ハ
ナケレバナラヌト云フ情勢ガアルナラ
バ、ソレモ考慮シテ尙ホドウスルカト
云フ質問ナノデアリマス、然ルニソレ
ニハ深夜業ガ廢サレルナラバ、次ニハ
モット大キナ工場ヲ殖ヤサナケレバナ
ラヌノデアアルカラ、當業者ノ陳情ハ直
接ニ聞カヌカモ知レヌケレドモ、當業

第五類第二號 登錄稅法中改正法律案(政府提出)外三件委員會會議錄 第十二回

昭和二年二月二十四日

二七

者ガ之ニ反對スルノハ既ニ知ツテ居ル、深夜業ヲ廢サレバナラバ何トカシナケレバナラス、増鍾ヲシナケレバナラス、ソレニ關稅ヲ廢サレバウナコトデハ増鍾ヲスルニ容易デナイ、又今マデハ太紡績デヤッタモノヲ細イ紡績ニシナケレバナラス、機械ヲ改良シナケレバナラス、之ニ付テ非常ナ資本ガ要ル、然ルニ斯ウ云フ機械ノアルニモ拘ラズ、今保護關稅ヲ撤廢シテ貰ッテハ困ル、今工務局長ノ言ハレタ通り脅威スルト言フ、機械ヲ改良シナケレバナラスノニ、之ヲ撤廢サレバコトニナルト躊躇シテ致サナイ、脅威スルト云フヤウナコトヲアナタ方ニ直截ニ言ハナクテモ、彼等ハ陳情シテ居ルガ、サウ云フコトヲ耳ニ入レテスベキ御考デアルヤ否ヤ、私共ハサウ云フモノヲ入レベキデハナイト思フ、若シ此工業ニ於テ損ヲスルカラドウト云フコトハ、單リ紡績業ノミデアリマセヌ、私ノ從事シテ居ル織物業ノ如キハドウ云フ有様デアルカ、外國ヘ出ス羽二重業者ノ如キモノハ、何等ノ保護ヲ受ケテ居ナイガ、輸出ノ爲ニ働クト云フノデ非常ニ骨ヲ折ッテヤッテ居リマスガ、是等ノ損ヲスル程度ハドンナモノデアルカト云フコトニナルト——損ヲスルノハ或ハ買方ガ拙ズカッタ、賣方ガ惡イト云フコトモアリマセウケレドモ、損ヲスルト云フ點カラ言フナラバ、非常ナ損ヲシテ居ル、日ニ破産ニ次グニ破産ヲ以テシテ居ル、之ヲ救フニハ、何カト云フト、機械ヲ改良シナケレバナラス、良イ機械ヲ買ハナケレバナラスト私ハ考ヘテ居ル、是ハ大山君ナドハ各地ノ機械地ヲ視察サレテ能ク御承知ノコトデアリマセウ、新シイ機械ヲ買ハナケレバナラス、新シイ工場ヲ造ラナケレバナラス、サウシテ能率ヲ擧ゲナケレバナラスト云フノデ、非常ニ骨ヲ折ッテ居リマスケレドモ、是等ニ付テ何モ頼ル所ハ無い、日本ノ今日ノ工業ト云フモノハ、總テ競争ノ時機デアリマスカラ、何レノ工業者ニ於テモ、安心シテ安閑トシテ温室ニ納マッテスベキヤウナ工業ハ無い、何ノ工業デモ總テ基礎ノ確實ナル工業ハ無いト思フ、獨リ日本ニ於テ基礎確實ナリトスルノハ、而モ纖維工業ニ於テハ紡績ヲ措イテナイ、此紡績ニ於テモ尙ホ一人歩キヲサセル、一人歩カシテ獨立ニ運動サセヤウト云フコトヲシナイナラバ、日本ニ於テハ獨立獨歩ノ工業ト云フモノハ永遠ニ見ルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ、私ハ甚ダ愧シイコト、思フ、私ハモウ十分基礎確實ナリト認メマスノニ、尙モ之ニ向ッテ基礎鞏固デナイト云フ、私ノ言フ關稅ヲ未ダ撤廢スルニ尙早ナリト云フ、其判斷ヲスル所ノ項目ガ段々御話ヲ聞イテ見ルト云フト、幾ツモアルヤウニ思フ、機械ヲ拵ヘナケレバナラストカ、深夜業トカ、之ヲ考慮スルト云フ、ソレヲドウ考慮スルト云フコトヲアナタ方ガ説

明セラレナケレバ徹底致サヌ、徒ニ辯ヲ好ムモノデハナイ、深夜業ヲスルト云フナラバ、當業者ハ二回更替、或ハ三回交替デヤラナケレバナラス、三回ノ交替デ深夜業ヲヤルナラバ、ドレダケノ能率ガアル、ソレデ反對ガアルカラ深夜業ト云フモノ、法制ガ行ハレルナラバ、ドレダケノ影響ガアルト云フコトヲ確實ニ示サレテ、ドレダケノ影響ガアル、故ニスベキモノデナイ、斯ウ仰セラレナケレバ、考慮スル考慮スルト云フヤウナコトデハ、吾々ハ洵ニ判斷スルニ苦シムノデアリマス、新シイ機械ヲ拵ヘナケレバナラスト云フコトノ爲ニ考慮スルト云フ、自分ノ業態ヲ改良スル爲ニ機械ヲ改良スルト云フコトハ當然ノコトデアリマス、ソレガ出來ナイナラバ自主獨立ノ工業デナイノダ、何デモ洋服ヲ著ナケレバ體面ヲ保テナイト云フコトハ分ッテ居ルケレドモ、飲ミ過ギテ出來ナイナラバ自業自得デアアル、一個人デモ其通り、苟モ今日迄永イ間ソレ程保護ヲ受ケタ所ノ紡績業ガ今迄太紡績デサンザン儲ケテ、今改善シナケレバナラス細紡績ヲシナケレバナラス爲ニ、増鍾ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、出來ルモノナラバ宜イ、併シナガラ國家ガ之ヲ補助シテマデヤルト云フコトハ、餘リト言ヘバ私ハ一ツノ工業ニ偏シテ居ルト思フ、一方綿織物ヲ一生懸命骨ヲ折ッテヤッテ居ル人ハ、絲價ガ安定シナイニモ拘ラズ、危ブナイ今日ノ綿絲ヲ使ッテソウシテ何等ノ保護ガナイニモ拘ラズ、所謂日本國是ノ爲ニ眞劍ニナツテ非常ニ働イテ居ルノデアリマセヌカ、之ニ付テ考慮ヲ致サヌト云フコトハ私ハナイト思フ、今工務局長ノ言ハレタ通り、多クノ綿製品ト云フモノハ紡績業者ガ自分デ造ルノダカラ、紡績業ヲ保護スルナラバ、綿ヲ保護スルト云フ道理ニ當ルト云フヤウナ——聽キ違ヒカ知リマセヌガ、サウ云フヤウナ御話デアリマシタ、ソレハ今日迄ハソレデ宜カッタ、例ヘバ「マンチエスター」邊リデハ粗布ハ紡績業者ガ直接ニ關聯シタモノデヤツテ居ルガ、一步進ンデ矢張「マンチエスター、グーズ」ト云フヤウナ變タモノハ全ク紡績業者ト云フモノヲ離レテ、製造家デ別ニヤッテ居ルノガ今日迄ノ——今後ハ分リマセヌケレドモ——例デアリマシテ、唯紡績業者ダケヲ保護スルノデナクシテ、綿布マデモ保護スルト云フコトガ今ノ狀況デアリマス、尤モ近キ將來ニ於テハ其考ハ違フト思フ、「マンチエスターグーズ」ノヤウナモノ「バンシー、グーズ」ノヤウナ製品ニ依テ金ヲ取ルコトハ出來マセヌ、國際貿易ニ依テ國際貸借ヲ改善スルト云フコトハ、アノ製品デハ出來マセヌ、「マンチエスター、グーズ」デナケレバ出來ナイ「マンチエスター、グーズ」ヲ拵ヘル人ノ便宜ヲ圖ル爲ニ一段

ノ考慮ヲシナケレバナルマイト思フ、ソレヲ紡績業者ノ利益ガ少クナルト云フダケノ考慮デハ、所謂之ヲ主張スル者ガ納得ヲ致サナイ、故ニ私ハ時間ガ許スカ許サナイカ分リマセヌケレドモ、許スナラバ吾々ノ蒙ラ啓クガ爲ニ、尙モ時期尙早ナリトスル所ノ項目ヲ擧ゲテ、其項目ヲ考慮スルノデナク、深夜業ニ對スル所ノ前途ヲ考慮スルデハナク、深夜業ヲ行フトスレバ、ドレダケノ影響ガ起ツテ來ルカ、例ヘバ機械ヲ改良シナケレバナラヌト云フ實情デアアル、之ヲ改良スレバ何處ト何處ヲ改良スルノカ、ソレヲスルニ付テノ經濟上ノ影響ガドレダケアルカ、其所謂尙早ナリト認メル點ヲ五ツナリ六ツナリヲスツカリ御調ベ下サツテ、其影響ヲ數字のニ現ハシテ、故ニ此點ニ於テ時期尙早ナリトスルト云フノデナケレバ誠ニ了解ガ出來ナイ、私共ハ政府ノ意ノ在ル所ヲ察シマシテモ、此綿絲關稅ヲ撤廢スベシト云フ議論ヲ壓迫スルニハ足ラナイ、ソレ故ニ時間ガ許スナラバ願フシ、時間ガ無イナラバ其意見ヲ書面ナリニ付テ、時期尙早ナリト云フ意見ヲ明ニ發表セラレムコトヲ希望シテ置キマス、是ハ委員長ニ一任シテ置キマス、

○武藤委員長 御答辯ガアリマス、カ、書面デ御答ニナリマス、カ

○宮内商工省工務局長 飯塚君ハ纖維

工業ニ付テ造詣ガ深イノデアリマシテ私カラ答辯スルコトハ肯綮ニ當ラヌカモ存ジマセヌカラシテ、特殊ノ綿絲デアリマス、カ、細絲物デアリマス、カ、分リマセヌ所ハ技術家ニ御願スルコトニ致シマシテ、一應申上ゲテ置キタイト思ヒマス、今御論ジニナリマシタ點ハ澤山ゴザイマス、デスガ、日本ノ綿絲業ノ將來ト致シマシテ細絲ノ、即チ御言葉ノ「マンチエスター、グーズ」ノ事ナリ、或ハ「バンシー、グーズ」ト云フヤウナモノニ付キマシテ、之ガ將來伸ビテ行カナケレバナラヌト云フ事ニ付キマシテハ、私共全ク感ヲ同クスルノデアリマス、其意味カラ商工省ニ於キマシテモ、サウ云フモノ、研究ノ歩ヲ進メタイト云フガ爲ニ、著々努力致シテ居ル次第デアリマス、支那ノ情勢ニ見マシテモ、將來太物デハイケナイ、粗ナルモノデハイケナイ、精ナルモノニ進ンデ行ク、粗ナルモノハ支那ニ於テ段段出來テ來ルノデアリマス、カ、將來「マンチエスター、グーズ」ト云フヤウナモノヲ持ツテ行カナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、カ、果シテ然ラバ、「バンシー」ノモノガ——特殊ノ綿絲、細絲綿絲ト云フヤウナモノ、關稅ヲ撤廢シテハドウカト云フ議論ニナルノデアリマス、カ、此點ハ飯塚君ニ於キマシテハ、サウ云フモノハハダ出來ナイノデアアルカラシテ、成ベク入レテ來ルヤウニスルガ宜イデヤナイカト云フ、豫テノ御議論デアルヤウニ私共承知致シテ居リマス、併ナガラ其量ト致シマシテハ、今日ニ於テ御承知ノ通りニ量ハ少イノデアリマス、ソレカラ又今日内地ニ於テモノ等ノモノニ付キマシテ研究ヲ致シテ造リタイ、漸次造リテ居ル所モアルノデゴザイマス、一面ニ於キマシテ又關稅ノ點カラ見マシテモ、値段ガ高クナルノデゴザイマス、カ、關稅モ實ハ大シタ關稅デハナイノデゴザイマス、其額カラ申シマス、從價稅デゴザイマス、カ、故ニ、從價ニ致シマスルト價ガ低イト云フコトニナツテ居リマス、更ニ又之ヲ技術上如何ニ分類ヲ致シテ、無稅ニスルト云フヤウナ手續ヲ執ルベキカト考ヘテ見マスルト、是ハ私ハ技術上ノ點デゴザイマシテ、説明スルノニ頗ル窮スル譯デアリマス、カ、假ニ之ヲ或ハ絲ノ纖維ノ長サニ依テ分ケ、或ハ撚ノ數ニ依テ分ケ、若クハ色ニナ燃ノモノヲ合セヤウナモノニ依テ分ケルト云フヤウナコトニ致シテ見マシテモ、餘程通關ノ上ニ於テ、稅關官吏ニ於テソレヲ監査スルト云フコトニ餘程ノ困難ヲ感ズルヤウニ思ヒマス、是ハ技術上ノ點ニ涉ルノデ、私ニハ説明ガ出來マセヌ、左様ニ考ヘテ居リマス、カ、サレバト云フヒマシテソレヲ撤廢ヲ致シマシテ入ルヤウニ致シマシテモ左程ニ入ツテ來ルコトハゴザイマセヌシ、今日ニ於テ試驗スルト云フコトカラ考ヘテ見マシテモ、此位ノ關稅ガ

アリマシテモ、左程ニ支障ヲ來スマイ、斯様ニ考ヘマシテ旁モ據置イテ然ルベキモノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、併ナガラ一面ニ於キマシテ、何處マデモ飯塚君ト同感デアリマス、カ、故ニ、日本ニ於テ將來ノ綿織ト致シマシテハ、此點ニ注意ヲ致シテ進ンデ行カナケレバナラヌト云フコトハ御同感デアリマス、著々其實現ヲ期センガ爲ニ努力ヲ折角致シテ居ル次第デゴザイマス、更ニ關稅ノ原則ト致シマシテ、一國ノ工業ガ發達ヲ致シテシマッタナラバ、ソレデ以テ最早溫室ニ置クベキモノデナイ、關稅ヲ撤廢シテ裸デ外國品ト競争スベキデアアル、關稅ノ理想トシテ此主義ヲ以テ進ムト云フコトハ其根本ニ於テ私ハ全ク同感デアツテ、政府ニ於テモ決シテ長ク溫室ニ置イテ何時マデモ自重スルト云フ意味デハナイノデアツテ、適當ナ時期ニ確立スル時ガ參タナラバ、其時ニ於テ關稅ハ撤廢スベキモノデアリマス、又サウ云フ時ガ來ルノヲ一日千秋ニ待ツテ居ル次第デゴザイマス、唯併ナガラ今日ノ場合ニ於キマシテ何ヲ以テ確立シタト云フカ、或ハ配當トカ、サウ云フモノハ標準ニハナラナイト云フ御話デゴザイマシタガ、而シテ又一面ニ於テ我國ノ需要ヲ充シ海外ニマデ出シテ居ルデハナイカ、是ハ確立デアルト云フ御話デアリマシタ、是ハ一應私ハ尤ト思ヒマス、カ、併ナガラ今日ニ於テ關稅ノ保護ガ要ラ

ナイコトハ——是ハ言葉ガ固クナルカモ知レマセヌガ、私ハ左様ナ程度ニ於テ關稅ノ保護ガ要ラヌ程度ニ於テ確立ヲシテ居ルモノトハマダ今日ノ程度デハ信ジマセヌノデアリマス、關稅ノ保護ナクシテ脅威ヲ感ゼズニ、將來一本立デ堂々正々行ケルモノト云フマデノ確信ヲ得ナイ、左様ニ申上ゲルノデアリマシテ、或ハサウ云フコトヲ申上ゲテハ失禮カハ存ジマセヌガ、此點ニナッテ參リマスト云フト、御意見ノ相違ニナルカモ存ジマセヌ、左様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、然ラバ如何ナル點ニ於テ項目ヲ擧ゲテ、サウシテドノ點

細ナ御意見ガアリマシテ、ソレハ御答辯ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ聞スル所ニ依リマスト云フト、只今ノ御說明モ餘リ巧クナイ、巧クナイノハ矢張反對ノ理由ガ餘リナイカラデ、事實ハ餘程賛成ダラウト私ハ思フ、仄ニ聞クト政府ノ内デ關稅撤廢ニ反對シテ居ルノハ四條君ト大山君ト云フコトデア

堪ヘナイ、今委員長ヨリ御注意モアリマシタ、政策上ノコトハ更ニ大臣ノ御出席ヲ願フテ伺フト云フコトデアリマスカラ、ソレハ別ニシマスガ、細イコトデ大山君ニ少シ伺フテ見タイ、宜シウゴザイマス

立ノ爲ダト云フテ六百萬圓許リノ金ヲ投ジタ、是ハ私モ頗ル結構ト思フ、サウ云フ事ガ紡績會社ニモ出來ナイコトハナイ、サウ言フテモ何モ政府デ紡績業ノ國營ヲセヨト云フノデハナイガ、全體此紡績會社ハ旨ク行カヌト云フガ、ソレハ決シテ此國ノ資本ノ上カラ言フトサウ云フ觀察ハ出來ナイ、紡績ニ對スル投資ト云フモノハ大體ニ機械器具ニ於テ消費サレテ居ル、サウシテ此百萬圓ヲ有シテ居ルト云フ不良紡績會社ノ工場ト云フモノハチャント現存シテ居

ドノ點ガ關稅ノ據置ヲ必要トスル理由デアアルカ、ソレヲ列擧セヨト云フ御話ノヤウニ伺ヒマシタガ、是ハ先程來色色申上ゲテ居リマスガ、事ガ難駁ニ互テ居リマスルケレドモガ、大臣初メ政府委員ヨリ致シマシテ申上ゲテアルノデ、大概御諒解ダト存ジマスノデ、私ヨリ別ニ是以上申上ゲルコトハゴザイマセヌノデ、尙ホ御尋ニ應ジマシテ政府委員其他カラ說明致シタイト思ヒマス

日ハ大山君ガ居ラレマスカラ一ツ伺ヒタイト思フ、一體此綿業ノ問題ハ我國ノ現狀ニ對シマシテ、外國ニ於ケル問題ハ勿論、殊ニ貿易關係ニ於キマシテハ非常ニ重大ナ問題デアアル、今日一日議論ラシテ居リマシテモ殆ド盡キナイ、世間デハ此問題ニ非常ニ注意ヲ拂ッテ居ルシ、又此委員會ナゾモ最モ熱心ニ此事ヲ主張スル人ガ多イ、此空氣ハ十分ニ政府デハ分ッテ居ラナケレバナ

此コトハモウ引續イテ居ルノデアリマス、何度モサウ云フ御說明デアアル、昨年モソレニ對スル數字ヲ見セテ戴キ、本年モ昨々日以來出スト言フマダ手許ニ屆キマセヌガ、全體之ニ對シテドウ云フ方針ヲ政府ハ執ッテ居ルカ、唯十社或ハ十五社ノ會社ノ配當ガ出來ズ、或ハ潰レ掛ッテ居ル、ソレデハ困ルカラ關稅ヲドウシヤウト言フテ、潰レ掛ッテ居ルヤツヲ今ドウ云フ風ニ投資ヲサレテ居ルカ、サウ云フコトガ一度モ吾ミノ前ニ示サレタコトガナイ、是ハドウモ私國家ノ經濟上カラ言フテモ甚ダドウモ損ナ話、一日モ早クヤラナケレバナ

日本ノ國カラ見レバ其所ニ投ジタ資本ト云フモノハ現存シテ居ル、ソレヲ唯何ノ手當モセズ、何時マデモ殘サレテ居ルト云フナラバ、國家ノ投ジタ資本ノ活用ヲ期スルコトハ出來ナイ、其會社ノ十圓五十錢拂込ラシタ株ガ一圓ニナリ一圓五十錢ニナルカ知ラヌガ、一圓デモ一圓五十錢デモ御互ニ個人ノ拂込ラシタ者ノ損ヲスルノハ當リ前ノコトデアアル、ソレヲ何モ政府ガ責任ヲ負フコトモナケレバ、ソレヲ關稅ヲ以テ保護スル必要モナイ、其會社ノ株主ノ連中ハ——資本家ハ損ヲシテ居ルカ知ラヌガ、其所ニ工場ト云フモノハ現存シテ居ル、ソレハ國カラ見テ非常ナ損害デアアル、ソレヲ動カサヌヤウニシテ置イテ、サウシテ不良紡績會社ガアル

○永田委員 委員長、私モウ少シ質問ヲ致シタイト思ヒマス、飯塚君カラ詳

テハナラヌガ、一言モソレニ當ラレナイノデ、ドウモ何處ヲ捕ヘテ宜イカ分

○武藤委員長 宜シウゴザイマス

○永田委員 大山君ノ御說明ヲ求メマ

○武藤委員長 如何デゴザイマセウ、

○武藤委員長 如何デゴザイマセウ、

○武藤委員長 如何デゴザイマセウ、

○武藤委員長 如何デゴザイマセウ、

○永田委員 委員長、私モウ少シ質問

○永田委員 委員長、私モウ少シ質問

○永田委員 委員長、私モウ少シ質問

○永田委員 委員長、私モウ少シ質問

ト言ッテ關稅ヲ殘シテ置クト云フコトハ、是ハ日本ノ紡績ヲ保護スルト云フコトデナク、其紡績會社ニ資本ヲ投ジタ資本家ヲ保護シテ居ルノデアル、紡績ニ投ジタ其資本ハ紡績工場ニチヤント固定シテシマツテ居ル、故ニ潰レ掛ラタ紡績會社ニ投資シタ人ガ損ヲシテ居ルト云フコトハ、吾々ハ國家ノ大局カラハ少シモ心配ヲスル必要ハナイ、其所ニ在ル紡績會社ノ工場ナルモノヲ動かセバ宜イト私ハ思フテ居ルヤウナ次第デアリマス、一體不良紡績會社ト云フモノヲドウ云フ譯デ何時マデモ不良ダト言ッテ之ヲ殘サレテ置クカ、其不良ヲ善良ナラシムル方法ハ、唯關稅一ツガ善良ナラシムル方法ト大山君ナドハ考ヘテ居ルノカ、或ハ其外ノ手段ヲ以テ之ヲ善良ナルモノニシヤウト考ヘテ居ルノカ、是ハドウシテ左様ニナツタカ、段々惡クナツテシマツタノデアアルカト云フ原因ヲ一ツ承ツテ見タイ

○大山商工技師 不良ト申シマスノハ、比較的新シイ設立ノ紡績ガ不振ニナツテ居ル、其工場ヲ將來ドウスルカト云フ政策問題ニ付キマシテハ、私ハ御答スルコトハ出來マセヌガ、不良會社ト云フテ居リマス、詰リ配當ノナイ若クハ缺損ニナツテ居ルモノト、ソレカラ現在非常ニ率ノ良イ配當ヲシテ居リマスル會社ト比較致シテ見マスルト云フト、所謂優良會社ナルモノノ設立ガ、古クアリマシテ、其古イ爲ニ度々好況時代ニ出

會シマシテ、紡績ガ僅ノ間ニ非常ナ鍾數ニ殖エタト云フヤウナ、紡績トシマシテハ非常ニ好イ時期ニ遭遇シマシタノデ、其間ニ非常ナ蓄積ヲシテ居リマス、其内容ヲ比較シテ見マス、殆ド優良會社ハ拂込資本ホド積立金ヲ持ッテ居リマス、半面ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ新設紡績會社ノ拂込資本ト云フモノハ、殆ド固定資本ニ使ッテ居リマス、此固定資本ト云フモノハ紡績會社ノ資本トシマス、大部分ハ固定資本ニ使ハレテ居ル、所謂優良會社ナルモノハ好況時代ニ出會シマシタ關係上、格外ナ收獲ヲ致シテ居リマス、サウ云フヤウナ關係デ優良會社ノ儲カッテ居リマスノハ、畢竟資本ガ殆ド積立金ノ關係デ倍程ニナツテ居ル、新設會社カラ云フト殆ド資本金ガ固定シテ仕舞ッテ居ル狀態デアアル、澤山ニ要スル固定資本ガ半分ニモ三分ノ一ニモナツテ居ルト云フヤウナ狀態ガ、利益ヲ多カラシメテ居ル最大原因デアッテ、隨テ不良會社ト申シマスモノ、其内容ハ、非常ニ高イ地面ヲ買ッたり、或ハ高イ機械ヲ買ッたりカ云フモノモアリマセウガ、ソレ等ヲ考ヘテ、詰リ優良會社ト不良會社トノ内容ヲ比較研究シテ見マス、現在儲カッテ居リマセヌ會社ハ、積立金ノ少イ資本ノ缺乏ト、ソレカラ固定資本ガ割合ニ餘計掛ッテ居ルト云フ關係デアリマシテ、優良會社ガ假ニ一割ノ配當ヲスルモノナラバ、新設ノ會社ハ其半分

若クハ三分ノ一ノ配當シカ出來ナイ性質ニ紡績事業ハ在ルモノデアアル、隨ヒマシテ、不良會社、不良會社ト申シマス、ト語弊ガアリマスガ、新設會社ノ儲カラスト云フコトハ、別ニ關稅ニ依テ不良會社ノ儲カラヌ會社ヲ儲ケルヤウニスルト云フ意味ヨリハ、紡績業ソレ自體カラ言ヒマシテ、新シイ紡績業ノ經營ト云フモノハ相當困難デアアル、吾々研究スル立場カラ言ヒマス、云フト、利益配當ノ少イ會社ガ多イト云フモノハ、將來ノ紡績業ノ新設ト云フモノハ、相當困難ナ地位ニ在ルモノダ、現在ノ優良會社ノ儲カッテ居ルト云フコトガ、紡績業ソレ自體ニ非常ナ有利ナ事業デナイト云フコトノ立證ニナルト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレデ關稅ヲ撤廢シマシテ、優良會社ノ利益ガ少クナルヤウナ虞ガアルト云フヤウナコトニナリマスレバ、新設會社ハ、尙々今ノ資本關係ヤ何カデ配當ガ出來ヌヤウナコトニナルノデアリマシテ、將來ノ擴張ヲ必要トスルナラバ、ドウシテモ關稅ヲ据置カナケレバナラヌト云フヤウナ結論ニ到達スル譯デアリマシテ、關稅ニ依リマシテ、利益ノ少イ會社ヲ利益ノアルヤウニシヤウト云フ意味バカリデハアリマセヌ、此點ハ御了承ヲ願ヒマス

○永田委員 不良デモ新設デモ宜シイガ、兎ニ角今配當ノ少イ會社ガアル、ソレハ事實デアリマス、今ノ御説明ニ依ルトサウ云フ會社ガアルカラ將來紡績業ニ投資スル人ガ、金儲ケニナラヌカラシテ投資ヲシナクナルカモ知レナイ、サウナルト綿業ノ基礎トナルベキ所ノ紡績業ガ、將來發達セヌカモ知レナイ、ソレヲ恐レルカラシテ關稅ヲ据置クノダ、斯ウ云フ御言葉デアアル、全體近頃問題ニナツテ居ル所謂不良會社、新設會社ト云ハレテ居ル會社ハ大正八九年頃出來タ、其時分ニ他ノ企業ニ於テ出來タ會社ガ一ツデモ満足ニ行ッテ居ルモノガアルカナイカハ商工省ハ能ク御承知ダラウト思フ、兎ニ角機械デモ動イテ居ル會社ナラバ良イ方デアアル、大抵ノモノハ皆工場ノ跡ハ元ノ田ヤ畑ニナツテ居ルノガ普通デアアル、マダ紡績ノ方ハ餘程基礎ガ安全ニ殘ッテ居ルト云テモ宜イ位ノモノデアアル、從來十五年モ二十年モ或ハ三十年モヤッテ來テ、若心慘憺シテ來タ所ノ古イ會社ト、アノ好景氣ノ時代ニ出來タ會社ト、兩方トモ同ジヤウニ立行クト云フヤウナコトハ、又大正八九年ノ好景氣デモ來ナクチャ出來ナイコトデアアル、到底アノ當時ニ出來タ會社ノ十數年ノ苦心ヲ重ネテ積立金ヲシテ出來タ會社ト同ジヤウナ立場ニ置カウト云フヤウナコトハ、是ハ連モ出來ナイコトデアアル、而モソレガ經營者ノ努力其他ニ依テ之ヲヤツテ行カウト云フコトヲ、政府ガ仰セニナルコトハ洵ニ結構デアアル、併シソレ等ノ會社ノ爲ニ此關稅ヲ据置イテ、一方ニ於テハ內國ノ消費者ニ迷惑ヲ掛ケ、

一方ニ於テハ飯塚君ノ言ハレタ如ク新
シイ時代ノ綿業立國デ進ンデ行ク綿布
ヲ造テ行カナケレバナラヌ、サウ云フ
工業ニ變テ行カナケレバナラヌト云
フ時代ニ、太イ絲ヲ造ラウト云フコト
ヲ目的トシテ居ル會社ガ、少シバカリ
儲カルトカ儲カラヌトカ云フノダカラ、
本當ニ死ンデ仕舞ッテ居ルノデハナイ、
大體ハ少クトモ生キテ居ル、其當時投
資サレタ他ノ事業ニ比レバ餘程有利
ニ殘ッテ居ル、吾々個人ノ考デ大正八
年頃ノ十萬圓ノ金ガ、此頃二萬圓カ三
萬圓モ殘ッテ居レバ餘程良イ方デアル、
アノ時分ノ十萬圓ノ金ガ、今日十萬圓
デ殘ッテ居ルノハ日本中ニ殆ドアリマ
セヌ、獨リ紡績業者ガ十萬圓デ殘シテ
置クト云フコトハ蟲ノ好イコトデアル、
關稅ノ蔭ニ隱レテソレヲ維持シヤウ、
又政府ガソレニ同情シテ、サウシナケ
レバ將來綿業ニ對スル投資ヲ見ルコト
ガ出來ナイダラウト云フヤウナコトヲ
心配サレルノハ、私共全ク見當違ヒデ
アラウト思フ、紡績業ガモット進ンダ設
備ヲシテ、飯塚君ガ言ハレタ新シイ時
代ニ適應スル施設ヲシテ進ンデ行クト
云フコトデアレバ、今日ニ於テモ出來
ナイコトハナカラウト思フ、寧ロ紡績
ナドハ趣味ノアル人ガ大正八九年頃ニ
投資シタ古イ會社ニ因ハレテ、之ヲ顧
ミル餘地ガ無クシテ、ソレニ盡力斡旋
シテ毎日奔走シテ居ッテ、其爲ニ新シイ
事業ヲ考ヘル餘地ガ無イ位ノモノデナ

イカト私ハ思ッテ居ル、事業家ナド、云
フ者ハ一種ノ道樂デ金儲ケノ好キナ者
バカリモアリマスガ、中ニハ仕事バカ
リヲ好キナ奴ガアルガ、一方ニ整理ニ
追ハレルカラ、新シイ企業ヲ目論ム餘
地ガ無イ、サウシテ毎日泣言バカリ言ッ
テ政府ニ絶ッテ良クシヤウト思フ、此連
中ハ自分ノ食扶持ヲ離レテシマヘバ、
又新シク考ヘナケレバナラヌト云フノ
デ、新シイ目論見ヲ立テ、隨分資本家
ヲ集メテ、自分ガ飯ヲ食フテ行ク、サ
ウ云フコトハ彼等ノ商賣デアル、サウ
云フコトヲ援ケルノハ政府ハ丸デ見當
違ヒノコトヲシテ居ルヤウニ私ハ思フ、
此點ハ私ノ意見ニナリマスカラ、大山
君モサウ云フコトヲ一ツ能ク御考ヘ下
スッテ、首腦部ノ人ニ能ク御話ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、ドウモ首腦部ハ關稅撤
廢ノ敵デ甚ダ困ル、ソレカラ先程ノ飯
塚君ノ御説明ノ此紡績業ガ獨立ノ工業
デアルカナイカト云フコトモ、目安ハ
目下儲カル儲カラヌト云フコトニ置ク
ベキモノデナイ、内國ノ需要ヲ充タシ
テ海外輸出ガ出來ルヤウニナレバ、ソ
レデ以テ關稅ノ目的ヲ達シタト、斯ウ
云フ御意見デアレバ、洵ニ其通リト思ッ
テ居ル、然ルニドウモ飯塚君ガ指シテ
居ル、焦點ヲ逃レテ政府ハ彼是ト言ハ
レテ居ルガ、是ハ甚ダ心得違ヒデアラ
ウト思フ、飯塚君ノ申上ゲタコトヲ繰
返ス必要ハアリセヌガ、兎ニ角保護關
稅ヲ設ケテ、サウシテ一般消費者ニ迷

惑ヲ掛ケテ居ル、ソレハ將來ノ自立ヲ
望ムノデアルカ、其自立ハ何時ダト云ヘ
バ、飯塚君ノ言フ點ニ達シタ場合ハ最
早其域ニ到達シタモノト謂ハナケレバ
ナラヌ、紡績業ガ今日ニ是程發達シテ、海
外ニ對スル輸出ハ寧ロ今日進ミハシナ
イ、モウ發達ノ頂上ニ達シテ居ル、最近
ノ統計ヲ見テモ、一向紡績ノ輸出ハ餘
計殖エナイ、ソレニ反シテ綿業ノ方織
物ノ方ハ長足ノ進歩ヲ致シテ居ル、サ
ウ云フ機運ニ向イテ居ル時ニ、成程内
輪ニ於テハ紡績業者ガ綿布ヲ織出シテ
居リマスケレドモ、其重心ヲ紡績ニ置
クコトハ間違デ、綿布ニ置カナケレバ
ナラヌ、紡績業者ガ兼ネテ行ク所ノ織
物ト云フモノハ、サウ進ンダ物マデハ
行キ切ラヌ、御互ニ事業ニハ專門ガア
ル、故ニドウシテモ細イ絲ヲ以テ專門
ニ此仕事ヲスル者ガナケレバ、今後ノ
綿布界ノ發達ハ望マレナイ、先程黒田
政府委員ノ御話ニモ、關稅ガ掛ケタ
ルガ故ニ太絲ノ這入ルノハ少イヤウデ、
細絲バカリト云フ御話デアリマス、其
通リデアル、細絲ガ多イノデアアル、此細
絲ガ今日一番大事デアアル、日本ノ紡績
屋ハ關稅ノ蔭ニ隱レテ儉安苟且シテ居
ル、一向細絲ヲ造ルコトニ勉強シナイ、
僅ニ七千萬八千萬ノ輸出ヲシテ居ル、
最近ズットサ行ウテ居ル、何モ勉強シナイ、
操業短縮ヲシテ見タリ、賣止メヲシテ見
タリ、時々支那カラシテ銀安デ脅カサ
レテ居ル、遂ニ政府ニ泣付イテ關稅ノ障

壁ヲ取ラヌヤウニ取ラヌヤウニト云ッテ、宜イ
材料ダト云ッテ報告ヲスル、サウ云フ事バ
カリシテ一向勉強シテ居ラヌ、十年モ
昔ノヤウナ機械ヲ使ッテ居ル、サウシテマ
ゴゴシテ居レバ、支那ノ紡績ニ負ケサ
ウナヤウナコトヲヤッテ居ル、一方ニ於テ
ハ日本ガ一等國ダト云ッテ、勞働會議ニ
モ加入シナケレバナラヌト云フ所ノ壓
迫ヲ段々國際的ニ受ケテ來ル、其中ニ
於テ一方ノ紡績機械ハ一向良クナラナ
イ、ト斯ウ云フコトデハ吾々ノ言フ
又政府モ趣旨ニ御賛成ダト云フ綿業ノ
將來ノ發達ト云フコトハ、到底私共ハ
困難デアラウト思フ、ドウシテモ此處
ハ綿絲ノ關稅ヲ取リマシテ、サウシテ
モウ少シ紡績業ニ自主獨立ノ考ヲ起サ
シテ、奮勵努力サセナケレバイカヌ、今
大山君モ言ハル、如ク、古イ會社ハ皆
資本金ノ倍額以上ノ積立金ヲ持ッテ居
ル、散々配當ヲ取ッテ、七割モ八割モ配
當ヲ取ッテ後マダ、ソレダケ持ッテ居ル、ソ
レヲ彼等ハ投資シテ新シイ仕事ヲスル
ナラバ、マダ國產ヲ増加シテ國家ノ爲
ニ大ニ貢獻スルコトニナルデアラウ
ト思フ、是ハモウ今日關稅ヲ撤廢スル
ト云フコトハ、丁度紡績業者ニ藥ヲ飲
マセルヤウナモノデアアル、此頃胃擴張
ヲ起シテ一向働キガ出來ナイ、一服盛
レバ之ガ餘程元氣ヲ回復シテ、サウシテ
生氣潑潑タル働キヲシテ來ルデアラウト
私ハ思ッテ居ル、ドウモ大山君ノ如キハ
何時迄モ胃擴張ヲ喜ンデ居ル、ドウモ

飯が餘計食ヘルカラ俺ハ達者ニナルト
思ッテ居ラレルカ知ラヌガ、飯ヲ餘計
食ッテモ、胃擴張デハ達者ニナラナイト
私ハ思ッテ居ル

○飯塚委員 此問題ニ付テハモウ随分
議論モアリマシヤウデスガ、私共ハ關
稅ヲ撤廢スベシト云フ論據ヲ全ク確實
ニ示シテアル積リデアリマス、ソナ
コトヲ廢シタ方ガ宜カラウト云フヤウ
ナコトヲ考慮サレ、便宜イト云フノデ
ヤナイ、紡績業ノ能率、或ハ關稅ノ利害、
又綿製品ノ暴落ノ現狀ニ照シテ、確
タル論據ヲ以テ廢稅スベシト主張シテ
居ル積リデアリマス、然ルニ政府ノ之
ヲ時期尙早ナリトシテノ議論ハ、ソコ
等ニ一向觸レナイデ、色ミナ方面カラ
考慮サレテ居ルヤウデアリマス、今言
フヤウニ利益ガ十分デナイト云フガ、
利益ガ十分デナイト云フコトハ、私共
ハ斯ウ云フコトハ考慮スベキモノデハ
ナイト思フガ、尙ホ今言フ通りニ不良
會社ガアル前ニハ七割ノモノガ今ハ二
割ニナッタ利益ガ十分ナラザル不良會
社ガアル、此新シク出來タ會社ガ可哀
相ダ、大正ノ成金時代ニ出來タモノハ、
家ヲ造ッテモ皆家ヲ賣ッチャッタ時代デ
アル、其モノガ利益ノナイノハ當リ前
デアル、是等ヲ考慮スル、或ハ支那ノ關
稅ガドウトカ、支那ノ關稅ガ假令ドウ
ナッテモ、私共ノ考デハ此關稅ニ付テハ
向フガ若シ關稅ヲ上ゲタストレバ、ド
ウデアルカ、低クシタラバドウデア

カ、ソレニ付テモ意見ガアルト思フ、ソ
レカラ機械ヲ新設シナケレバナラヌ機
運ダ、是モ確カデアラウト思フ、又深夜
業ヲ止メルト云フコトモ事實デアラウ、
ソレカラ一方カラ言ウト、吾々ノ方デ
ハ綿製品ト云フモノヲ尙ホ發達サセル
ニハ市價ヲ安定サセルニアル、安定ス
ルニハ關稅ヲ撤廢シナケレバナラヌト
云フコトヲ一々示シテ居ル、然ルニ綿
製品ト云フモノヲ發達サセルニ付テハ

——貿易ヲ發展スルニ付テハ御同感デ
アルト云ヒナガラ、其事實ガ關稅ノ爲
ニ綿製品ノ發展ヲ阻止スルト私共ハ考
ヘテ居リマスガ、アナタ方ノ方デハ阻
止シナイ、或ハ阻止シテモ綿製品ノ輸
出ヲ犧牲ニシテモ、片一方ヲ保護セ
ナケレバナラヌガト云フコトハ當然起
ル理由デアリマス、詰リ私ハ明日商工
大臣ノ之ニ對スル政策ノ御話ヲ聽ク前
ニ、此綿製品關稅ヲ撤廢スルニ時期尙
早ナリトスル所ノ條項ガアリマセウ、
是等ヲ考慮シテト云フヤウナコトデハ
一向分ラヌ、是等ヲ色ミアルガ何カ考
慮シテデハイカヌ、是ハドウ云フ具合
デアルカラ、ドウシテモ是等ノ利益ヲ
保護セナケレバナラヌ、又外ノ紡績業
者ノ好況時代ニ拵ヘタ工場ラドウシテ
モ煙ヲ出サセナケレバナラヌ、或ハ深
夜業ハドウ云フ影響ガアルカラセナ
ケレバナラヌ、綿製品ノ海外ノ發展ヲ
バ阻止シテモソレヲ考慮スル、阻止シ
テモ害ガアッテモ現在ノ紡績業ヲ保護

シナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ
的確ニ政府ノ所信ヲ書面デ項目ニ付テ
御説明ヲ願フテ、サウ致シタラバ大變私
ノ考ガ間違ッテ居ルカ、或ハ居ナイカト
云フコトモ分ラウシ、尙ホソレニ付テ
再考ノ餘地モアラウト思フカラ、私ハ
綿織物ノ關稅ヲ撤廢スルニ尙早ナリト
スル所ノ意見、其項目ヲ明細ニ説明サ
レテ私ニ下サルヤウニ之ヲ註文致シマ
ス

○武藤委員長 午前ニ柵瀬政務次官カ
ラ非撤廢ノ理由トシテ紡績業ノ中ニ不
良會社ガアルト云フコトガ一ツノ理由、
ソレカラ支那ノ特惠關稅ノ成行ヲ見ル
ト云フコトガ一ツ、ソレカラ深夜業廢
止ト並ニ増鍾計畫ニ對スルコトガ一ツ、
ソレカラ印度ノ對關稅政策ニ關スルコ
ト、是等ガ午前ニ於ケル柵瀬政務次官
ノ非撤廢ノ理由デアッタノデアリマス
ガ、尙ホ只今永田君飯塚君ヨリ御要求
ガアリマシタカラ、之ニ對シテ明日マ
デニ書面デ、其理由ヲ明ニ御示シテ願
ヒタイ

○長田委員 是デモウ御仕舞ニナルダ
ラウト思ヒマスカラ、一ツ伺ッテ置キマ
スガ、明日モ矢張委員會ヲ御開キニナ
リマスカ

○武藤委員長 午前カラヤリタイト思
ヒマス

○長田委員 新聞ヲ見マス、政府ハ
鐵ノ關稅「オレイ」ノ關稅、材木ノ關
稅ヲ出スガ如ク、出サハルガ如ク、甚ダ

曖昧ニ書イテアリマスガ、一體「オレイ
ン」ナリ鐵ナリ材木ナリ金液ナリハ、御
出シニナルノデアリマス、或ハ今期
議會ニ間ニ合ハナイト云フ御考デアリ
マス、一寸伺ヒマス

○黒田政府委員 只今御舉ゲニナリマ
シタ木材、金液「オレイ」鐵材、是等ノ
物ハ只今關稅調查委員會ニ諮問サレテ
居ルノデアリマス、併ナガラ未ダ關稅
調查委員會ニ於キマシテハ決定ヲ致シ
テ居リマセヌ、隨テ今日ノ所ニ於キマ
シテハ、提案ニナルカ、ナラヌカト云フ
コトハ、未ダ確定致シテ居ラヌノデア
リマス

○長田委員 此綿絲ノ撤廢問題ニ對シ
テモ、關稅委員會ノ幹事會デハ餘程慎
重ニ御審議ニナッテ居ルト云フ御話ヲ
伺ッタノデアリマスガ、先般要求致シマ
シタ關稅委員會若クハ幹事會ノ速記ト
云フモノハ、戴クコトガ出來マセウカ、
或ハ戴ケナケレバ拜借シテ一讀スル譯
ニ行キマセヌカ

○黒田政府委員 關稅委員會ノ幹事會
ハ、何等速記ヲ取ッテ居リマセヌ、御互
ニ十分ニ話シ合フモノデアリマスカラ、
却テ速記ナドヲ取リマスヨリハ、十分
ニ話シ合ッタ方ガ宜シイト考ヘマシテ、
是ハ前カラ一回モ速記ヲ取ッタコトガ
無イノデアリマス

○長田委員 明日ノ委員會ニ木材ノ質
問ヲ致シタウゴザイマスカラ、ドウカ
御許シテ願ヒマス

○武藤委員長 明日ハ農林大臣、大藏大臣、商工大臣ノ御出席ノアルヤウニ御願ヲ致シマス「登錄稅法中改正ニ關スル質疑」先頃高橋熊次郎君ト國務大臣政府委員トノ間ニ長イ質問應答ガアリマシタガ、只今高橋君ヨリ書面ニシテ二十項バカリノ質問ノ要領ヲ書イタモノヲ提出サレマシテ、片岡大藏大臣ニ一通出シテ置キマシタ、是ハ此儘質問ノ要旨ヲ速記録ニ留メテ、政府ノ之ニ對スル答辯モ速記録ニ掲載スルノガ相當ト思ヒマスカラ、御諮リ申上ゲマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○奥村委員 私ハ本日ノ問題ニナッテ居リマセヌコトニ付キマシテ、一寸商工當局ニ要求シテ置キマス、幸ヒ大山技師ガ御出席デゴザイマスカラ、御願シタイノハ、毛織物ノ關稅ガ昨年引上セラレマシタ故ニ、之ニ對シマシテ當局ガ市價或ハ工業ノ上ニ於テドウ云フ影響ヲ與ヘタカト云フコトヲ御審査ニナッテ居リマセウカラ、其報告ト昨年一昨年ノ輸入原毛「トップ」ソレカラ毛織物ノ成品、此統計ヲ御示シテ願ヒタイ、出來ルナラバ月別ニ御示シテ願ヒタイ

○武藤委員長 今日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時二十六分散會

登錄稅法改正案ニ關スル高橋委員ノ質疑

- 一、現行登錄稅法第二條第三號ノ登錄稅(大正十四年度分)ノ收入額如何
- 二、同第四號同上
- 三、改正登錄稅法第二條第二號ノ登錄稅ノ昭和二年度收入豫算額及計算ノ根據如何
- 四、同第三號同上
- 五、現行登錄稅法第三條第三號ノ登錄稅(大正十四年度分)ノ收入額如何
- 六、同第四號同上
- 七、改正登錄稅法第三條第二號ノ登錄稅ノ昭和二年度收入豫算額及計算ノ根據如何
- 八、同第三號同上
- 九、相續稅法第二十三條該當ノ遺產相續稅(大正十四年度分)ノ課稅價格別並種別毎ノ課稅價格及稅額如何
- 十、同昭和二年度收入豫算額及計算ノ根據如何
- 十一、現行登錄稅法第二條第三號及第三條第三號ノ稅率ヲ改正スル理由如何
- 十二、前項稅率ノ改正ニ因リ事實ハ無償名義ノ贈與ナルモ之ヲ賣買ノ名義ニ依リ登記スルモノノ登錄稅ノ逋脫ヲ防止シ得ヘシト爲ス其ノ程度並之ニ因テ増加スヘキ登錄稅法第二條第三號及第三條第三號ノ登錄稅額並減少スヘキ登錄稅

法第二條第四號、及第三條第四號以上各號別ノ昭和二年度分豫算ニ屬スル登錄稅額如何

十三、無償名義ニ因ル不動産ノ所有權ノ取得ニ對スル登錄稅率ヲ千分ノ六十ヨリ千分ノ四十五ニ低減シ、賣買ニ因ル不動産ノ所有權ノ取得ニ對スル登錄稅率ヲ千分ノ三十五ヨリ千分ノ三十三ニ低減シ、即チ現行法ニ於テハ、無償名義ト賣買ノ各登錄稅率ノ較差千分ノ二十五ナルモノヲ千分ノ十二ト爲シ、其ノ差ノ少ト爲ルコトニ因テ所謂假裝賣買ノ方途ニ依ル登錄稅ノ逋脫ヲ防止シ得ヘシト爲スハ蓋シ之レ一片ノ机上論ニ過キヌシテ實際ニ於テハ仍且千分ノ十二ノ差アルニ因テ仍然トシテ假裝賣買ノ式ニ依ル登錄稅ノ逋脫ヲ防止スルニ由ナキモノト信セラル、無償名義ニ因ル船舶ノ所有權ノ取得ト賣買ニ因ル船舶ノ所有權ノ取得ト登錄稅ニ付テモ亦右ニ同シ、右ニ對スル當局ノ見解如何

十四、登錄稅法第二條第三號及第三條第三號ノ不動産又ハ船舶ノ遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得ニ對スル登錄稅率千分ノ六十又ハ千分ノ五十ヲ千分ノ四十五又ハ千分ノ三十五ニ低下セシムルニ於テハ

一、相續稅法第二十三條ニ依ル相

續稅ノ賦課ニ付テ不動産及船舶ヲ課稅ノ範圍外ト爲シタルコト即チ不動産及船舶ノ贈與其ノ他ノ無償名義ニ因ル所有權ノ移轉ニ付テハ比較的高率ナル登錄稅ノ賦課アルニ因ルト爲ス相續稅ト登錄稅ノ間ニ於ケル連絡の課稅ノ權衡ヲ失スルコト爲ル、況ンヤ相續稅ニ付テハ大正十五年ノ改正ニ因リ其ノ遺產相續ニ對スル稅率ハ舊ニ比シ著シク高メラレ、最高額ニ對スルモノハ舊ノ二倍率ト爲リタルコトヨリ之ヲ見レハ之ニ對應セシムルカ爲ニハ不動産及船舶ノ贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得ニ對スル登錄稅率亦之ヲ高上セシムルヲ要スルノ理ナリ、然ルニ反テ之ヲ低下セシムルハ即チ其ノ必要ニ逆行スルモノト認メラ

二、相續稅ノ稅率ハ家督相續及遺產相續共ニ去ル大正十五年ノ改正ニ依リ著シク之ヲ高上セシメタリ、之ニ反シテ不動産又ハ船舶ノ遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得ニ對スル登錄稅ノ稅率ヲ低下セシムルニ於テハ、累進率ニ依ル相續稅ノ比較的高キ部分ノ稅率ノ適用ヲ免カル目的ニ於テ不動産又ハ船舶ヲ贈與其他ノ無償名義ニ因リ相

續入ニ移轉セシムルモノノ簇出スヘキハ必然ナリト信ス、例之

1、家督相續第一種ニ付テハ、課稅價格凡ソ十五萬圓

2、同第二種ニ付テハ、同十萬圓

3、同第三種ニ付テハ、同五萬圓

4、遺產相續第一種ニ付テハ、同五萬圓

5、同第二種ニ付テハ、同四萬圓

6、同第三種ニ付テハ、同二萬圓

ヲ超ユルモノニ付テハ、即チ其ノ相續稅ハ千分ノ四十五以上ノ高キ稅率(其ノ最高率ハ實ニ千分ノ二百十二至ル)

ニ依テ、課稅セラルモノナルヲ以テ、其ノ相續稅ノ賦課ヲ甘シテ受クル場合ト之ヲ其ノ無償名義ニ因ル所有權ノ取得ノ登錄稅ノ負擔ニ止ムル場合トハ實ニ顯

著ナル負擔ノ差違ヲ生ス、而カモ其ノ負擔ノ減免ハ相續財產ノ多額ナルニ從テ大ト爲ルノ理ナルハ即チ大資產家ニ付テ特ニ此

ノ例ノ相續稅ノ連脫ヲ容易且有

利ナラシムルモノトナル

三、或ハ夫レ不動産又ハ船舶ノ無償名義ニ因ル所有權ノ移轉ノ

登錄稅率高キトキハ、其ノ假裝賣買ノ方式ヲ以テスル登錄稅ノ

脫稅ノ行ハルルニ止ラス、更ニ進ムテ相續財產タルベキ不動産

又ハ船舶ヲ亦假裝賣買ノ手段ニ因リ即チ相續稅ノ連脫ヲモ敢テ

スルモノヲ生スヘキカ如シト雖

1、假裝賣買ニ因ル登錄稅ノ連脫ニ付テハ本書第十三號ニ記

述ノ如シ

2、相續財產タルヘキモノヲ被相續人ト相續人ノ間ニ於ケル

假裝賣買ニ依リ其ノ所有權ヲ移轉セシメ以テ相續稅ノ連脫

ヲ謀ルト謂フカ如キコトハ、單ニ其ノ事柄ノ隱祕的ニシテ

且ツ容易ニ行ヒ得ヘカラサルモノニ屬スルノミナラス、斯

ノ如キモノニ付テハ、相續人カ當該不動産又ハ船舶ノ買得

資金ヲ自ラ所持シタリト認メ得ルモノ以外ハ其ノ買得ニ要

シタル資金ノ出所ヲ調査シ、若シ其被相續人又ハ親族若ハ

本家ノ戶主又ハ家族ヨリ給與セラレタルモノニ相當スル場

合ニ於テハ即チ相續稅法第二十三條ニ依ル遺產相續稅ヲ賦課セラルヘキモノナルヲ以テ、斯ノ如キ行爲ニ出ツルモノ殆ト皆無ナルヘシ

シテ之ヲ行フコトヲ得ヘク而

カモ相續稅法第二十三條ノ規定ノ適用ヲ受ケサルヲ以テ相

續稅ヲ課セラルル憂ナク、即チ公然且合法的ノ相續稅ノ連

脫手段タリ得ヘシ、殊ニ其ノ相續稅率ハ之ヲ高メ、登錄稅

率ハ反對ニ之ヲ低下セシメルニ於テハ倍々此ノ方途ニ依ル

脫稅心ヲ刺撃シ蓋シ其ノ害計リ知ルヘカラサルヲ生セム

右各項ニ對スル當局ノ見解如何

昭和二年二月二十五日印刷

昭和二年二月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社